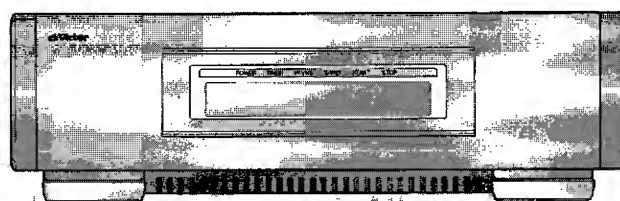
取扱説明書

BSチューナー内蔵
ハイビジョンビデオカセットレコーダー

型名 HR-W5

Hi-Vision VIDEO CASSETTE RECORDER

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。
- 本機は、映像／音声入力端子がないテレビとは接続できません。
- Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

PU30424-430-2

安全上のご注意

ご使用の前にお読みください。

絵表示について
製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他のひとびとへの危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示のある内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意
この表示のある内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

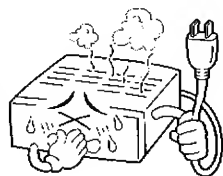
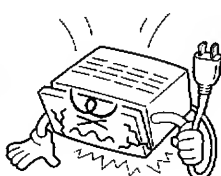
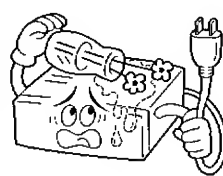
絵表示は、注意（警告を含む）が必要であることをお知らせしています。
左図は「指をはさまれないように注意」を示しています。

絵表示は、禁止行為であることをお知らせしています。
左図は「分解禁止」を示しています。

絵表示は、お守りいただく行為であることをお知らせしています。
左図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

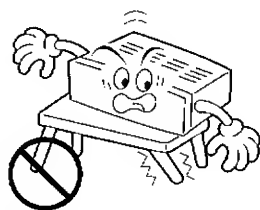
※ビデオ本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

異常が発生したとき

煙が出ている、へんなにおいがするときなどは、電源プラグを抜く
■販売店に修理を依頼してください。
■そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
■お客様ご自身による修理は危険です。
絶対におやめください。

落としたり、キャビネットが壊れたときなどは、電源プラグを抜く
■販売店に修理を依頼してください。
■そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
■お客様ご自身による修理は危険です。
絶対におやめください。

内部に水や異物が入ったときは、電源プラグを抜く
■販売店に連絡してください。
■そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
■お客様ご自身による修理は危険です。
絶対におやめください。

電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く
■販売店に修理を依頼してください。
■芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因となります。

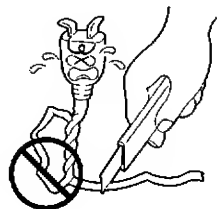
おやめください

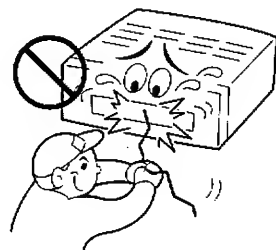
不安定な場所に置かない

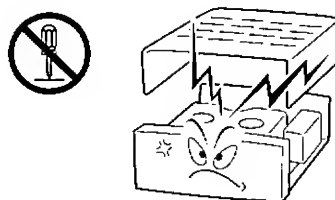
■ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
■落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

指定の電源電圧（AC100V）以外で使用しない

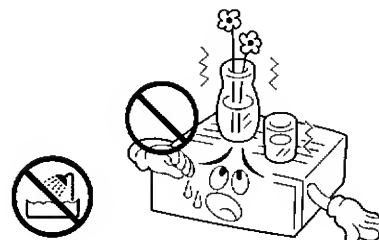
■火災や感電の原因となります。

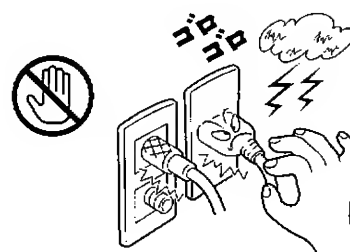
電源コードを傷つけない

■火災や感電の原因となります。
■次のようなことをすると、傷つく原因となります。
ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重いものをのせる、熱器具に近づける

内部に物を入れない

■通風孔やカセット出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。
■火災や感電の原因となります。
■特にお子様にご注意ください。

キャビネットをはずすなど、分解や改造はしない

■火災や感電の原因となります。
■お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対おやめください。
■内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

ぬらさない

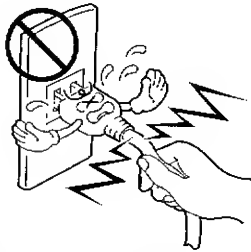
■火災や感電の原因となります。
■風呂場では使用しないでください。
■雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
■水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の上に置かないでください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない

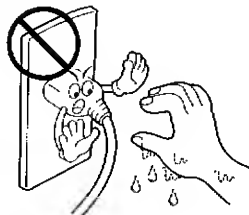
■感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

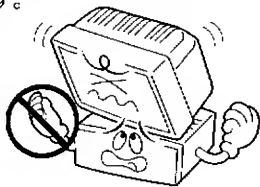
⚠注意

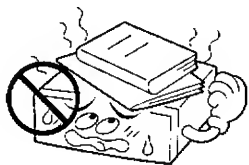
おやめください

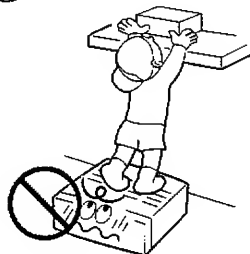
電源コードは、コードの部分を持って抜かない

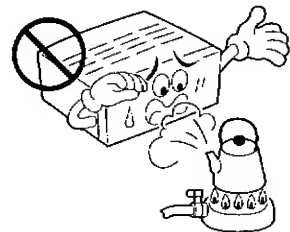
■コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
■プラグの部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

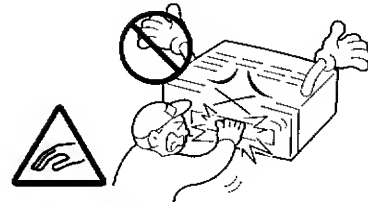
■感電の原因となることがあります。

上に重い物を置かない

■バランスがくずれて、倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさがない

■内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
■次のような使いかたはしないでください。
・押し入れや専用ラック以外の木箱など、風通しの悪い狭い所に押し込む
・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く

上にのらない

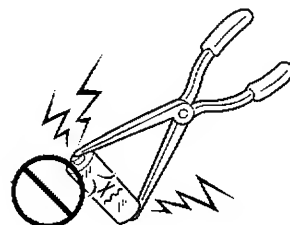
■倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。
■特にお子様にご注意ください。

次のような所には置かない

・湿気やほこりの多い所
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
・熱器具の近くなど
■火災や感電の原因となることがあります。

カセットの出し入れ口に手を入れない

■手をはさまれて、けがをする原因となることがあります。
■特にお子様にご注意ください。

指定以外の電池は使わない

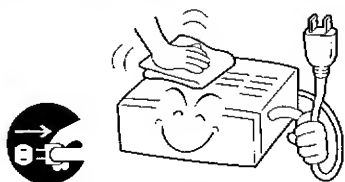
■電池の破裂や液漏れにより、火災・けがや周囲をよごす原因となることがあります。
■また、種類が異なる電池や、新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わないでください。

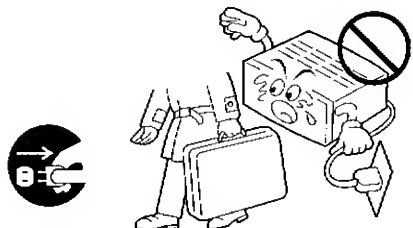
電池の金属部分をショートさせない

■電池が使用できなくなったり、火災やけがの原因となることがあります。

⚠注意

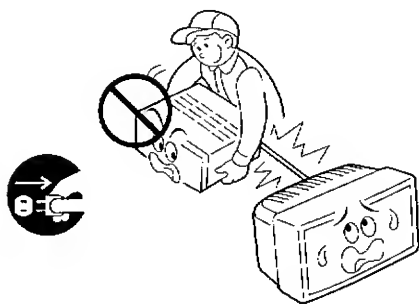
お守りください

お手入れするときは、電源プラグを抜く

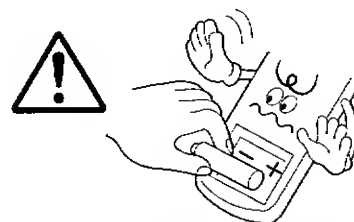
■電源が「切」でも機器に電気が流れていますので感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

■電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

■接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

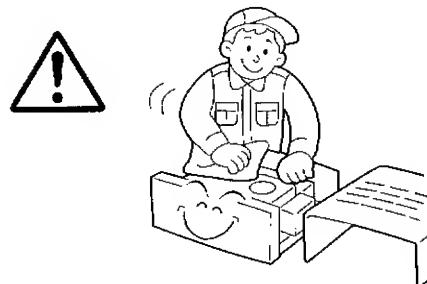
■カセットテープも取り出しておいてください。

電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する

■機器の表示通りに正しく入れてください。

■間違えると、電池の破壊、液漏れにより、火災・けがや周囲をよごす原因となることがあります。

1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

■内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や故障の原因となることがあります。

■湿気の多くなる梅雨期の前に点検をすると、より効果的です。

■費用については、販売店にご相談ください。

使用上のご注意

つゆつきにご注意ください

■**つゆつきとは**
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」（または結露）といいます。

■**つゆつきが発生すると**
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが張り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。

■**次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。
・ビデオを、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
・急に部屋を暖房したとき
・エアコンなどの冷風が直接当たるところ
・湿気の多いところ

■**つゆつきになりそうなときは、**あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。

■再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

つゆつきが発生しているときにビデオの電源を入れると、電源ランプが点滅します。このようなときは、電源を入れたまま数時間待ち、電源ランプが点滅から点灯に変わってからご使用ください。

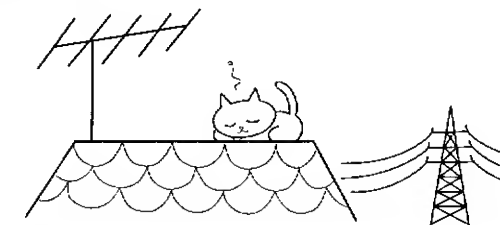
ビデオカセットテープは

■W VHS、S VHS、VHS タイプをお使いください。
■W VHS テープは、W-VHSビデオ以外では使用できません。
■録画済みテープに新しく録画するときは、前に録画されたものは消されます。
■ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。
■ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。
■テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。
■使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

ビデオカセットテープの保管は

■次のような所はさけて保管してください。
・湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
・直射日光が当たるところやストーブの近く
・磁気の発生するところ
■落としたり衝撃を与えないでください。
■テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。
■ケースに入れて、立てて保管してください。

アンテナは

■妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
■アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

長時間ご使用にならないときは

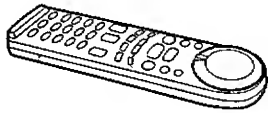
長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて、動作させてください。

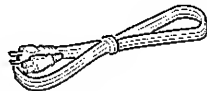
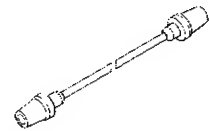
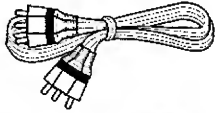
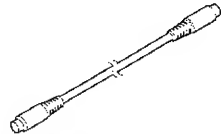
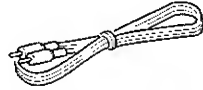
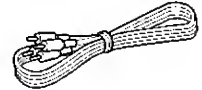
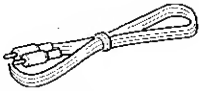
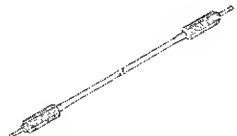
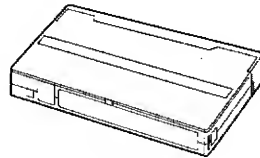
キャビネットのお手入れは

■キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書にしたがってください。
■シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

大切な録画の前に

■テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
■万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

付属品　本機の付属品をお確かめください。

リモコン

単4乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

電源コード（2m）

アンテナコード（1.2m）

HD映像コード（緑・青・赤色）
（1.2m）×2

S映像コード（1.2m）

映像コード（黄色）
（1.2m）

音声コード（白・赤色）
（1.2m）×3

AFC／検波コード（黒色）
（1.2m）×2

ミニプラグコード（1.2m）
（AVコンピュリンクⅡまたは
マルチダビング用）

W-VHS専用
ヘッドクリーニングテープ

きれいな画面でご覧いただくために

「付属のW-VHS専用ヘッドクリーニングテープを、約20時間ごとにお使いください。」

ビデオヘッドは、録画・再生をくり返すと汚れて、ざらざらした画面になります。
きれいな画面でお楽しみいただくために、本機を約20時間ご使用になるごとに、付属のW-VHS専用ヘッドクリーニングテープをお使いください。

〈ご使用方法〉

1 本機に、W-VHS専用ヘッドクリーニングテープを入れます。
2 再生ボタンを押してから約30秒後に停止ボタンを押してください。
3 W-VHS専用ヘッドクリーニングテープを取り出し、通常のW-VHSビデオテープで録画・再生して、画面・音声が回復したかをチェックしてください。
4 画面・音声が回復していないときは、1、2の操作を1－2回くり返してください。

ご注意

- ヘッドクリーニングテープは、ご使用のたびに戻さないでください。使い終わったら、最初まで巻き戻してご使用ください。
- 1回の使用時間は約30秒です。長い時間（40秒以上）ご使用になりますと、ヘッドに悪影響を与えますので、ご注意ください。
- クリーニング操作を3回くり返しても画面・音声が回復しないときは、他の原因も考えられますので、本機のご購入店にご相談ください。
- W-VHS専用ヘッドクリーニングテープは、約100回ご使用できます。
- W-VHS専用ヘッドクリーニングテープは、録画・再生できません。
- 本機には、W-VHS専用ヘッドクリーニングテープ以外は使用しないでください。
- W-VHS専用ヘッドクリーニングテープは、W VHS マークのついたビデオ以外には使用できません。

W VHS

このビデオカセットレコーダーはW-VHSビデオのHDモードおよびSDモードがお楽しみいただけます。
必ず W VHS マークのついたカセットをご使用ください。
また、VHSモードおよびS-VHSモードを搭載していますので、VHSマークまたは S VHS マークのついたカセットをご使用ください。

本機でHD録画をする場合は、

HD出力（Y、P_B、P_R）のあるMUSEデコーダー内蔵ハイビジョンテレビと組み合わせてご使用ください。またその他のハイビジョンテレビでは市販のMUSEデコーダーを組み合わせてご使用ください。

もくじ

はじめに

各部のなまえ

・本体前面 …… 10
・本体表示窓 …… 12
・本体背面 …… 13
・リモコン …… 14
・リモコン表示窓 …… 15

画面表示

・画面表示で動作を確認する …… 16
・画面表示を出したくないときは …… 17
・メニュー画面、チャンネル合わせ画面 …… 18
・モード選択画面、映像入力設定画面 …… 19

接続

アンテナの接続 …… 20
BSアンテナの接続 …… 22
・アンテナ電源スイッチの設定 …… 22
・BSアンテナの方向調節 …… 23
AVテレビとの接続 …… 24
ハイビジョンテレビとの接続
・接続早見表 …… 25
・ビクター製テレビとの接続および操作方法 …… 26
・松下製テレビとの接続および操作方法 …… 32
・ソニー製テレビ (1) との接続および操作方法 …… 38
・ソニー製テレビ (2) との接続および操作方法 …… 44
・他社製テレビとの接続および操作方法 …… 50
・デコーダー関連の接続 …… 56
関連システムとの接続
・AVコンピュリンク …… 58
・BSリレーREC …… 59

準備

受信チャンネル設定
・オートチャンネル設定 …… 60
・不要なチャンネルを飛ばす …… 61
・チャンネルの表示を変更する …… 62
・チャンネルの微調整をする …… 63
時計合わせ
・リモコンと本体の時計を合わせる …… 64
・画面表示で時計を合わせる …… 65
Gコード予約の準備〔ガイドチャンネル設定〕
・Gコード予約する前の準備 …… 66
・ガイドチャンネルを本体に記憶する …… 68
・ガイドチャンネル一覧表 …… 69
・Gコードインフォのガイドチャンネルを本体に記憶する … 70
・地域別民放ネットワークのガイドチャンネル一覧表 … 71
カセットの出し入れ …… 72
使用テープと録画方式
・W-VHSテープを使用した場合の録画方式と表示ランプ … 74
・S-VHS/VHSテープを使用した場合の録画方式と表示ランプ … 74
・使用テープと録画方式 …… 75
・自動HD録画スイッチの働き …… 76
リモコンの準備
・ビクター以外のテレビを操作する …… 77
・本機のリモコンで2台のビクタービデオを操作する …… 77

この取扱説明書の見かた

各ページの操作がリモコンまたは本体のどちらで操作できるか左上にイラストでお知らせしています。

リモコンで操作できます。

本体で操作できます。

再生

ビデオテープを再生する……78
・早送り／巻戻し再生……78
・静止画／コマ送り／スロー再生……78
・巻戻し／早送り……79
・オープンサーチ……79
・CMスキップサーチ……79
・ゼロリターン……80
・可変速再生……80
・ジョグダイヤル／シャトルリング……81

録画

テレビ番組を録画する……82
・録画するビデオチャンネルの選びかた……83
・ウラ番組録画……83
・テープ残量……84
・ワンタッチタイマー録画……84
・リテイク機能……85
・ブランクサーチ……85

衛星放送

衛星放送を見る
・WOWOWを見る……86
・St. GIGAを聞く……87

タイマー予約

Gコード予約……88
・予約の開始／終了時刻を変更する……89
・ぴったり録画……89
通常予約……90
予約の確認／取消し／変更……92

応用

番組の頭出し
・頭出し再生……94
・頭出し信号の書込み／消去……94
・ネクストファンクションメモリー……95
録音する音声を選ぶ……96
聞きたい音声を選ぶ
・日本語と外国語が同時に聞こえたら……97
・インサート編集やアフレコ編集したテープを聞く……97
・Hi-Fi録音レベルを手動調節する……97
再生画面の調節
・映像ポジション……98
・629デジタルTBC……98
・3次元デジタルY/C分離……99
・トラッキング調節……99
・シャープネス……100
・Y/Cタイミング……101
・ビデオステータス設定……102
・SD/HDモード映像調節……104

編集

編集の種類……106
テープのコピー〔ダビング〕……107
プリロール編集……110
マルチダビング……112
アフレコ編集……115
インサート編集……116
・プリロールインサート編集……118

その他

故障かな？と思ったら……120
技術解説……123
仕様……128
索引……129
保証とアフターサービス……130
ビクターサービス窓口……131

各部のなまえ

□内のページで機能を説明しています。

本体前面

フタの開けかた

フタ中央部を引いて開けます。

本体左側　本体右側

メニューボタン
合わせー/十ボタン
（トラッキング調節
ボタン兼用 99）
送りボタン
メニュー操作ボタン 18

ビデオチャンネル切換ボタン
60 82 86

ヘッドホン端子
ヘッドホン音量調節つまみ

記憶ボタン 62 63 68
スキップボタン 61 ／
取消しボタン（カウンター
リセットボタン兼用）78 92

Hi-Fi自動録音スイッチ 97

チャンネル合わせボタン
60 ～ 63, 68

カセット出し入れ口 72

BS音声スイッチ 86
自動HD録画スイッチ 76
リモコンコード切換スイッチ 77

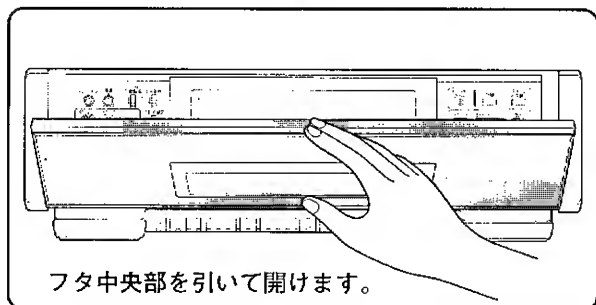
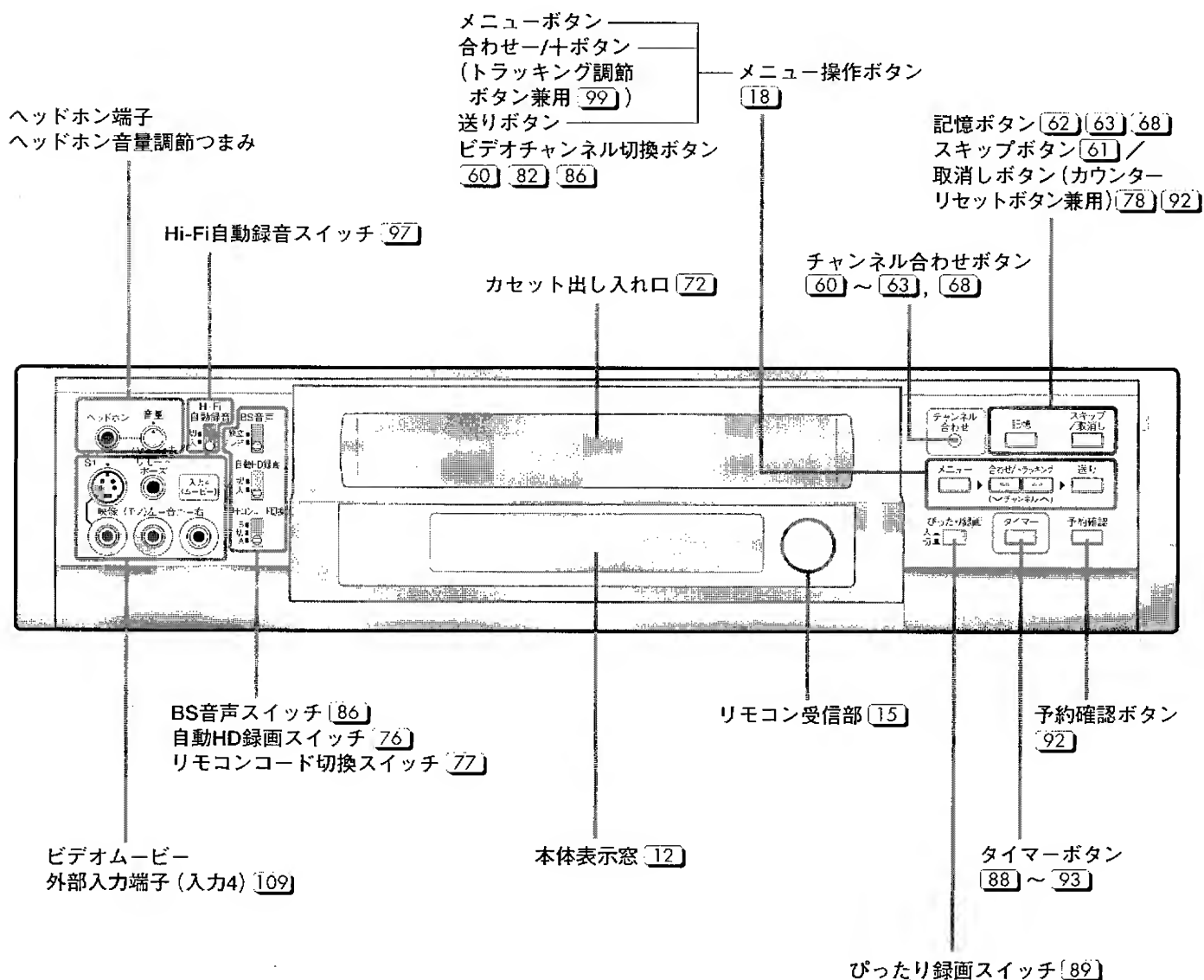
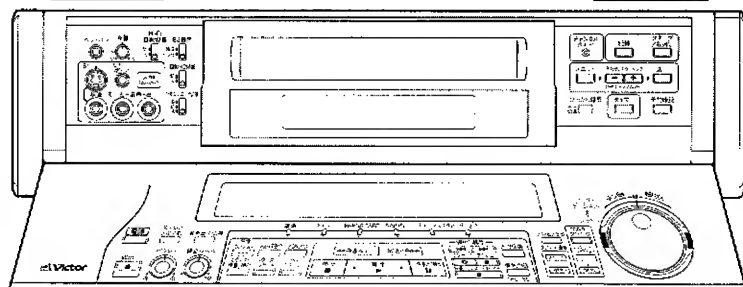
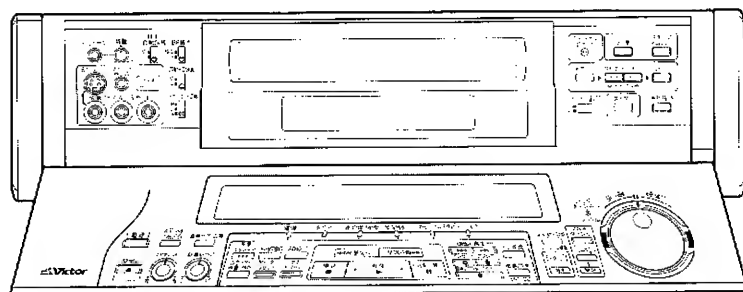
リモコン受信部 15

予約確認ボタン
92

ビデオムービー
外部入力端子（入力4）109

本体表示窓 12

タイマーボタン
88 ～ 93

ぴったり録画スイッチ 89

映像ポジションボタン 98
629TBCボタン 98
3D Y/Cボタン 99

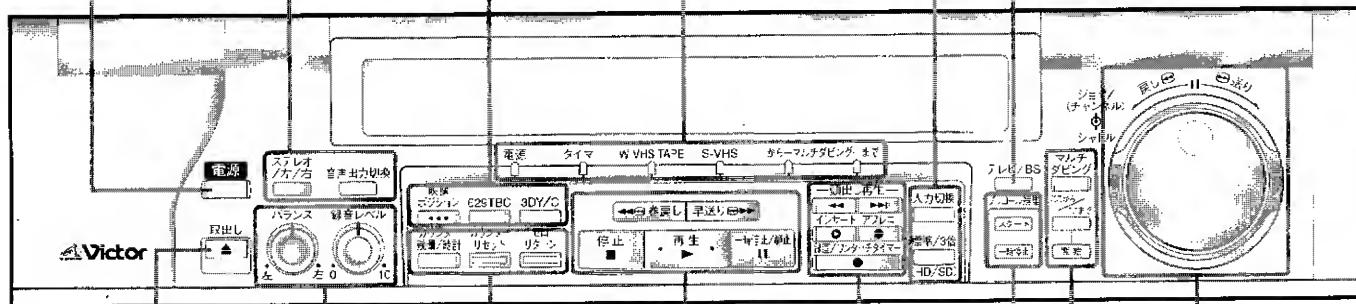
電源（POWER）ランプ（赤）
タイマー（TIMER）ランプ（赤） 88 ～ 93
W-VHS TAPEランプ（赤） 74
S-VHS ランプ（緑） 74
マルチダビングのから（START）／まで（STOP）
ランプ（緑） 112 113

ステレオ／左／右切換ボタン 97
音声出力切換ボタン 97

入力切換ボタン 107 ～ 119
標準／3倍切換ボタン 82
（HD/SD切換ボタン兼用 75 76 ）

電源ボタン

テレビ／BS切換ボタン
83

カセット取出しボタン
72

基本操作ボタン

ジョグダイヤル／
シャトルリング 81

Hi-Fi録音のレベルつまみ／
バランスつまみ 97

マルチダビング操作ボタン
112 ～ 114

カウンター／残量／時計表示切換ボタン 84 85
カウンターリセットボタン 78 116 118
ゼロリターンボタン 80

プリロール編集操作ボタン
110 118

頭出し再生ボタン 94
インサートボタン 116 118
アフレコボタン 115
録画／ワンタッチタイマーボタン 82 84

各部のなまえ（つづき）

□内のページで機能を説明しています。

本体表示窓

オートトラッキング（AT）表示 99
カセット（ ）表示 78 82

録画・再生スピード表示 82

ワンタッチタイマー録画（OTR）表示 84

テープ残量表示 84

頭出し再生表示 94
（VISS：VHS Index Search Systemの略）

曜日表示 88 ～ 93

リターン入力表示 86 87

毎週日月火 水木金土 残量 AT 標準3倍 VISS 録画BS フルモード OTR 午前 午後 H M 日 +8 4 0 6 10 −15dB L ノーマル R

日にち表示
88 ～ 93

時計表示
・電源「切」のときは、秒も表示します。
タイマー開始・終了時刻表示
カウンター表示
・早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になるとカウンター表示が点滅します。

Hd/Sd表示
74

チャンネル／
外部入力表示

フルモード表示
・外部機器からの入力信号または再生するテープに、フルモードの識別信号があると点灯します。

音声レベルメーター表示／
音声出力表示 97

テープ走行表示

本体表示窓の明るさを自動的に変えるミッドナイトディマー

夜10:00～翌朝4:59の時間でビデオ電源「切」のときに、本体表示窓を自動的に暗くします。
ただし、次のようなときは明るくなります。
・リモコンから本体へ予約を転送したとき
・予約の確認をしたとき
・テープ残量の確認をしたとき

本体背面

MUSEデコーダーまたは
MUSE-NTSCコンバーターとの接続 56
・AFC入力端子
・検波出力端子

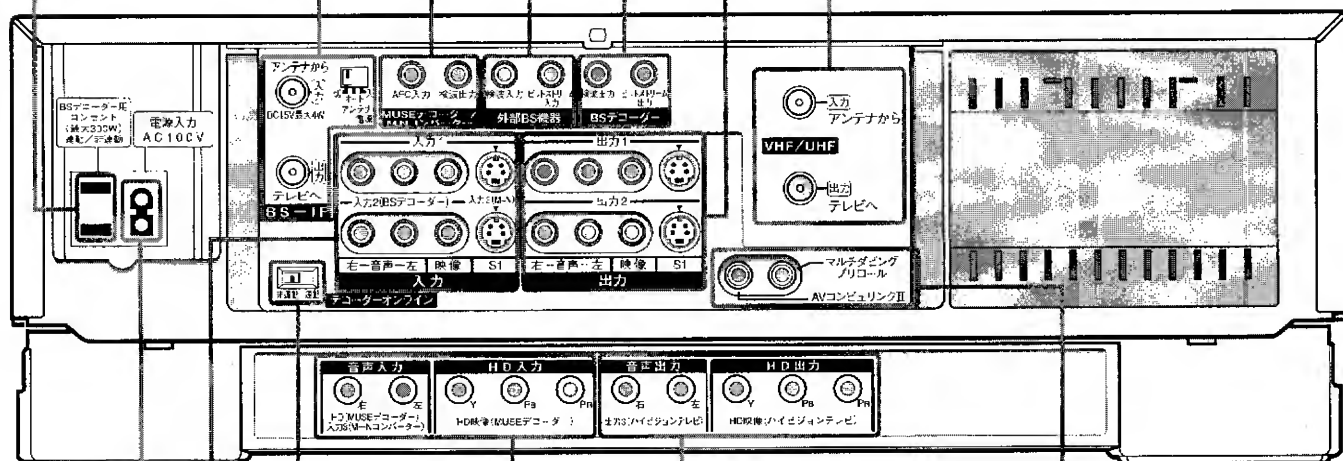
BSアンテナ接続端子 22
・BSアンテナ入力端子
・BS-IF出力端子
・BSアンテナ電源切換スイッチ

他のBS機器との接続 26 ～ 57
・検波入力端子
・ビットストリーム入力端子

BSデコーダーとの接続 26 ～ 57
・検波出力端子
・ビットストリーム出力端子

映像／音声出力端子（2系統）

BSデコーダー用電源
コンセント 27 ～ 56

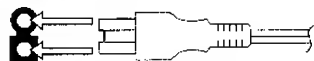
アンテナ接続端子 20

デコーダーオンライン
スイッチ 27 ～ 56

HD出力端子 26 ～ 57
・ハイビジョンテレビなどと接続します。

HD入力端子 26 ～ 57
・MUSEデコーダーと接続します。
・MUSE-NTSCコンバーターと接続するときは、音声入力のみ接続します。

マルチダビング端子 112
／プリロール端子 110 118
AVコンピュリンクII 端子 27 32

映像・音声入力端子（3系統）26 ～ 57
・入力2はBSデコーダー接続端子です。
・入力3のS1端子は、MUSE-NTSCコンバーター接続端子です。

電源ソケット

・付属の電源コードを電源ソケットの形状に合わせて接続してください。
・灰色部分が挿入部です。まっすぐに、止まるところまで確実に差し込んでください。

リモコン表示窓

乾電池の入れかた

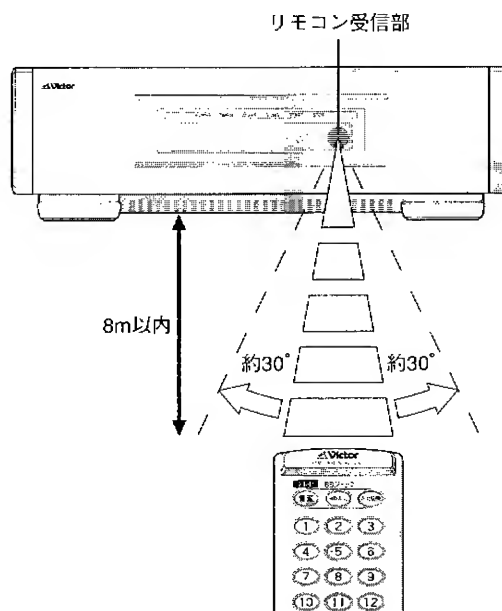
●単4乾電池を2本入れます。

リモコンの向けかた

リモコン受信部

8m以内

約30°

約30°

■乾電池についてのご注意

・付属の乾電池は動作確認用です。

・長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。

・リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。

■乾電池交換の目安は

・リモコンの操作できる距離が短くなったり、リモコン表示窓が薄くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは新しい乾電池に交換してください。

■乾電池を交換するときは

・単4乾電池（UM-4型）をご使用ください。

・2本とも新しいものと交換してください。（使用済みのものを混ぜないでください）

・乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。

・乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。

・交換後、リモコン表示窓の時計が 0:00 で点滅するときは、時計合わせ（64 ページ）とテレビのメーカー指定（77 ページ）をやり直してください。

画面表示

テレビ画面に出る表示で動作が確認できます。

□内の数字が参照ページです。

各操作ボタンを押すと、操作内容をテレビ画面に約5秒間表示します。
テレビのハイビジョン画面には表示されません。

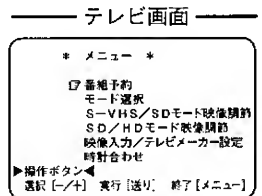
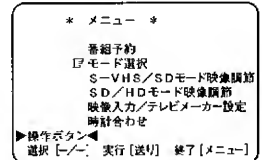
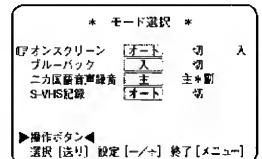
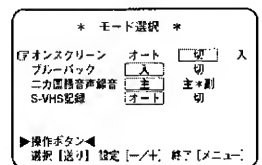
画面表示を出したくないときは

裏面

1～5

準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

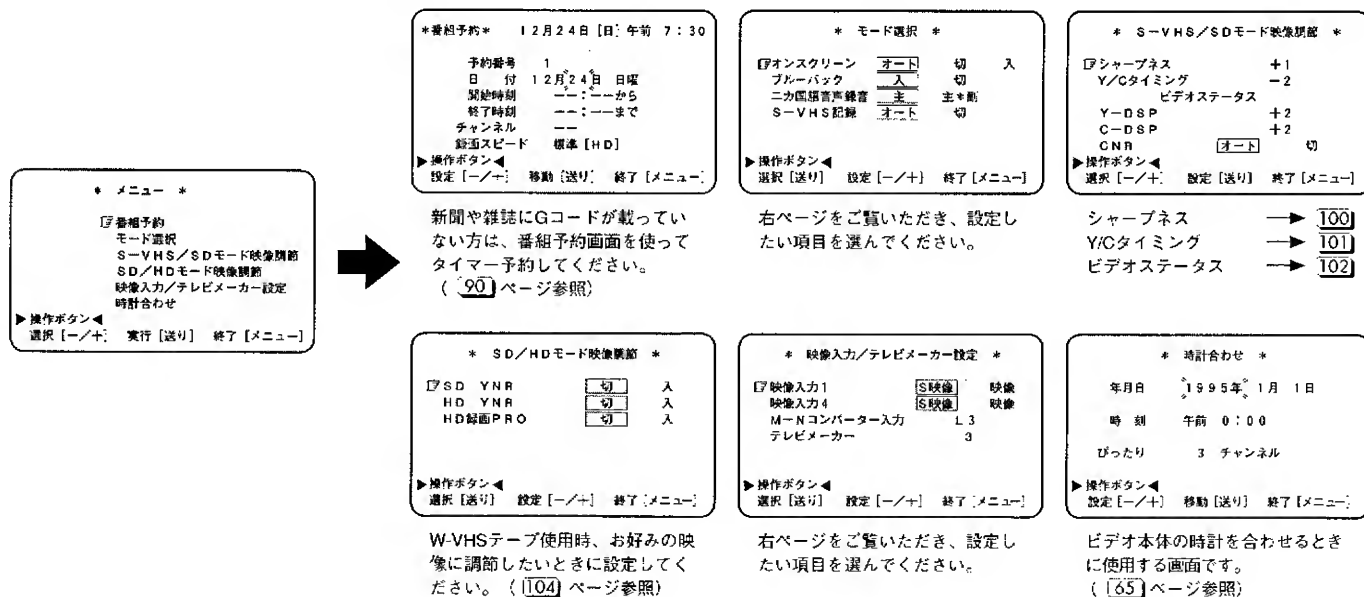
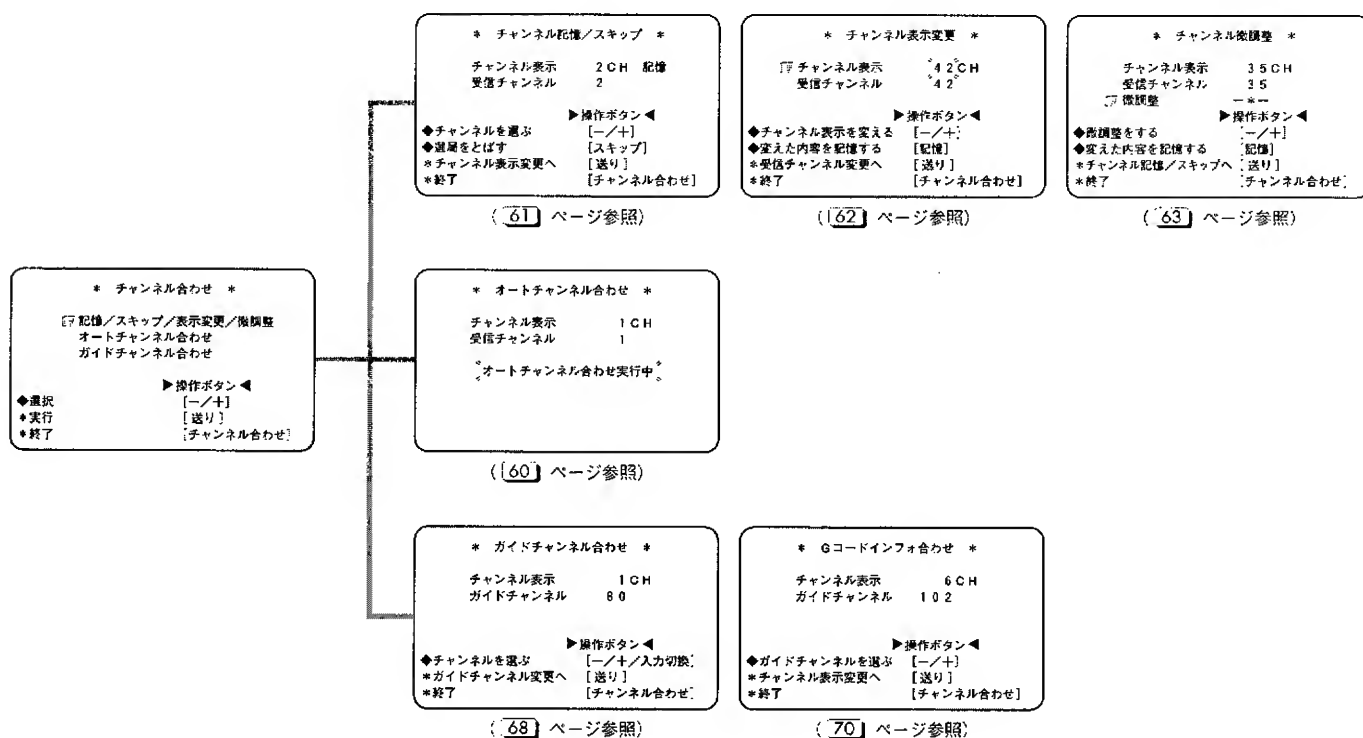
テレビ画面

1 **メニューボタン**を押す
●メニュー画面を表示します。

2 **合わせ－/＋ボタン**で**モード選択**を選ぶ

3 **送りボタン**を押す
●モード選択画面を表示し、オンスクリーンの項目に☞表示が合わせてあります。
●他の項目を設定したいときは、送りボタンを押し、設定したい項目に☞表示を合わせてください。

4 **合わせ－/＋ボタン**で**オンスクリーン**を**切**にする

5 **メニューボタン**を押す
●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

メモ

●オンスクリーン「切」でも、次のようなときは、テレビ画面に文字を表示します。
・録画ポーズのとき
・インサートポーズのとき
・アフレコポーズのとき
・青い画面（ブルーバック）のとき

画面表示(つづき)

メニュー画面　リモコンまたは本体で操作します。

チャンネル合わせ画面　本体で操作します。

●モード選択画面の設定内容について　[　]内の数字が参照ページです。

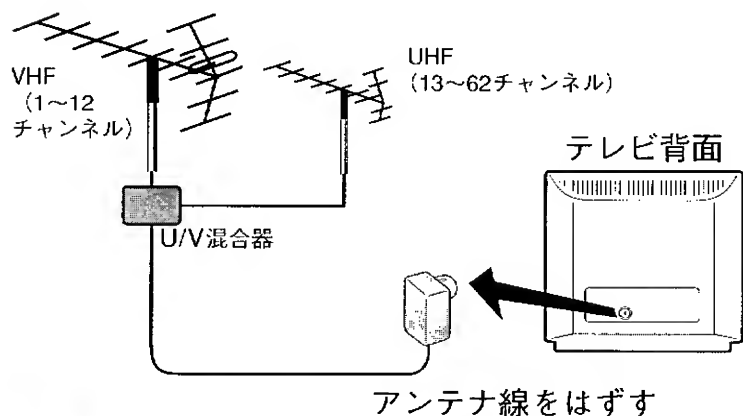
オンスクリーン	オート	テレビ画面に文字を表示します。	17
	切	ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないように「切」にします。	
	入	常時、カウンター（または残量／時計）を表示します。	
ブルーバック	入	放送のないチャンネルおよび外部入力で無信号のときは、青い画面（ブルーバック）になります。	—
	切	電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」にします。	
二カ国語音声録音	主	二カ国語放送のときに主音声（日本語など）だけを録音します。	96
	主＊副	二カ国語放送のときは主音声と副音声の両方を録音します。 外国語を録音するときは「主＊副」にします。 再生・録画時に音声出力切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。	
S-VHS記録	オート	S-VHSカセットのときはS-VHS記録、VHSカセットのときはVHS記録します。	—
	切	S-VHSカセットにVHS記録するときは「切」にします。	

・ブルーバックおよびS-VHS記録の設定方法は[17]ページと同様です。

●映像入力／テレビメーカー設定画面の設定内容について　[　]内の数字が参照ページです。

映像入力1	S映像／映像	本機背面の入力1端子に、S映像と映像の両方を接続しているときに、どちらの信号を入力するかを選びます。 ご購入時は「S映像」に設定されています。	106
映像入力4	S映像／映像	本機前面の入力4端子に、S映像と映像の両方を接続しているときに、どちらの信号を入力するかを選びます。 ご購入時は「S映像」に設定されています。	
M-Nコンバーター入力	L3／L2	M-NコンバーターにS映像出力端子がない場合は、「L2」に設定してください。ビデオ側でBS9チャンネルを選んだときに、自動的に入力2の映像端子の信号が入力されます。M-NコンバーターにS映像出力端子がある場合は「L3」に設定してください。 合わせー／十ボタンを押すごとに「L3」と「L2」が交互に切り換わります。 L3：M-NコンバーターにS映像出力端子がある場合 L2：M-NコンバーターにS映像出力端子がない場合 ご購入時は「L3」に設定されています。	—
テレビメーカー	1／3	松下またはビクターのハイビジョンテレビをお持ちの場合、AVコンピュリンクⅡ機能を働かせるために、テレビメーカーの設定をしてください。 1：松下　　3：ビクター 合わせー／十ボタンを押すごとに「1」と「3」が交互に切り換わります。 ご購入時は「3（ビクター）」に設定されています。	28 34

アンテナ・ビデオ・テレビの接続

アンテナ ←→ ビデオの接続

ビデオ ←→ テレビの接続

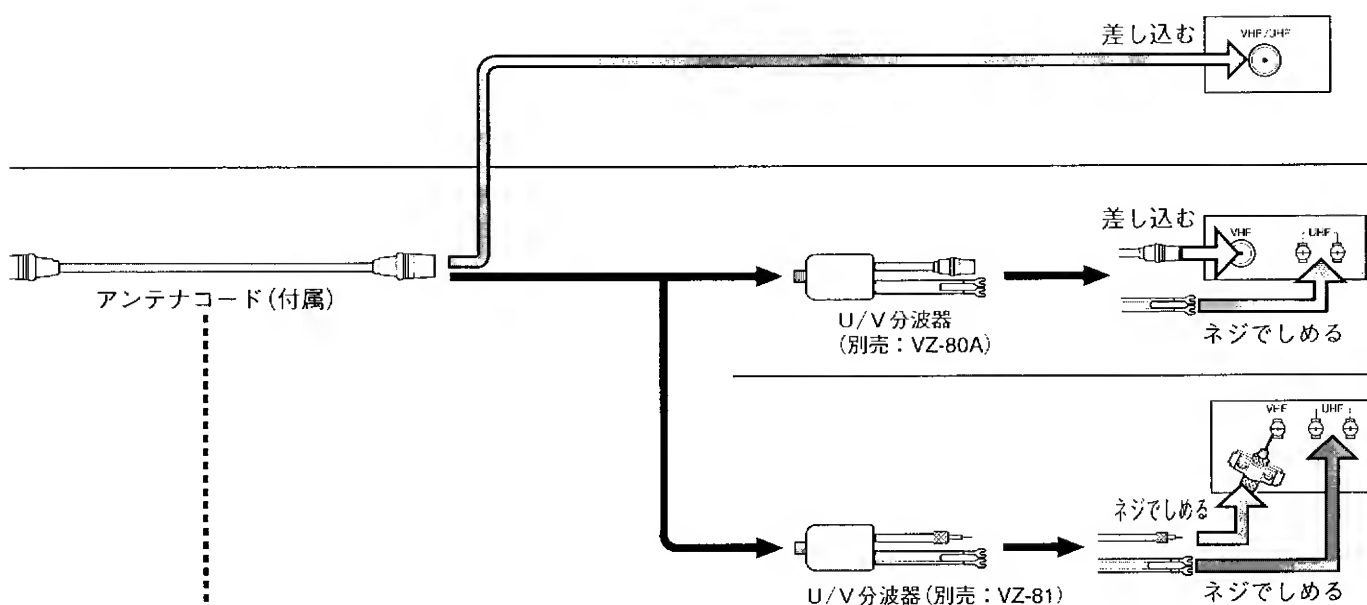
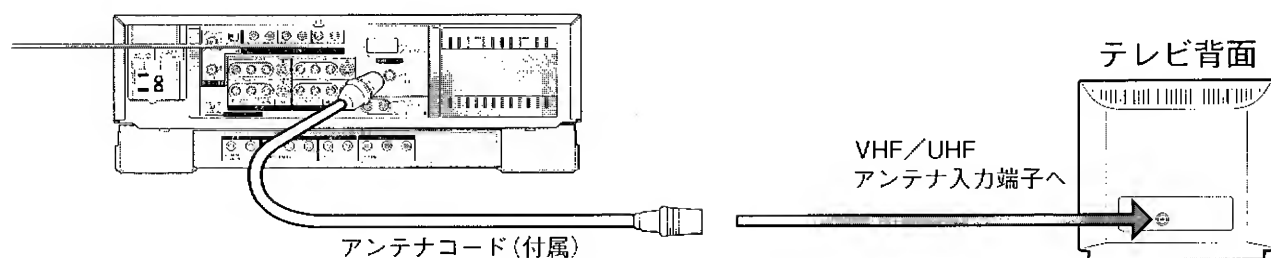
3 ビデオ背面の VHF/UHFアンテナ出力端子とアンテナコードを接続する

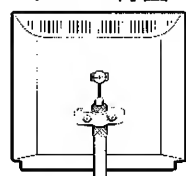
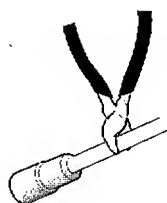
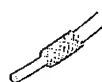
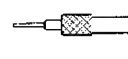
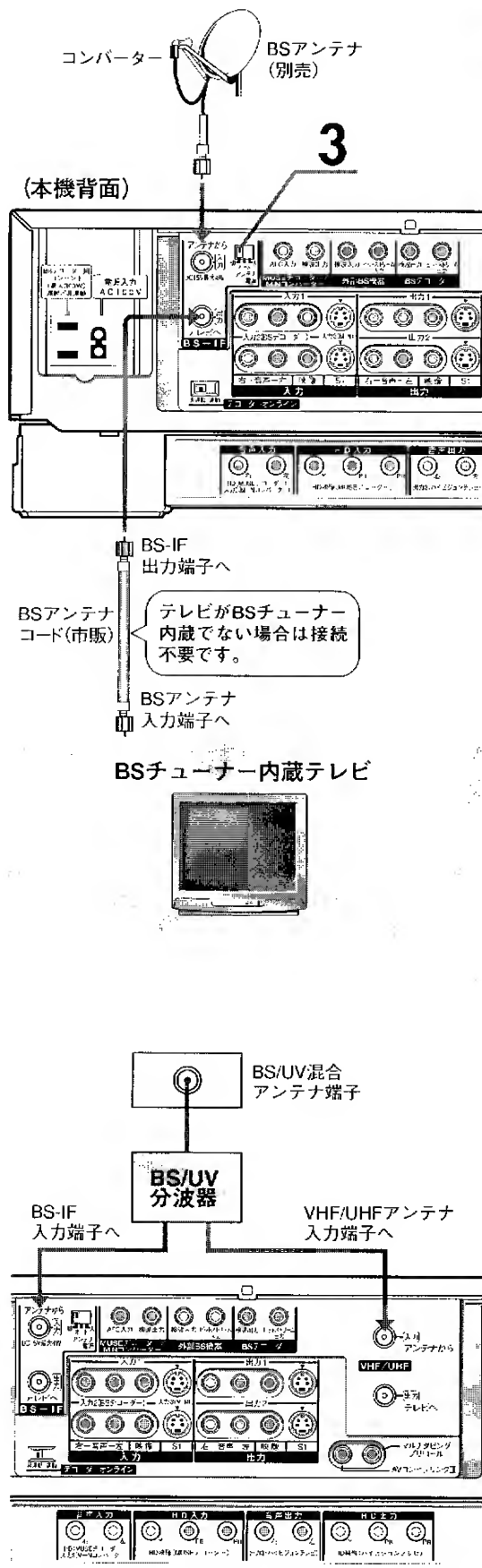
4 テレビ背面の VHF/UHFアンテナ入力端子へ接続する

差し込む
VHF/UHF

アンテナコード（付属）

差し込む
VHF
UHF
U/V分波器
（別売：VZ-80A）
ネジでしめる

VHF
UHF
ネジでしめる
U/V分波器（別売：VZ-81）
ネジでしめる

アンテナとテレビが下のように接続されているかたは、付属のアンテナコードを右のように加工してください。

テレビ背面

切断する。	すじを入れ、切り取る。	網線を折り返す。	芯線を傷つけないように。	芯線を出し、テレビに接続する。

BSアンテナの接続

BSアンテナの接続とアンテナ電源スイッチの設定

BSアンテナを接続するときは、アンテナ電源スイッチを「切」にしてから始めてください。

1 本機とBSアンテナを接続する

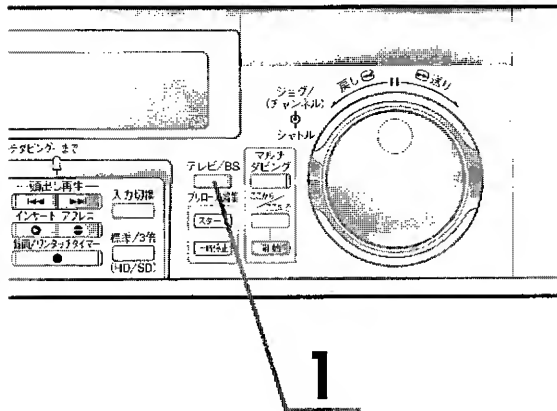
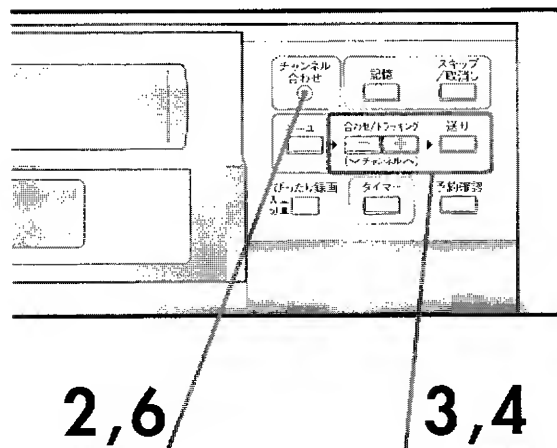
2 BSチューナー内蔵テレビをお持ちのかたは、BSアンテナコードで本機の**BS-IF出力端子**とテレビの**BSアンテナ入力端子**を接続する

3 **アンテナ電源スイッチ**を設定する

切	・共同受信している場合（マンションなど） 本機からBSアンテナへ電源を供給しません。
オート	・本機以外にBS機器がない場合 ・他のBS機器のアンテナ電源スイッチに「入（連動）または電源連動」がある場合は、本機のアンテナ電源スイッチを「オート」、他のBS機器を「入（連動）または電源連動」にします。 本機の電源が「入」のとき、または本機の電源が「切」でも他のBS機器の電源を入れると、自動的にBSアンテナに電源を供給します。
入	・他にもBS機器があり分配器を使用している場合は、本機のアンテナ電源スイッチを「入」、他のBS機器を「切」にします。 本機の電源プラグをコンセントに差し込んでいれば、常にBSアンテナに電源を供給します。

アンテナ端子がBS／UV混合の場合

マンションなどの共同受信施設でBSアンテナとVHF／UHFアンテナが混合されたアンテナ端子の場合は、BS／UV分波器（別売：型名VZ－BS20HF）が必要です。
接続のしかたは、左の図をご覧ください。

ドア内右側

本体右側

BSアンテナの方向調節

準備 ①本機のアンテナ電源スイッチを確認します。(左ページ参照)
②テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

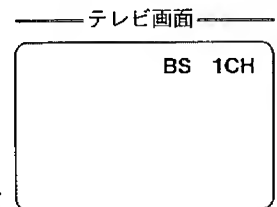
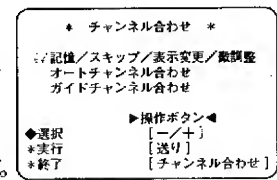
—テレビ画面—

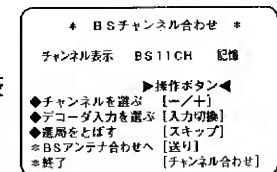
BS 1CH

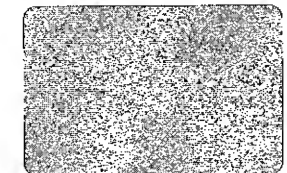
1 **テレビ/BSボタン**を押す

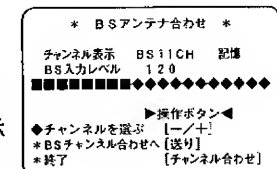
* チャンネル合わせ *
記憶/スキップ/表示変更/微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択 [−/+]
*実行 [送り]
*終了 [チャンネル合わせ]

2 本体の
チャンネル合わせボタン
を押す
●チャンネル合わせ画面を表示します。

* BSチャンネル合わせ *
チャンネル表示 BS11CH 記憶
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [−/+]
◆デコーダ入力を選ぶ [入力切換]
◆選局をとばす [スキップ]
*BSアンテナ合わせへ [送り]
*終了 [チャンネル合わせ]

3
1 送りボタンを押す
●BSチャンネル合わせ画面を表示します。

2 合わせ−/+ボタンで
放送があるチャンネルを選ぶ
●BS番組を受信していないと、青い画面になります。

4 **送りボタン**を押す
●BS番組を受信していないと、ノイズ画面になります。
●BS番組が映ったら5へ進みます。

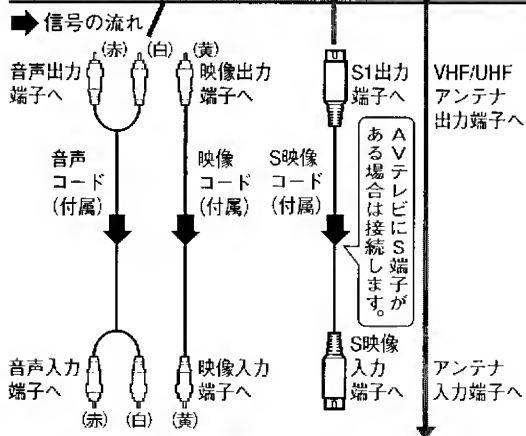
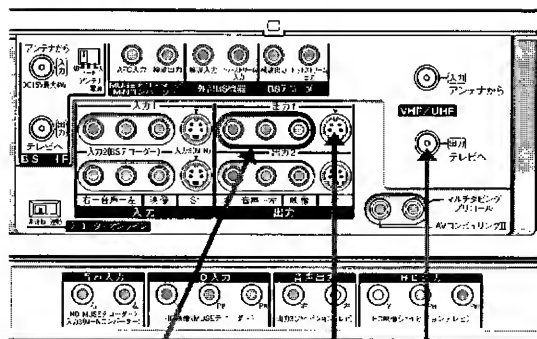
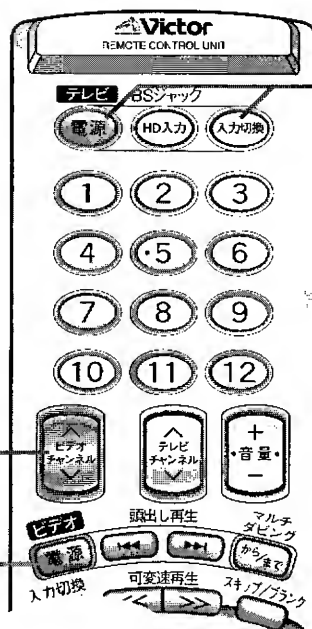
* BSアンテナ合わせ *
チャンネル表示 BS11CH 記憶
BS入力レベル 120
■■■■■■■■◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [−/+]
*BSチャンネル合わせへ [送り]
*終了 [チャンネル合わせ]

5
1 BSアンテナを動かして、
BS番組が映るようにする
●BSアンテナ合わせ画面を表示します。

2 BS入力レベルの数値が最大
になるように、BSアンテナを動かして微調整する
●数値が小さくても、画面がきれいに映っていれば大丈夫です。

6 **チャンネル合わせボタン**を押す
●設定が完了し、BS番組画面に戻ります。

■BSアンテナ設置完了後、60ページのオートチャンネル設定を行ってください。

メモ

●雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、BSアンテナやビデオの故障ではありません。
●春分と秋分の前後は、食(放送衛星が地球や月の影に入ること)により電波が途切れるため、放送が一時的に休止する場合があります。
●BS入力レベル表示は、信号と雑音の比を目安として表したもので、電波の強さそのものを示しているわけではありません。映像がきれいに映っていれば、レベルの大小は関係ありません。
●BSアンテナの設置についてはBSアンテナの取扱説明書をご覧ください。

AVテレビとの接続

AVテレビ（映像／音声入力端子付きテレビ）の場合は、付属の映像／音声コードを使ってテレビとビデオを接続してください。(左図参照)
ハイビジョンテレビをお持ちの場合は、右ページをご覧ください。

AV接続後の確認

1 ビデオの電源を入れる

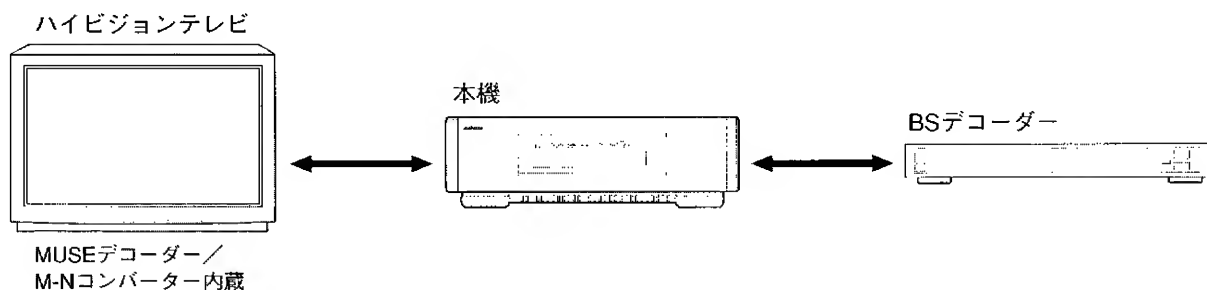
2 テレビの電源を入れ、本機と接続した入力端子（ビデオ1、ビデオ2など）を選ぶ
●ビクター以外のテレビを操作する場合は、77 ページをご覧ください。

3 ビデオのチャンネルを変えて、映ることを確認する
●ビデオソフトまたは録画済みカセットがある場合は、再生して映ることを確認します。

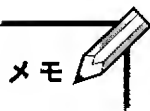
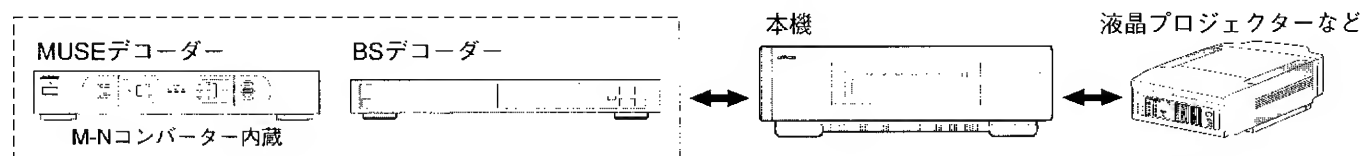
ハイビジョンテレビとの接続

●接続早見表

お持ちのテレビやデコーダー機器により、接続および操作方法が異なります。
お持ちの機器に合ったタイプをお選びください。

ハイビジョンテレビをお持ちの場合

テレビのメーカー	接続例の対応機種	ページ
ビクター	HV-32EZ5, HV-28EZ5, HV-28Z5	26 ～ 31
松　下	TH-32HV40, TH-28HV40, TH-36HV30, TH-32HV20, TH-28HV20	32 ～ 37
ソニー ①	KW-3200HD	38 ～ 43
ソニー ②	KW-2810HD	44 ～ 49
他　社	接続例として、三菱36D-HD2の説明をしています。	50 ～ 55

MUSEデコーダーをお持ちの場合（56 ページ）

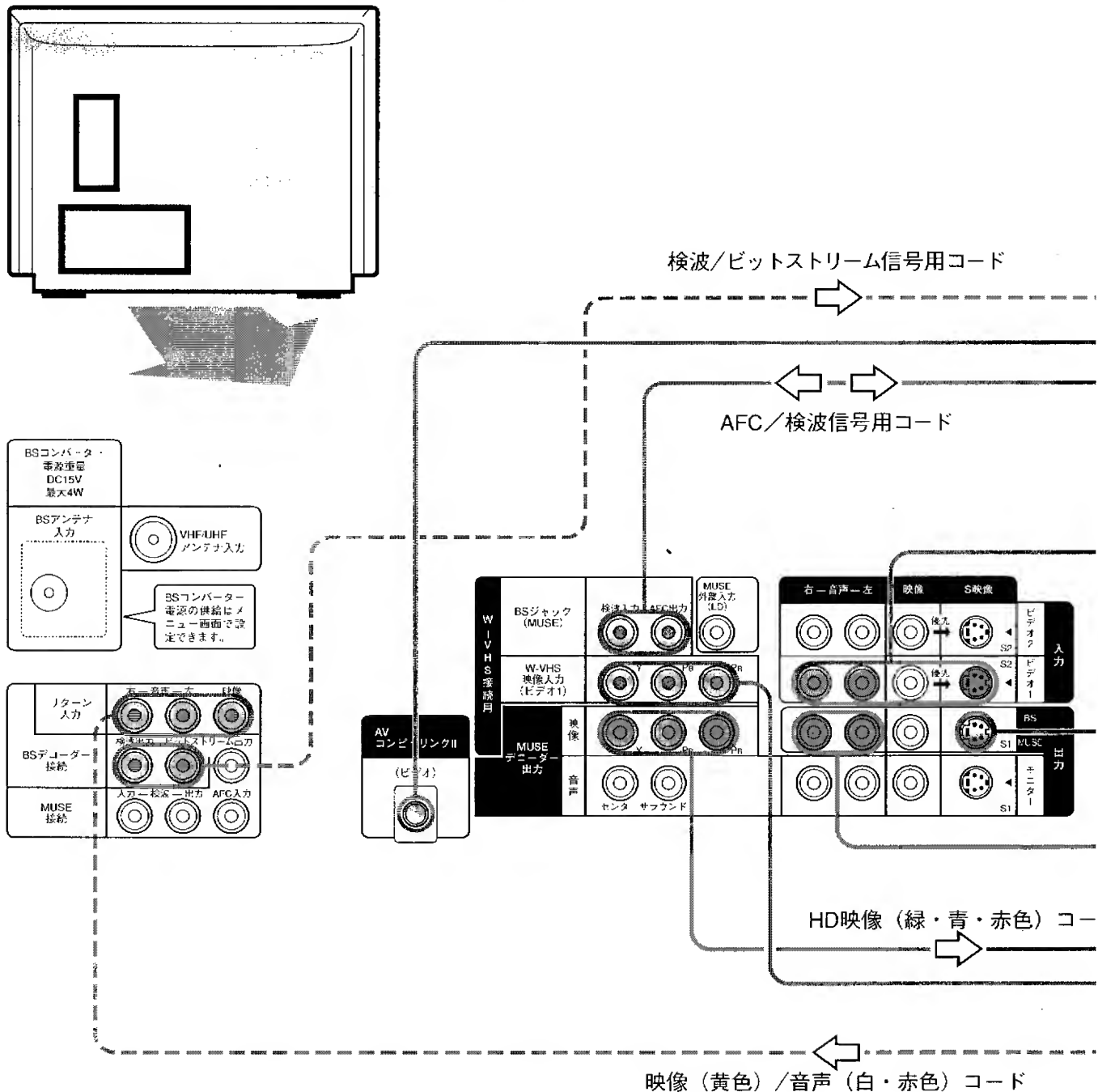
MUSEデコーダー　BSデコーダー
M-Nコンバーター内蔵
本機
液晶プロジェクターなど

●再生時、しま模様や色むらが出ることがありますので、本機とテレビを離してください。本機をラックなどに設置する場合は、下段に設置してください。
●本機の天面には、内部の温度上昇を防ぐために通風孔があけてありますので、ふさがないでください。

ビクター製ハイビジョンテレビとの接続

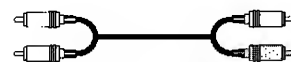
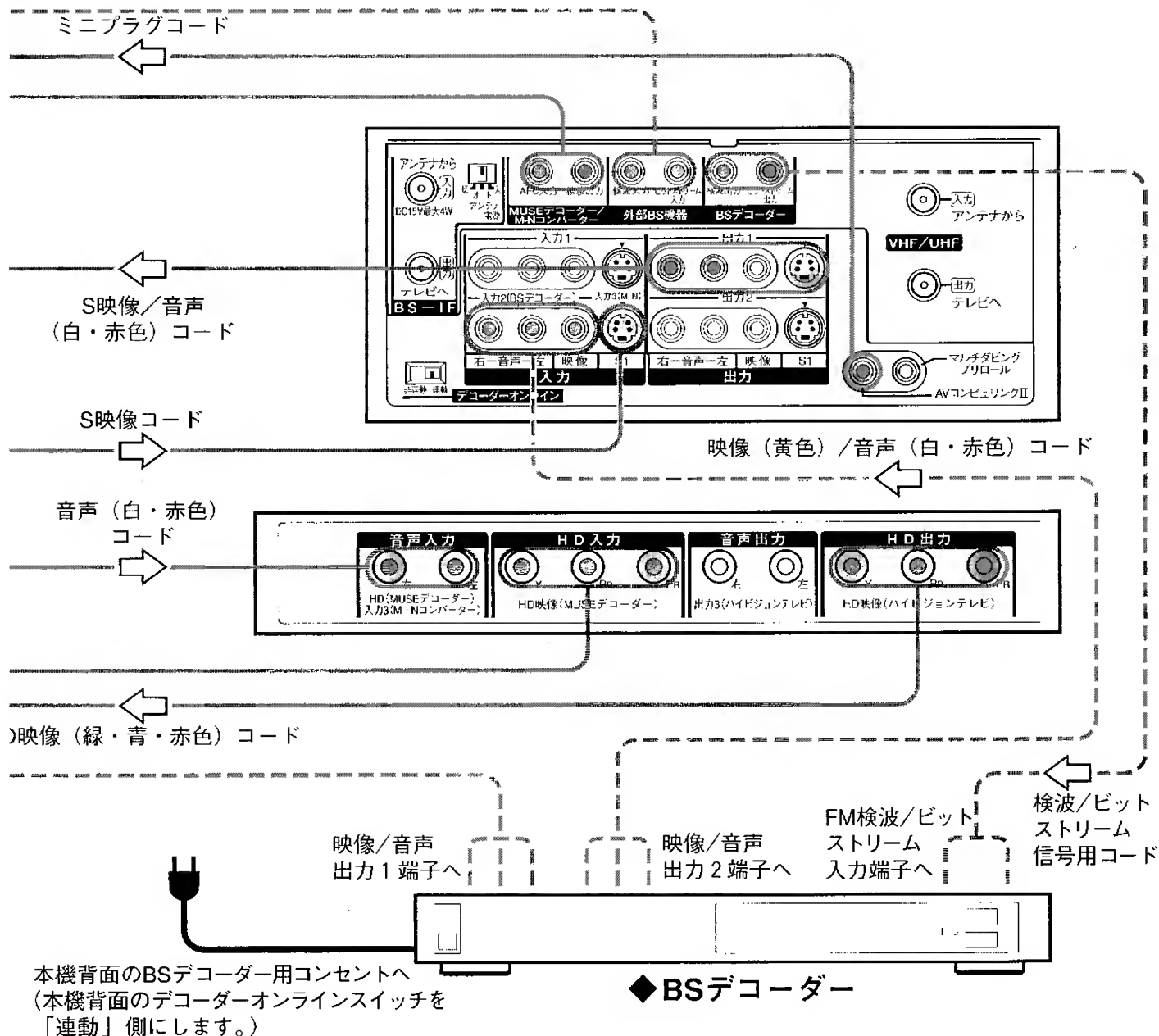
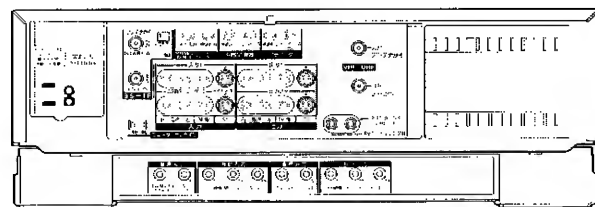
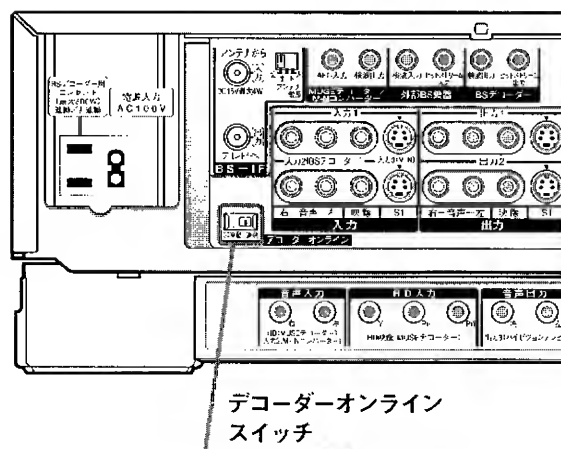
接続例の機種名：HV-32EZ5, HV-28EZ5

アンテナ接続（BS含む）は、アンテナ→ビデオ→テレビのように接続します。（20 ～ 22 ページ参照）
接続後、28 ～ 31 ページの「再生・録画・タイマー予約のしかた」をお読みください。
BSデコーダーを接続しないときは、----- 部分の接続は不要です。

◆ビクター製ハイビジョンテレビ背面

（MUSE デコーダー、MUSE-NTSCコンバーター内蔵）

HR-W5←→ビクター製テレビ←→BSデコーダーとの接続

付属品以外に必要なコード類

BSアンテナコード×1　S映像コード×1　映像コード×3（映像/検波/ビットストリーム用に使用します。）　音声コード×1

◆HR-W5背面

本機背面のBSデコーダー用コンセントへ
（本機背面のデコーダーオンラインスイッチを「連動」側にします。）

◆BSデコーダー

BSデコーダーの電源設定

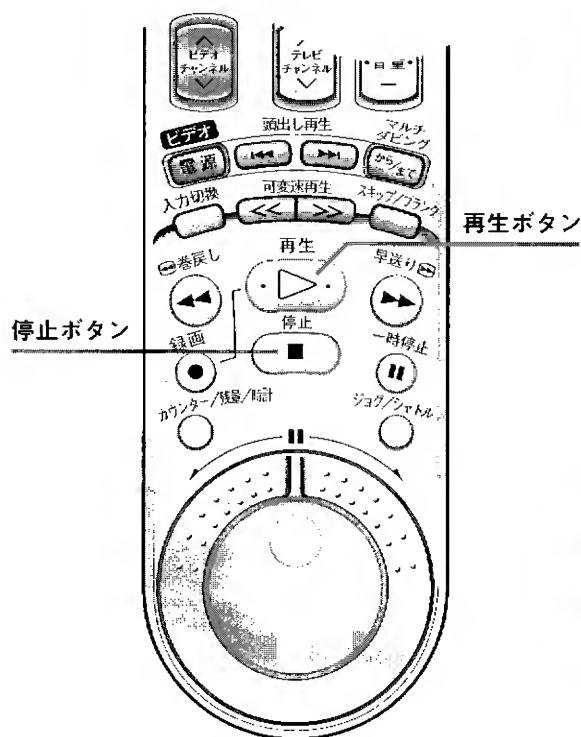
■前ページの接続をしたあとに操作します。各機器の電源を切ってから操作してください。

1 本機背面のデコーダーオンラインスイッチを「連動」にする

2 本機の電源を入れ、続けてBSデコーダーの電源を入れる
・本機の電源を入／切すると、BSデコーダーの電源も連動して入／切することを確認してください。

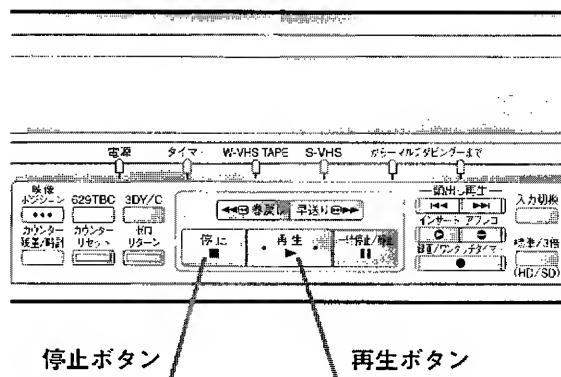
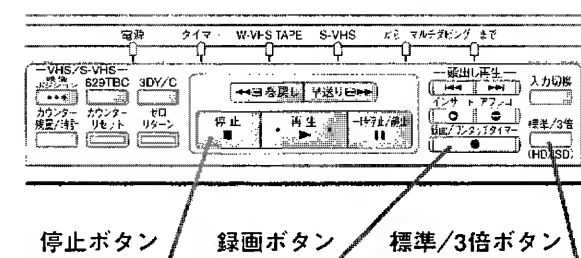
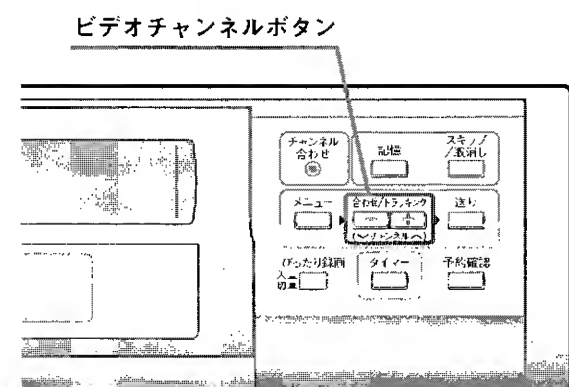
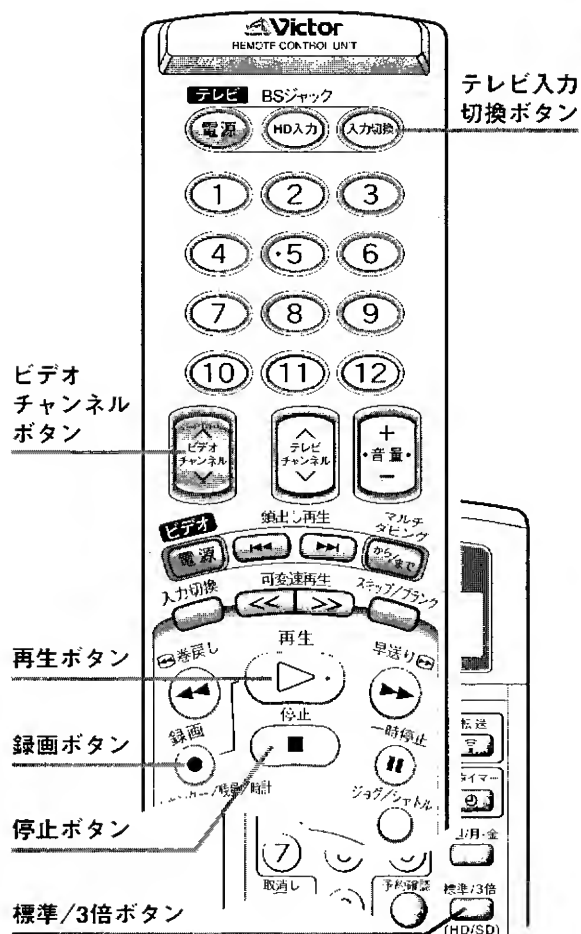
テレビのメーカー設定の確認

■工場出荷時、テレビのメーカー設定は「ビクター製テレビ」に設定されています。ビクター製ハイビジョンテレビをお持ちの場合は、メーカー設定は不要です。
（確認方法は、34 ページの「テレビのメーカー設定をする」をご覧ください。）

■ビデオのリモコンで、テレビの電源入／切、チャンネル切換、音量調節、入力切換、BSジャック切換ができます。（TVマルチブランド対応）
工場出荷時、リモコンのTVマルチブランド設定も「ビクター」に設定されていますので、設定不要です。

再生のしかた

1 テープを入れる
・自動的にビデオの電源が入ります。
・つめなし（録画不可状態）のテープを入れると、自動的に再生を始めます。

2 再生ボタンを押す
・テレビ側は、自動的に次のような動作になります。
（AVコンピュリンクⅡ機能）
①電源が入ります。
②「ビデオ1」入力画面に切り換わり、再生画像が映ります。
・テレビの電源（赤）ランプが消えているときは動作しません。

3 再生をやめるときは、停止ボタンを押す

WOWOW（BS5チャンネル）を録画する

■通常の番組を録画する場合も同様です。

1 つめあり（録画可能状態）のテープを入れる
- 自動的にビデオの電源が入ります。
- SD録画したいときは、W-VHSテープを入れてください。

2 ビデオチャンネルボタンを押し、「BS5」を選ぶ
- テレビに映したいときは、ビデオのリモコンのテレビ入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」画面にしてください。
- スクランブル放送受信時は、次のような表示になります。

テレビ画面

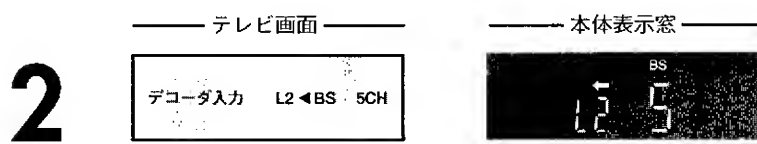
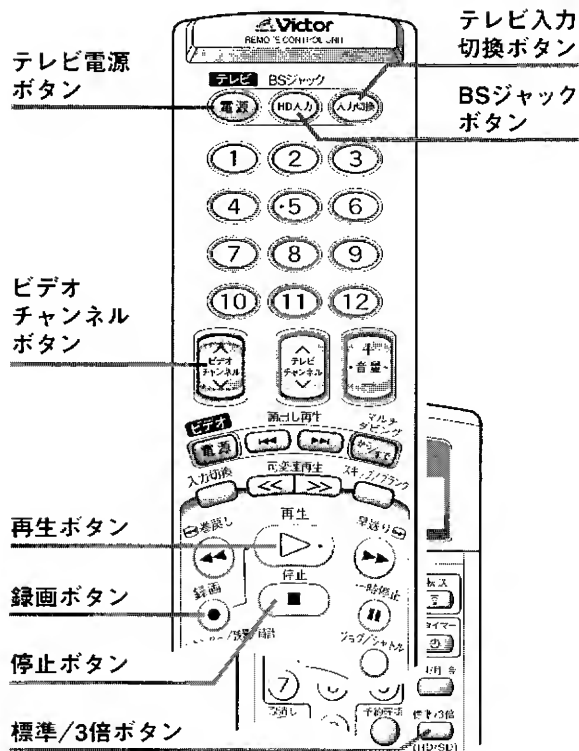
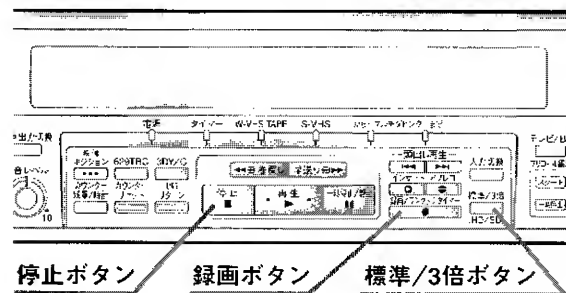
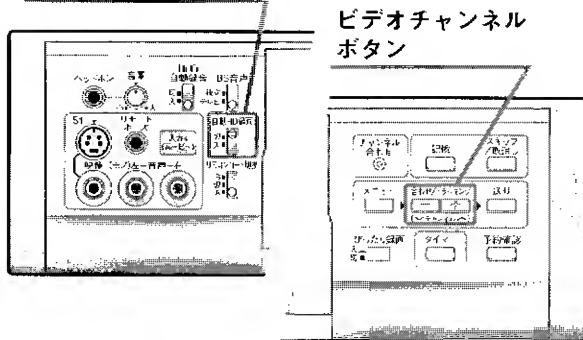
本体表示窓

BS
L2 5

3 標準／3倍ボタンを押し、録画スピードを選ぶ
- W-VHSテープ使用時は、自動的にSDモードになります。
- HDモードでは録画できません。

4 録画ボタンを押し、録画を始める
- リモコンで操作する場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

5 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

メモ
●BSチャンネルについて
1995年9月現在でBS5,7,9,11チャンネルが放送されています。
BS 5＝WOWOW　　BS 7＝NHK衛星第1
BS 9＝ハイビジョン放送　　BS11＝NHK衛星第2

●録画終了後は、テレビ側でBS9チャンネルが見られるように、ビデオのリモコンのBSジャックボタンを押し、「MUSEデコーダー TV、BS裏録 切」にしてください。

●ビデオでBS9チャンネルを録画中は、テレビの主電源を切らないでください。テレビを見ないときは、リモコンでテレビの電源を切ってください。

BS9チャンネルを録画する

【テレビ側の操作】

1 ビデオのリモコンのテレビ電源ボタンを押し、テレビの電源を入れる

2 ビデオのリモコンのBSジャックボタンを押し、テレビ画面に「MUSEデコーダー VTR、BS裏録 切」を表示させる
- テレビのBSジャックランプが点灯します。
- テレビ内蔵のMUSEデコーダーとMUSE-NTSCコンバーターを、ビデオデッキ専用として使用できます。
- BSジャック機能については、テレビの取扱説明書もご覧ください。

【ビデオ側の操作】

3 つめあり（録画可能状態）のテープを入れる
- 自動的にビデオの電源が入ります。
- HD/SD録画したいときは、W-VHSテープを入れてください。

4 ビデオチャンネルボタンを押し、「BS9」を選ぶ
- テレビに映したいときは、ビデオのリモコンのテレビ入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」画面にしてください。

テレビ画面：HD入力画面には、オンスクリーン表示は出ません。

本体表示窓：BS HD 9

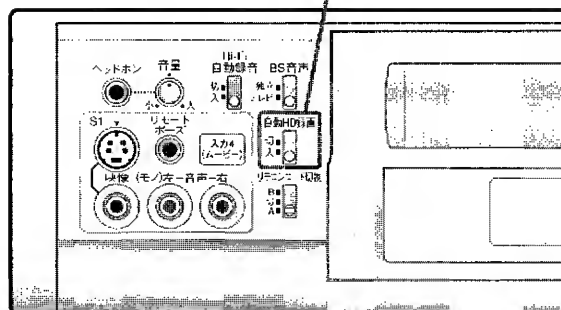
5 標準／3倍ボタンを押し、録画スピードを選ぶ
- W-VHSテープ使用時は、自動的にHDモードになります。
- SD録画したいときは、下の欄をご覧ください。

6 録画ボタンを押し、録画を始める
- リモコンで操作する場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

7 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

BS9チャンネルをSD録画したいときは

①5の操作をする前に、本体左側の自動HD録画スイッチを「切」にします。
②標準／3倍ボタンを押し「SD」にします。

テレビ画面：SD

本体表示窓：

自動HD録画スイッチ

ウラ番組録画のしかた

■録画中に、テレビ側で見たいチャンネルを選んでください。

ビデオで録画中のチャンネル ＼ テレビ側で見たいチャンネル	地上波放送	BS5, 7, 11	BS9
地上波放送	○	○	○
BS5, 7, 11	○	○	○
BS9	○	○	＼

(○：ウラ番組録画可能)

BS9チャンネルのタイマー予約をする

■AVコンピュリンクⅡ機能により、テレビ側の設定をすることなく、BS9チャンネルのタイマー予約ができます。
■BS9チャンネル以外の番組をタイマー予約するときは、88 ～ 91ページのタイマー予約の操作方法と同じです。

1 つめあり（録画可能状態）のテープを入れる
・HD/SD録画したいときは、W-VHSテープを入れてください。

2 タイマー予約する（90ページ参照）
・録画チャンネルは「BS9」にします。
・W-VHSテープ使用時、録画スピードは次のようにしてください。
HD録画する場合：自動的に「HDモード」になるため、標準／3倍（HD/SD）の設定は不要です。
SD録画する場合：①タイマー予約する前に、本体左側の自動HD録画スイッチを「切」にします。
②録画スピードは「3倍（SD）」にします。

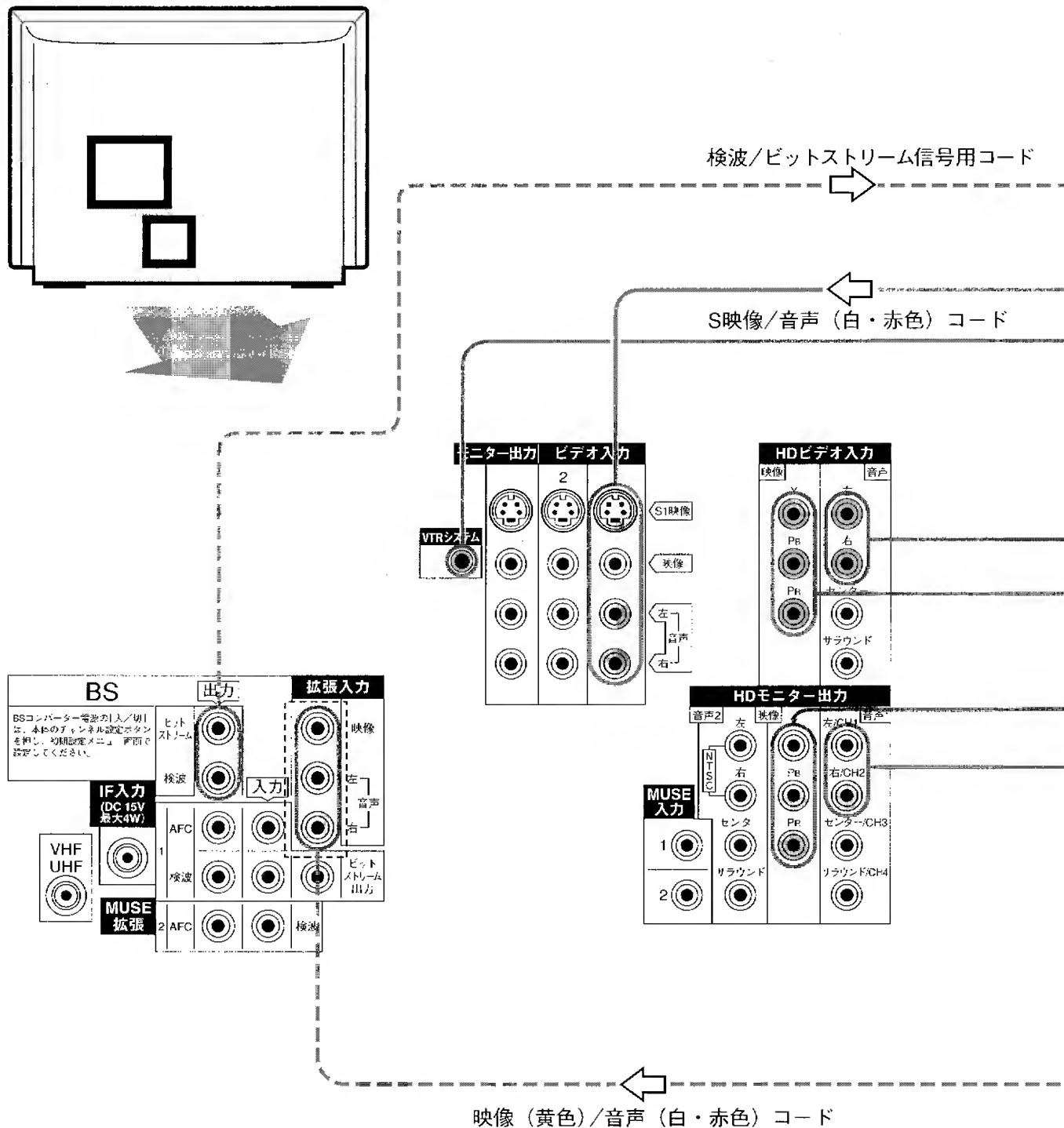
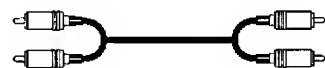
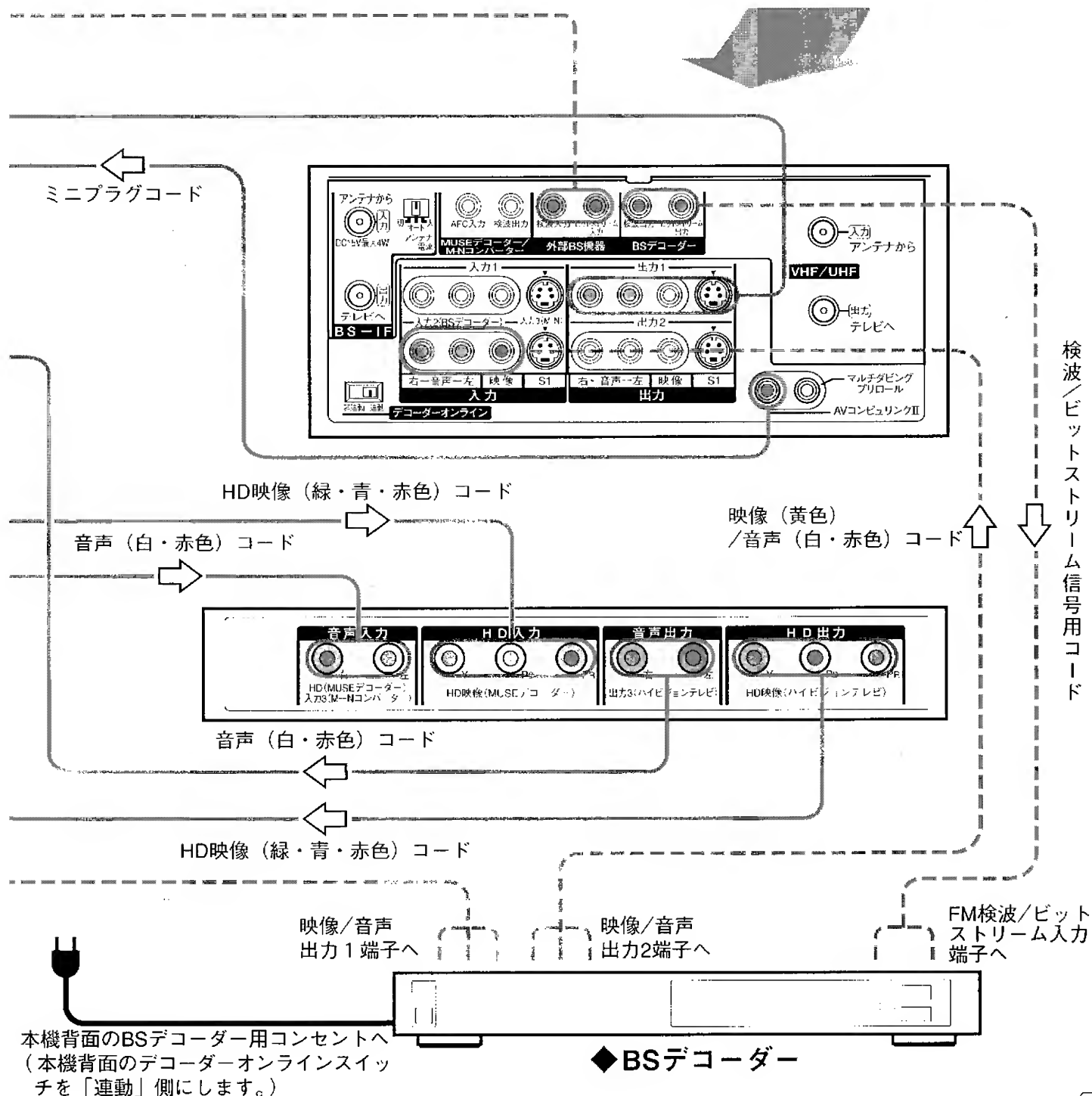
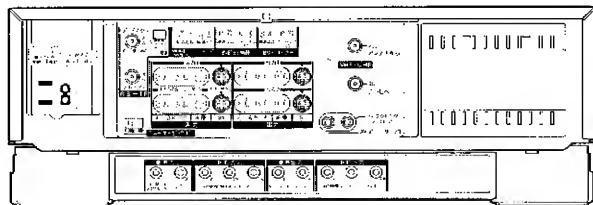
●テレビの電源（赤）ランプが点灯していないとタイマー録画できません。点灯していないときは、テレビ本体の電源ボタンを押して、点灯させてください。

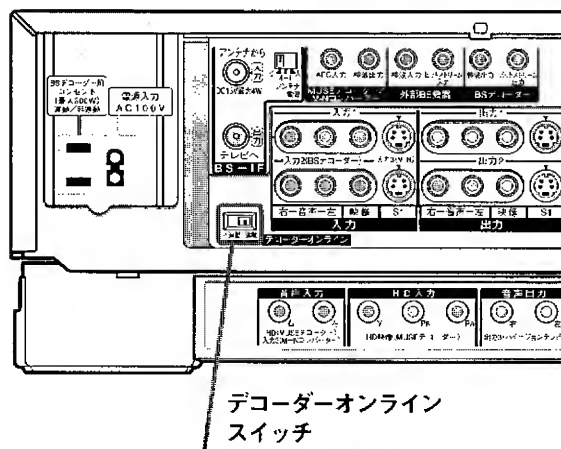
松下製ハイビジョンテレビとの接続

接続例の機種名：TH-36HV30

アンテナ接続(BS含む)は、アンテナ→ビデオ→テレビのように接続します。(20 ～22 ページ参照)
接続後、34 ～37 ページの「再生・録画・タイマー予約のしかた」をお読みください。
BSデコーダーを接続しないときは、------ 部分の接続は不要です。

◆松下製ハイビジョンテレビ背面

（MUSE デコーダー内蔵）

HR-W5←→松下製テレビ←→BSデコーダーとの接続

再生・録画・タイマー予約のしかた（松下編）

TH-32HV40/28HV40, TH-36HV30, TH-32HV20/28HV20のテレビと接続した場合の操作説明をしています。

BSデコーダーの電源設定

■前ページの接続をしたあとに操作します。各機器の電源を切ってから操作してください。

1 本機背面のデコーダーオンラインスイッチを「連動」にする

2 本機の電源を入れ、続けてBSデコーダーの電源を入れる
・本機の電源を入／切すると、BSデコーダーの電源も連動して入／切することを確認してください。

テレビのメーカー設定をする

■本機には、再生・録画・タイマー予約時に、テレビ側の操作を簡略化するためのAVコンピュリンクⅡ機能が搭載されています。VTRシステム端子がある松下製テレビをお持ちの場合は、テレビのメーカー設定をしてください。工場出荷時は、「ビクター製テレビ」に設定されています。

1 テレビの電源を入れ、「ビデオ1」入力画面にする

2 メニューボタンを押し、メニュー画面を表示させる

3 合わせー／＋ボタンを押し、「映像入力／テレビメーカー設定」に ☞ を合わせる

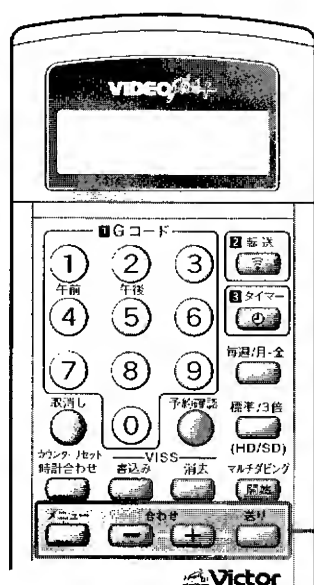
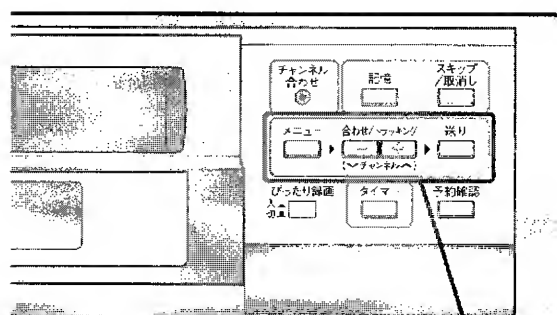
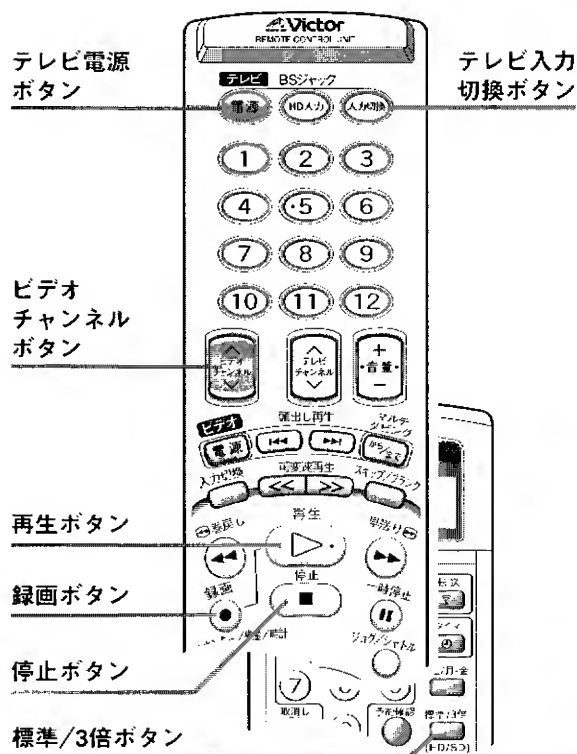
4 送りボタンを押し、映像入力／テレビメーカー設定画面を表示させる

5 送りボタンを押し、「テレビメーカー」に ☞ を合わせる

6 合わせー／＋ボタンを押し、「1」にする
・合わせー／＋ボタンを押すと、1（松下）と3（ビクター）が交互に切り換わります。

7 メニューボタンを押す（設定完了）

■ビデオのリモコンで、テレビの電源入／切、チャンネル切換、音量調節、入力切換ができます。（TVマルチブランド対応）
77 ページをご覧いただき、リモコンのTVマルチブランド設定もしてください。

●BSチャンネルについて
1995年9月現在でBS5,7,9,11チャンネルが放送されています。
BS 5＝WOWOW　BS 7＝NHK衛星第1
BS 9＝ハイビジョン放送　BS11＝NHK衛星第2

再生のしかた

1 ビデオのリモコンのテレビ電源ボタンを押し、テレビの電源を入れる

2 テープを入れる
・自動的にビデオの電源が入ります。
・つめなし（録画不可状態）のテープを入れると、自動的に再生を始めます。

3 再生ボタンを押す
・テレビ側は、自動的にビデオ入力画面に切り換わり、再生画像が映ります。(AVコンピュリンクⅡ機能)
HD録画したテープを再生した場合：
「HDビデオ」画面になります。
SD/S-VHS/VHS録画したテープを再生した場合：
「ビデオ1」画面になります。

4 再生をやめるときは、停止ボタンを押す

WOWOW（BS5チャンネル）を録画する

■通常の番組を録画する場合も同様です。

1 つめあり（録画可能状態）のテープを入れる
・自動的にビデオの電源が入ります。
・SD録画したいときは、W-VHSテープを入れてください。

2 ビデオチャンネルボタンを押し、「BS5」を選ぶ
・テレビに映したいときは、ビデオのリモコンのテレビ入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」画面にしてください。
・スクランブル放送受信時は、次のような表示になります。

テレビ画面

デコーダ入力　L2◀BS　5CH

本体表示窓

3 標準／3倍ボタンを押し、録画スピードを選ぶ
・W-VHSテープ使用時は、自動的にSDモードになります。
・HDモードでは録画できません。

4 録画ボタンを押し、録画を始める
・リモコンで操作する場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

5 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

再生・録画・タイマー予約のしかた（松下編）

BS9チャンネルを録画する

■テレビにM-Nコンバーターが内蔵されていないため、SD/S-VHS/VHS録画はできません。

【テレビ側の操作】

1 ビデオのリモコンのテレビ電源ボタンを押し、テレビの電源を入れる

2 ビデオのリモコンのテレビチャンネルボタンを押し、「BS9チャンネル」を選ぶ

【ビデオ側の操作】

3 つめの部分がREC側になっているW-VHSテープを入れる
- 自動的にビデオの電源が入ります。

4 ビデオチャンネルボタンを押し、「BS9」を選ぶ

5 録画ボタンを押し、録画を始める
- リモコンで操作する場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。
- 録画が始まるまでに約10秒かかります。

6 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

TH-32HV40, TH-28HV40のテレビと接続している場合に、ビデオでBS9チャンネルを録画中は、テレビのチャンネルを切り換えたり、電源を入／切しないでください。BS9チャンネルの録画ができなくなります。

ウラ番組録画のしかた

■録画中に、テレビ側で見たいチャンネルを選んでください。

テレビ側で見たいチャンネル / ビデオで録画中のチャンネル	地上波放送	BS5, 7, 11	BS9
地上波放送	○	○	○
BS5, 7, 11	○	○	○
BS9	○※	×	

（○：ウラ番組録画可能　×：ウラ番組録画不可）

※TH-32HV40, TH-28HV40ではできません。
テレビのチャンネルを切り換えると、BS9チャンネルの録画ができなくなります。

BS9チャンネルのタイマー予約をする

■テレビにM-Nコンバーターが内蔵されていないため、SD/S-VHS/VHS録画はできません。
■AVコンピュリンクⅡ機能により、テレビ側の設定をすることなく、BS9チャンネルのタイマー予約ができます。
■BS9チャンネル以外の番組をタイマー予約するときは、88 ～ 91 ページのタイマー予約の操作方法と同じです。

1 つめの部分がREC側になっているW-VHSテープを入れる

2 タイマー予約する（90 ページ参照）
・録画チャンネルは「BS9」にします。
・録画スピードは、自動的に「HDモード」になるため、標準／3倍（HD/SD）の設定は不要です。

●テレビの電源（赤）ランプが点灯していないとタイマー録画できません。点灯していないときは、テレビ本体の電源ボタンを押して、点灯させてください。

ソニー製ハイビジョンテレビとの接続 ①

接続例の機種名：KW-3200HD

アンテナ接続(BS含む)は、アンテナ→ビデオ→テレビのように接続します。(20～22ページ参照)
接続後、40～43ページの「再生・録画・タイマー予約のしかた」をお読みください。
BSデコーダーを接続しないときは、----- 部分の接続は不要です。

◆ソニー製ハイビジョンテレビ背面

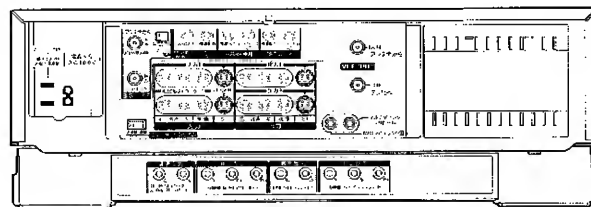
（MUSE デコーダー、MUSE-NTSCコンバーター内蔵）

- 上記の接続例は、BS5チャンネルの録画やタイマー録画の操作性を優先した接続です。そのため、テレビにMUSE-NTSCコンバーターが内蔵されていますが、BS9チャンネルのSD/S-VHS/VHS録画はできません。
- 再生時、しま模様や色むらが出ることがありますので、本機とテレビを離してください。本機をラックなどに設置する場合は、下段に設置してください。

HR-W5←→ソニー製テレビ←→BSデコーダーとの接続

付属品以外に必要なコード類

BSアンテナコード×1　映像コード×1　音声コード×2

◆HR-W5背面

S映像/音声（白・赤色）コード

アンテナから　入力　DC15V最大4W　AFC入力　検波出力　MUSEデコーダー/M-Nコンバーター　外部BS機器　BSデコーダー　入力　アンテナから　VHF/UHF　テレビへ　出力　BS-IF　入力1　出力1　入力2(BSデコーダー)　出力2　出力　テレビへ　右ー音声ー左　映像　S1　入力　出力　デコーダーオンライン　マルチダビング　プリロール　AVコンピュリンクII

音声入力　HD入力　音声出力　HD出力　HD(MUSEデコーダー)入力3(M-Nコンバーター)　HD映像(MUSEデコーダー)　出力3(ハイビジョンテレビ)　HD映像(ハイビジョンテレビ)

HD映像（緑・青・赤色）コード

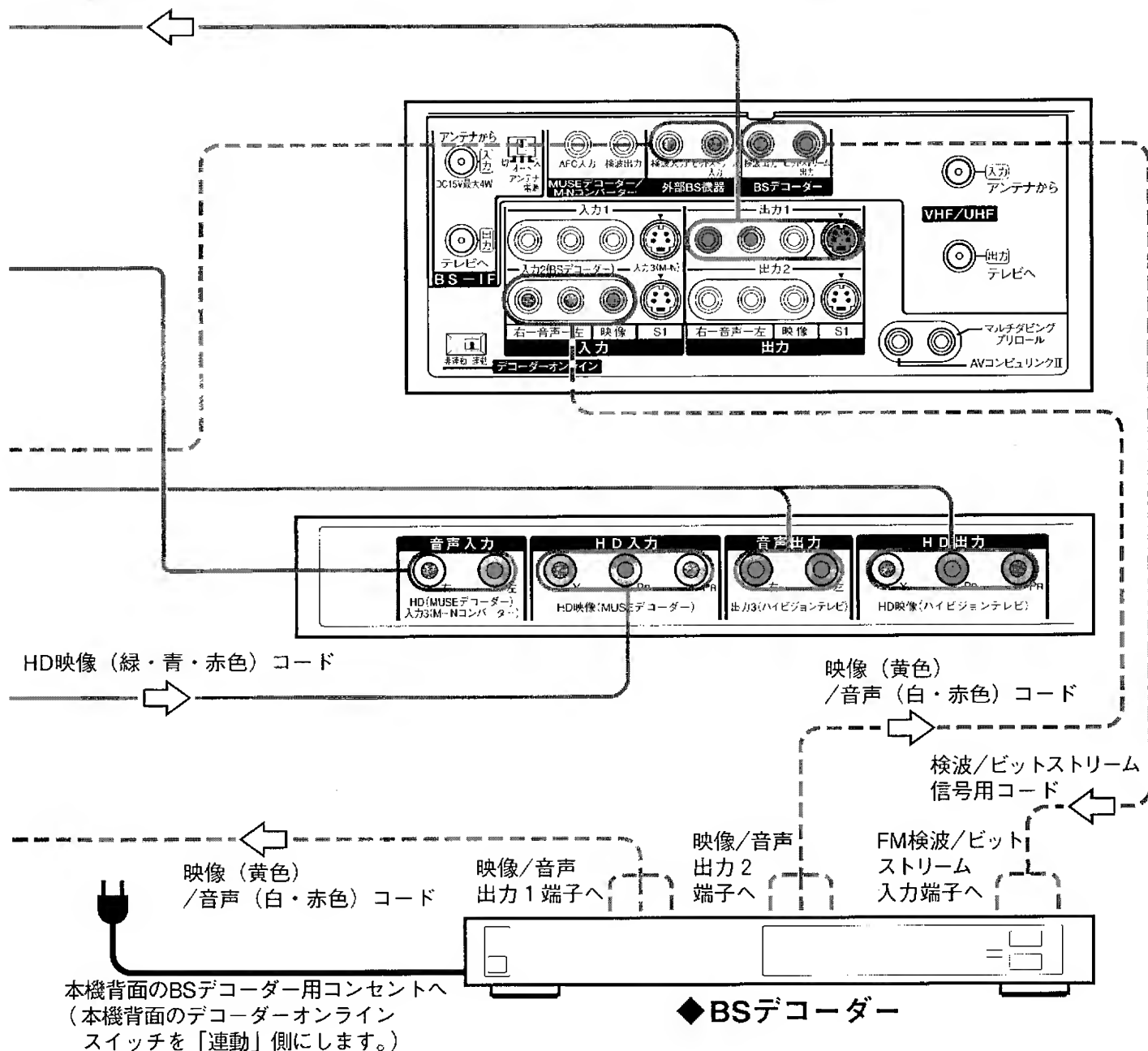
映像（黄色）
/音声（白・赤色）コード

検波/ビットストリーム
信号用コード

映像（黄色）
/音声（白・赤色）コード

映像/音声
出力1端子へ

映像/音声
出力2
端子へ

FM検波/ビット
ストリーム
入力端子へ

本機背面のBSデコーダー用コンセントへ
（本機背面のデコーダーオンライン
スイッチを「連動」側にします。）

◆BSデコーダー

再生・録画・タイマー予約のしかた（ソニー編①）

BSデコーダーの電源設定

■前ページの接続をしたあとに操作します。各機器の電源を切ってから操作してください。

1 本機背面のデコーダーオンラインスイッチを「連動」にする

2 本機の電源を入れ、続けてBSデコーダーの電源を入れる
・本機の電源を入／切すると、BSデコーダーの電源も連動して入／切することを確認してください。

TVマルチブランド設定について

■ビデオのリモコンで、テレビの電源入／切、チャンネル切換、音量調節、入力切換、HD入力切換ができます。(TVマルチブランド対応)
77ページをご覧いただき、リモコンのTVマルチブランド設定をしてください。

再生のしかた

1 テレビの電源を入れ、ビデオ入力画面にする
・HD録画したテープを再生する場合：
ビデオのリモコンのHD入力ボタンを押し「HD1」画面にします。
・SD/S-VHS/VHS録画したテープを再生する場合：
ビデオのリモコンのテレビ入力切換ボタンを押し「ビデオ1」画面にします。

2 テープを入れる
・自動的にビデオの電源が入ります。
・つめなし（録画不可状態）のテープを入れると、自動的に再生を始めます。

3 再生ボタンを押す
・テレビに再生画像が映ります。

4 再生をやめるときは、停止ボタンを押す

BS9チャンネルを録画する

■テレビにM-Nコンバーターが内蔵されていますが、38～39ページの接続では、BS9チャンネルのSD/S-VHS/VHS録画はできません。

【テレビ側の操作】

1 ビデオのリモコンのテレビ電源ボタンを押し、テレビの電源を入れる

2 ビデオのリモコンのテレビチャンネルボタンを押し、「BS9チャンネル」を選ぶ

3 テレビのリモコンのCH固定ボタンを押す
- テレビ画面に「BSチャンネル固定」を表示します。
- テレビの取扱説明書もご覧ください。

【ビデオ側の操作】

4 つめの部分がREC側になっているW-VHSテープを入れる
- 自動的にビデオの電源が入ります。

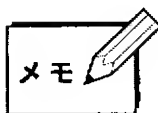
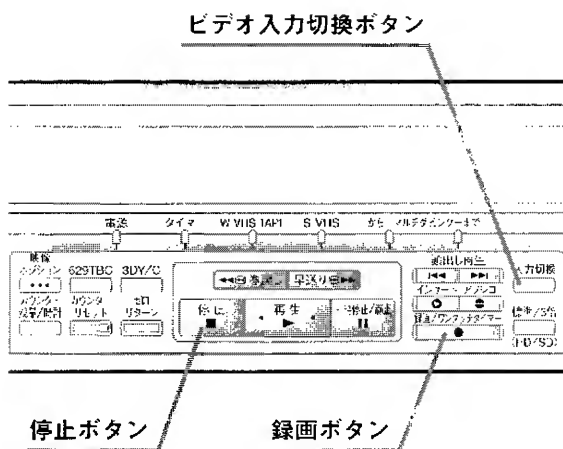
5 ビデオ入力切換ボタンを押し、「Hd」を選ぶ
- ボタンを押すごとに

→ L1 → L2 → L3 → L4 → Hd ─┐（L1に戻る）

- 録画スピードは、自動的にHDモードになります。

6 録画ボタンを押し、録画を始める
- リモコンで操作する場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

7 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

■録画終了後は、テレビのリモコンのCH固定ボタンを押し、チャンネル固定を「切」にしてください。「切」にしないと、BSチャンネルの切り換えができません。

●録画中は、テレビ本体の電源を切らないでください。切るとテレビ内蔵のBSチューナーの電源も切れて、録画できなくなります。
●BSチャンネルについて
1995年9月現在でBS5,7,9,11チャンネルが放送されています。
BS 5＝WOWOW　　BS 7＝NHK衛星第1
BS 9＝ハイビジョン放送　　BS11＝NHK衛星第2

再生・録画・タイマー予約のしかた（ソニー編①）

WOWOW（BS5チャンネル）を録画する

■通常の番組を録画する場合も同様です。

1 つめあり（録画可能状態）のテープを入れる
・自動的にビデオの電源が入ります。
・SD録画したいときは、W-VHSテープを入れてください。

2 ビデオチャンネルボタンを押し、「BS5」を選ぶ
・テレビに映したいときは、ビデオのリモコンのテレビ入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」画面にしてください。
・スクランブル放送受信時は、次のような表示になります。

テレビ画面

デコーダ入力　L2◀BS　5CH

本体表示窓

3 標準／3倍ボタンを押し、録画スピードを選ぶ
・W-VHSテープ使用時は、自動的にSDモードになります。
・HDモードでは録画できません。

4 録画ボタンを押し、録画を始める
・リモコンで操作する場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

5 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

停止ボタン　録画ボタン　標準/3倍ボタン

ウラ番組録画のしかた

■録画中に、テレビ側で見たいチャンネルを選んでください。

ビデオで録画中のチャンネル ＼ テレビ側で見たいチャンネル	地上波放送	BS5, 7, 11	BS9
地上波放送	○	○	○
BS5, 7, 11	○	○	○
BS9	○	×※	

（○：ウラ番組録画可能　×：ウラ番組録画不可）

※ビデオでBS9チャンネルを録画中は、テレビ内蔵のBSチューナーがBS9チャンネルに固定されているため、テレビ側で他のBSチャンネルを見ることはできません。

BS9チャンネルのタイマー予約をする

■テレビにM-Nコンバーターが内蔵されていますが、38～39ページの接続では、BS9チャンネルのSD/S-VHS/VHS録画ができません。

■BS9チャンネル以外の番組をタイマー予約するときは、88～91ページのタイマー予約の操作方法と同じです。

24時間以内に放送される番組を予約するには

【ビデオ側の操作】

1 つめの部分がREC側になっているW-VHSテープを入れる

2 タイマー予約する（90ページ参照）
・録画チャンネルは、ビデオ入力切換ボタンを押して「入力HD」を選びます。

【テレビ側の操作】

・テレビの取扱説明書を準備してください。

3 ビデオのリモコンのテレビチャンネルボタンを押し、「BS9チャンネル」を選ぶ

4 テレビのリモコンのCH固定ボタンを押す
・テレビ画面に「BSチャンネル固定」を表示します。

5 テレビのリモコンの簡単録画ボタンを押す
・テレビが消えて、BSチューナー部だけ働きます。
・BSチューナー部は、24時間後に自動的に電源が切れます。

■タイマー録画終了後は、テレビのリモコンのCH固定ボタンを押し、チャンネル固定を「切」にしてください。「切」にしないと、BSチャンネルの切り換えができません。

24時間以降に放送される番組を予約するには

【ビデオ側の操作】

1 つめの部分がREC側になっているW-VHSテープを入れる

2 タイマー予約する（90ページ参照）
・録画チャンネルは、ビデオ入力切換ボタンを押して「入力HD」を選びます。

【テレビ側の操作】

3 タイマー予約する
・テレビの取扱説明書をご覧ください。
・ビデオのタイマー予約時間よりも、前後3分ぐらい多めに時間を設定してください。

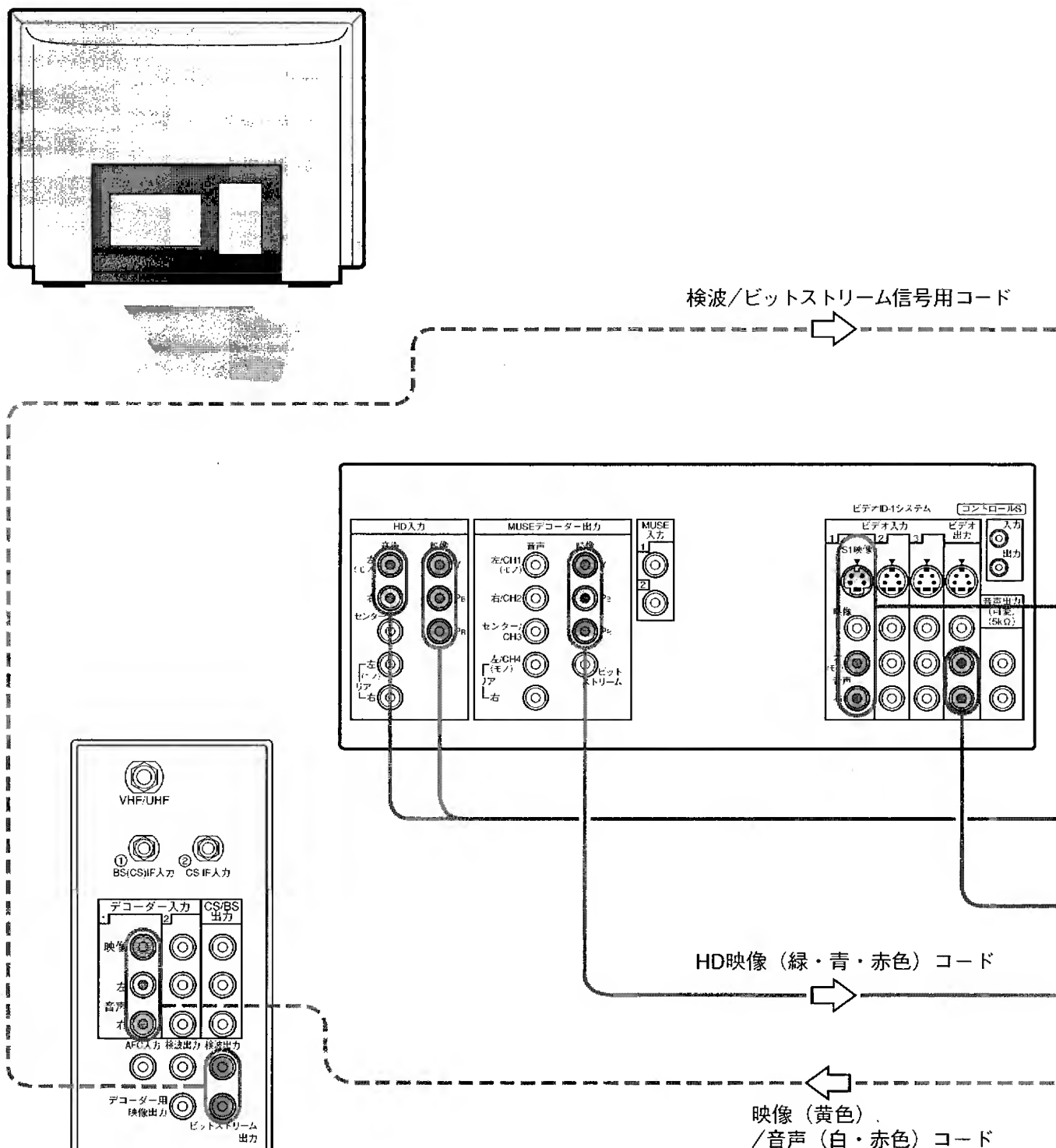
番組表にBS9チャンネルのGコードが掲載され、Gコード予約するときは

① 68ページをご覧いただき、ガイドチャンネルを次のように設定してください。
　チャンネル表示　：入力HD
　ガイドチャンネル：75
②Gコード予約をしてください。（88ページ参照）
・録画スピードは、自動的に「HDモード」になるため、標準／3倍（HD/SD）の設定は不要です。

ソニー製ハイビジョンテレビとの接続②

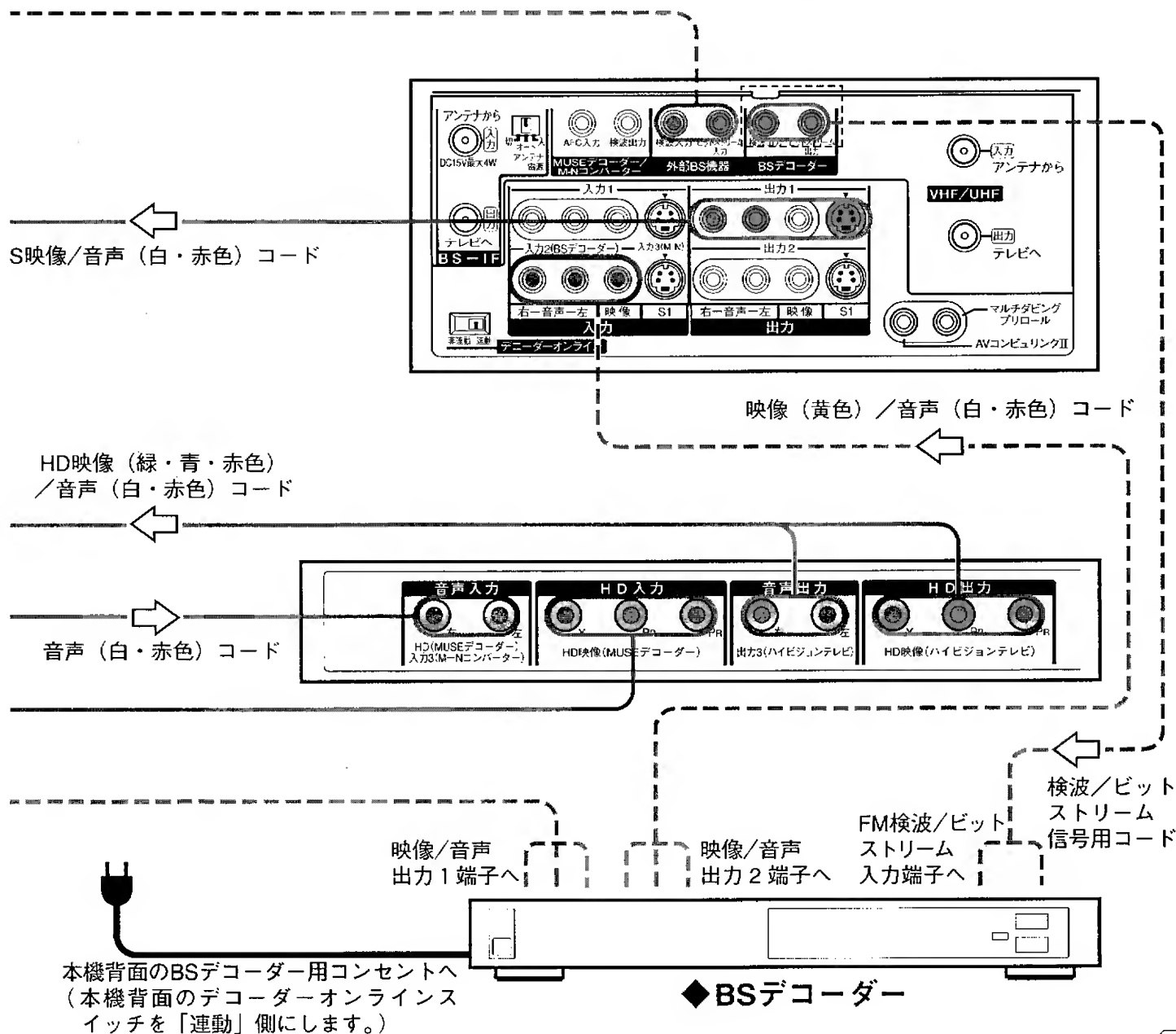
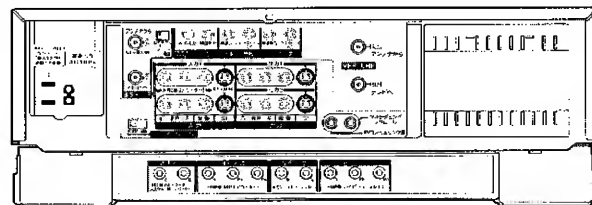
接続例の機種名：KW-2810HD

アンテナ接続（BS含む）は、アンテナ→ビデオ→テレビのように接続します。（20～22ページ参照）
接続後、46～49ページの「再生・録画・タイマー予約のしかた」をお読みください。
BSデコーダーを接続しないときは、------ 部分の接続は不要です。

◆ソニー製ハイビジョンテレビ背面

（MUSE デコーダー内蔵）

メモ

- 再生時、しま模様や色むらが出ることがありますので、本機とテレビを離してください。本機をラックなどに設置する場合は、下段に設置してください。
- テレビ背面のMUSEデコーダー出力の音声端子に接続すると、3-1方式のセンター声が録音されないため、ナレーションなどが聞こえなくなります。

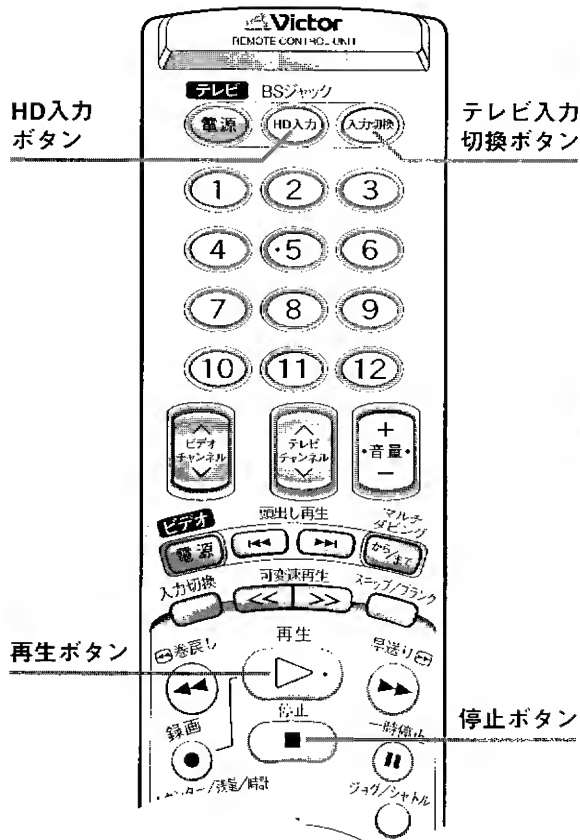
HR-W5←→ソニー製テレビ←→BSデコーダーとの接続

BSデコーダーの電源設定

■前ページの接続をしたあとに操作します。各機器の電源を切ってから操作してください。

1 本機背面のデコーダーオンラインスイッチを「連動」にする

2 本機の電源を入れ、続けてBSデコーダーの電源を入れる
・本機の電源を入／切すると、BSデコーダーの電源も連動して入／切することを確認してください。

TVマルチブランド設定について

■ビデオのリモコンで、テレビの電源入／切、チャンネル切換、音量調節、入力切換、HD入力切換ができます。(TVマルチブランド対応)
77 ページをご覧いただき、リモコンのTVマルチブランド設定をしてください。

再生のしかた

1 テレビの電源を入れ、ビデオ入力画面にする
・HD録画したテープを再生する場合：
ビデオのリモコンのHD入力ボタンを押し「HD」画面にします。
・SD/S-VHS/VHS録画したテープを再生する場合：
ビデオのリモコンのテレビ入力切換ボタンを押し「ビデオ1」画面にします。

2 テープを入れる
・自動的にビデオの電源が入ります。
・つめなし（録画不可状態）のテープを入れると、自動的に再生を始めます。

3 再生ボタンを押す
・テレビに再生画像が映ります。

4 再生をやめるときは、停止ボタンを押す

WOWOW（BS5チャンネル）を録画する

■通常の番組を録画する場合も同様です。

1 つめあり（録画可能状態）のテープを入れる
・自動的にビデオの電源が入ります。
・SD録画したいときは、W-VHSテープを入れてください。

2 ビデオチャンネルボタンを押し、「BS5」を選ぶ
・テレビに映したいときは、ビデオのリモコンのテレビ入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」画面にしてください。
・スクランブル放送受信時は、次のような表示になります。

テレビ画面　　本体表示窓

3 標準／3倍ボタンを押し、録画スピードを選ぶ
・W-VHSテープ使用時は、自動的にSDモードになります。
・HDモードでは録画できません。

4 録画ボタンを押し、録画を始める
・リモコンで操作する場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

5 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

メモ
●BSチャンネルについて
1995年9月現在でBS5,7,9,11チャンネルが放送されています。
BS 5＝WOWOW　BS 7＝NHK衛星第1
BS 9＝ハイビジョン放送　BS11＝NHK衛星第2

再生・録画・タイマー予約のしかた(ソニー編②)

BS9チャンネルを録画する

■テレビにM-Nコンバーターが内蔵されていないため、SD/S-VHS/VHS録画はできません。

【テレビ側の操作】

1 ビデオのリモコンのテレビ電源ボタンを押し、テレビの電源を入れる

2 ビデオのリモコンのテレビチャンネルボタンを押し、「BS9チャンネル」を選ぶ

3 テレビのリモコンのCH固定ボタンを押す
- テレビ画面に「CS/BSチャンネル固定　入」を表示します。
- テレビの取扱説明書もご覧ください。

【ビデオ側の操作】

4 つめの部分がREC側になっているW-VHSテープを入れる
- 自動的にビデオの電源が入ります。

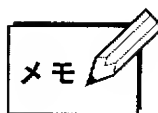
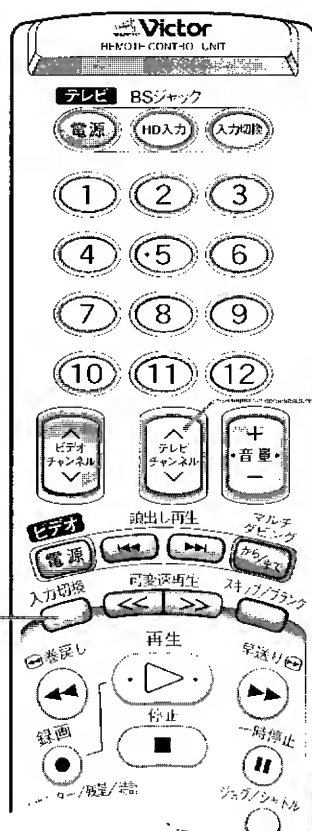
5 ビデオ入力切換ボタンを押し、「Hd」を選ぶ
- ボタンを押すごとに

L1 → L2 → L3 → L4 → Hd

- 録画スピードは自動的にHDモードになります。

6 録画ボタンを押し、録画を始める
- リモコンで操作する場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

7 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

■録画終了後は、テレビのリモコンのCH固定ボタンを押し、「CS/BSチャンネル固定　切」にしてください。「切」にしないと、BSチャンネルの切り換えができません。

●録画中にテレビのチャンネルを切り換えたり、テレビの電源を切ると、録画できなくなりますのでご注意ください。

ビデオ入力切換ボタン

ウラ番組録画のしかた

■録画中に、テレビ側で見たいチャンネルを選んでください。

ビデオで録画中のチャンネル ＼ テレビ側で見たいチャンネル	地上波放送	BS5, 7, 11	BS9
地上波放送	○	○	○
BS5, 7, 11	○	○	○
BS9	×※	×※	

（○：ウラ番組録画可能　×：ウラ番組録画不可）

※ビデオでBS9チャンネルを録画中は、テレビのチャンネルを切り換えないでください。切り換えると、録画できなくなります。

BS9チャンネルのタイマー予約をする

■テレビにM-Nコンバーターが内蔵されていないため、SD/S-VHS/VHS録画はできません。

■BS9チャンネル以外の番組をタイマー予約するときは、88～91ページのタイマー予約の操作方法と同じです。

【ビデオ側の操作】

1 つめの部分がREC側になっているW-VHSテープを入れる

2 タイマー予約する（90ページ参照）
・録画チャンネルは、ビデオ入力切換ボタンを押して「入力HD」を選びます。

【テレビ側の操作】

3 ビデオのリモコンのテレビチャンネルボタンを押し、「BS9チャンネル」を選ぶ

4 テレビのリモコンのCH固定ボタンを押す
・テレビ画面に「CS/BSチャンネル固定　入」を表示します。
・テレビの取扱説明書もご覧ください。

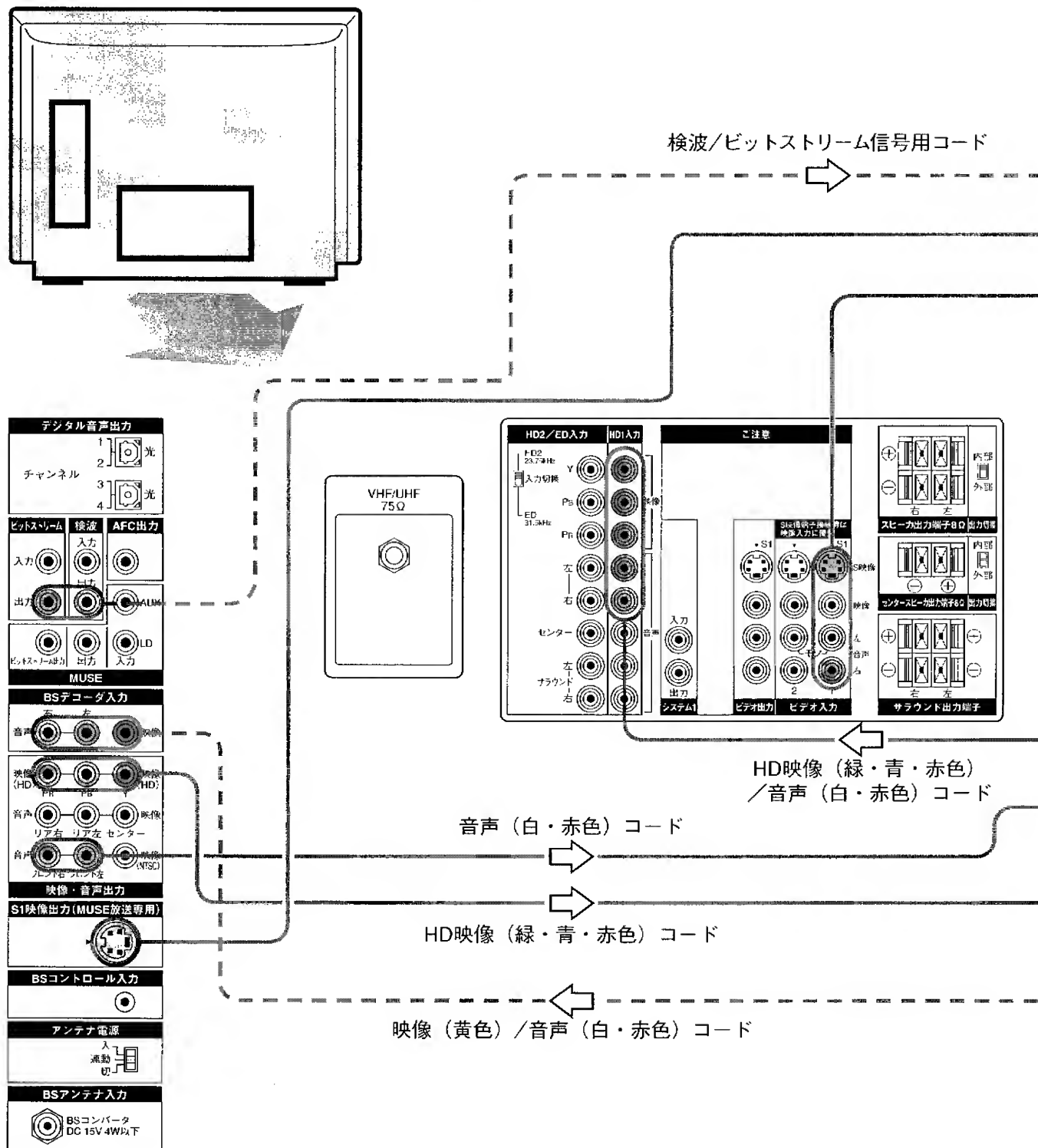
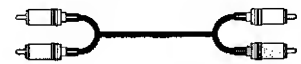
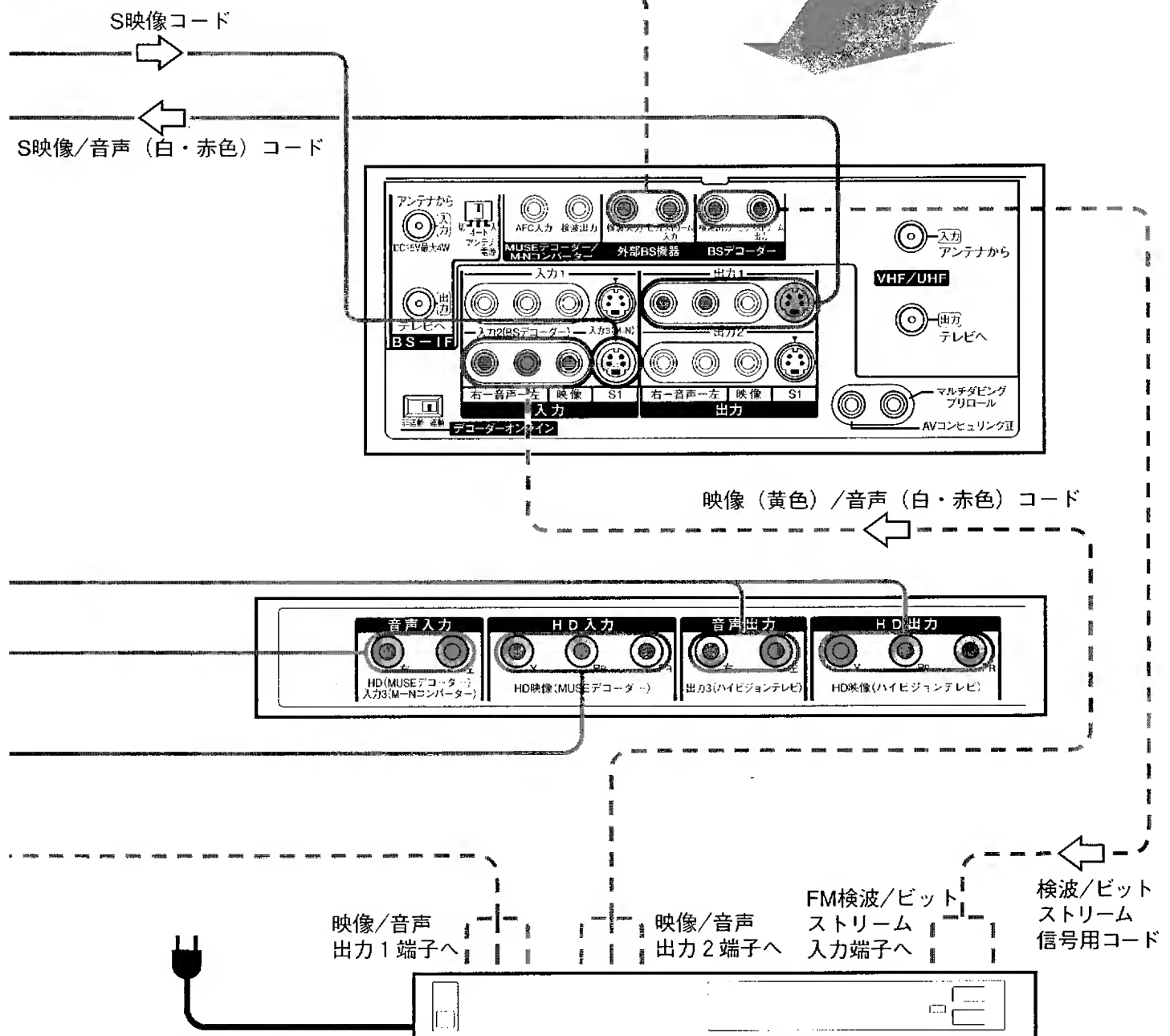
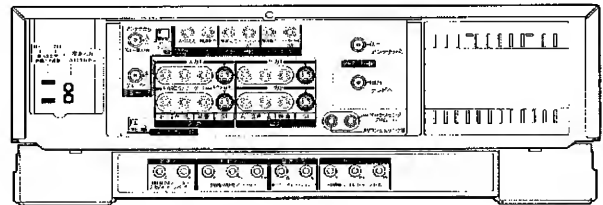
■タイマー録画終了後は、テレビのリモコンのCH固定ボタンを押し、「CS/BSチャンネル固定　切」にしてください。「切」にしないと、BSチャンネルの切り換えができません。

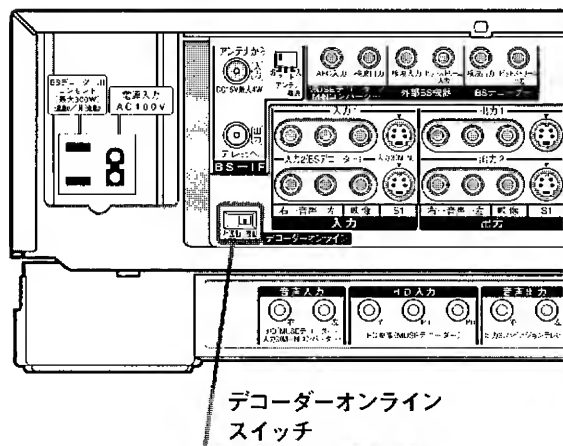
番組表にBS9チャンネルのGコードが掲載され、Gコード予約するときは

(1) 68ページをご覧いただき、ガイドチャンネルを次のように設定してください。
　チャンネル表示　：入力HD
　ガイドチャンネル：75
(2)Gコード予約をしてください。（88ページ参照）
・録画スピードは、自動的に「HDモード」になるため、標準／3倍（HD/SD）の設定は不要です。

他社製ハイビジョンテレビとの接続

接続例の機種名：36D-HD2（三菱製ハイビジョンテレビ）
アンテナ接続（BS含む）は、アンテナ→ビデオ→テレビのように接続します。（20 ～ 22 ページ参照）
接続後、52 ～ 55 ページの「再生・録画・タイマー予約のしかた」をお読みください。
BSデコーダーを接続しないときは、------部分の接続は不要です。

◆三菱製ハイビジョンテレビ背面
（MUSE デコーダー、MUSE-NTSCコンバーター内蔵）

HR-W5←→他社製テレビ←→BSデコーダーとの接続

再生・録画・タイマー予約のしかた(他社編)

例として、三菱製ハイビジョンテレビ36D-HD2と接続した場合の操作説明をしています。

BSデコーダーの電源設定

■前ページの接続をしたあとに操作します。各機器の電源を切ってから操作してください。

1 本機背面のデコーダーオンラインスイッチを「連動」にする

2 本機の電源を入れ、続けてBSデコーダーの電源を入れる
- 本機の電源を入/切すると、BSデコーダーの電源も連動して入/切することを確認してください。

TVマルチブランド設定について

■ビデオのリモコンで、テレビの電源入/切、チャンネル切換、音量調節、入力切換、HD入力切換ができます。(TVマルチブランド対応)
77 ページをご覧いただき、リモコンのTVマルチブランド設定をしてください。
テレビによっては操作できないものがありますので、このようなときは、テレビのリモコンを使って操作してください。

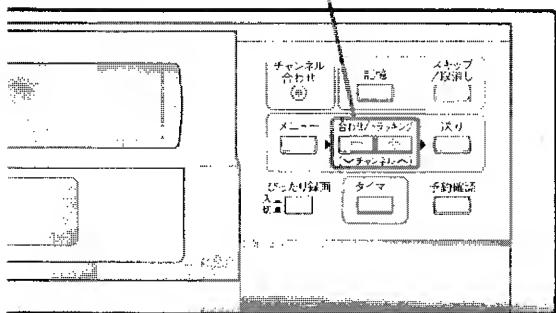
再生のしかた

1 テレビの電源を入れ、ビデオ入力画面にする
- HD録画したテープを再生する場合：
  ビデオのリモコンのHD入力ボタンを押し「HD1」画面にします。
- SD/S-VHS/VHS録画したテープを再生する場合：
  ビデオのリモコンのテレビ入力切換ボタンを押し「ビデオ1」画面にします。

2 テープを入れる
- 自動的にビデオの電源が入ります。
- つめなし（録画不可状態）のテープを入れると、自動的に再生を始めます。

3 再生ボタンを押す
- テレビに再生画像が映ります。

4 再生をやめるときは、停止ボタンを押す

ビデオチャンネルボタン

WOWOW（BS5チャンネル）を録画する

■通常の番組を録画する場合も同様です。

1 つめあり（録画可能状態）のテープを入れる
- 自動的にビデオの電源が入ります。
- SD録画したいときは、W-VHSテープを入れてください。

2 ビデオチャンネルボタンを押し、「BS5」を選ぶ
- テレビに映したいときは、ビデオのリモコンのテレビ入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」画面にしてください。
- スクランブル放送受信時は、次のような表示になります。

テレビ画面

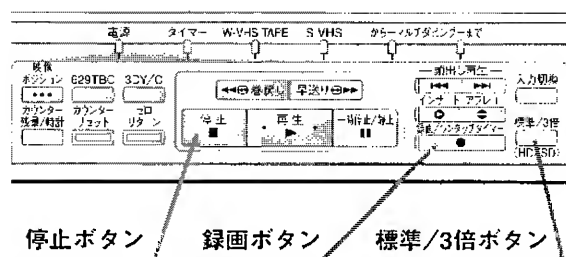
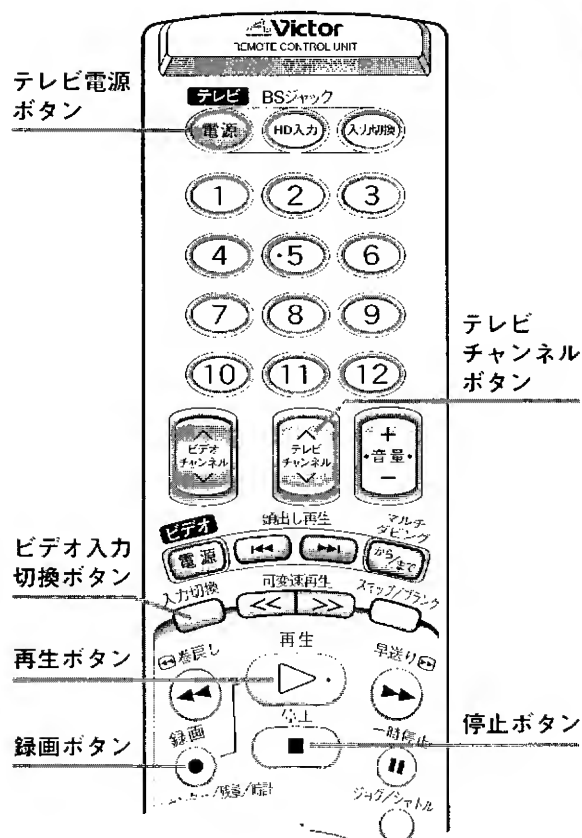
デコーダ入力　L2 ◀ BS　5CH

本体表示窓

3 標準／3倍ボタンを押し、録画スピードを選ぶ
- W-VHSテープ使用時は、自動的にSDモードになります。
- HDモードでは録画できません。

4 録画ボタンを押し、録画を始める
- リモコンで操作する場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

5 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

●BSチャンネルについて
1995年9月現在でBS5,7,9,11チャンネルが放送されています。
BS 5=WOWOW　　BS 7=NHK衛星第1
BS 9=ハイビジョン放送　　BS11=NHK衛星第2

再生・録画・タイマー予約のしかた(他社編)

BS9チャンネルを録画する

【テレビ側の操作】

1 ビデオのリモコンのテレビ電源ボタンを押し、テレビの電源を入れる

2 ビデオのリモコンのテレビチャンネルボタンを押し、「BS9チャンネル」を選ぶ

3 テレビのリモコンのロックボタンを押す
- テレビ内蔵のBSチューナーは、BS9チャンネルに固定されます。
- テレビの取扱説明書もご覧ください。

【ビデオ側の操作】

4 つめあり(録画可能状態)のテープを入れる
- 自動的にビデオの電源が入ります。
- HD/SD録画したいときは、W-VHSテープを入れてください。

5 ビデオ入力切換ボタンを押し、「Hd」または「L3」を選ぶ
- HD録画する場合　　　　　　：「Hd」を選びます。
  SD/S-VHS/VHS録画する場合：「L3」を選びます。
- ビデオ入力切換ボタンを押すごとに

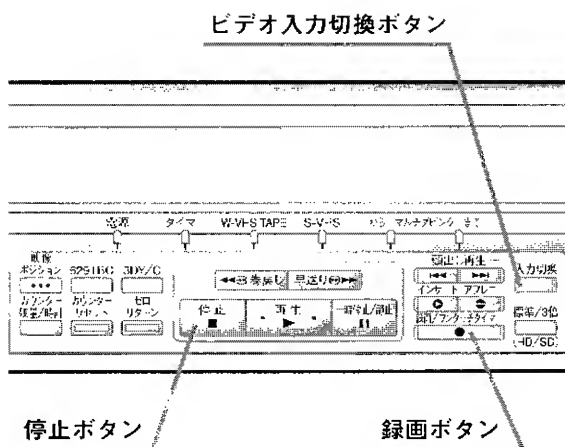
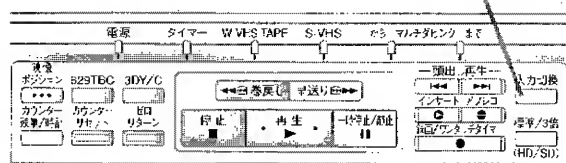
L1 → L2 → L3 → L4 → Hd →(L1に戻る)

- S-VHS/VHSテープ使用時は、Hdを選択できません。

6 録画ボタンを押し、録画を始める
- リモコンで操作する場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

7 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

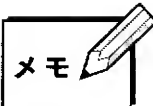
■録画終了後は、テレビのリモコンのロックボタンを押し、BSロックを解除してください。解除しないと、BSチャンネルの切り換えができません。

●ビデオでBS9チャンネルを録画中は、テレビの主電源を切らないでください。テレビを見ないときは、リモコンでテレビの電源を切ってください。

ウラ番組録画のしかた

■録画中に、テレビ側で見たいチャンネルを選んでください。

テレビ側で見たいチャンネル / ビデオで録画中のチャンネル	地上波放送	BS5, 7, 11	BS9
地上波放送	○	○	○
BS5, 7, 11	○	○	○
BS9	○	×※	

(○：ウラ番組録画可能　×：ウラ番組録画不可)

※ビデオでBS9チャンネルを録画中は、テレビ内蔵のBSチューナーがBS9チャンネルに固定されているため、テレビ側で他のBSチャンネルを見ることはできません。

メモ
●テレビによっては、ビデオでBS9チャンネルを録画中に、テレビ側で他のチャンネルを見ることができない場合があります。

BS9チャンネルのタイマー予約をする

■BS9チャンネル以外の番組をタイマー予約するときは、88～91 ページのタイマー予約の操作方法と同じです。

【ビデオ側の操作】

1 つめあり（録画可能状態）のテープを入れる
・HD/SD録画したいときは、W-VHSテープを入れてください。

2 タイマー予約する（90 ページ参照）
・録画チャンネルは、ビデオ入力切換ボタンを押して選びます。
HD録画する場合　　　　　　：「入力HD」を選びます。
SD/S-VHS/VHS録画する場合 ：「入力3」を選びます。

【テレビ側の操作】

3 ビデオのリモコンのテレビチャンネルボタンを押し、「BS9チャンネル」を選ぶ

4 テレビのリモコンのロックボタンを押す
・テレビ内蔵のBSチューナーは、BS9チャンネルに固定されます。
・テレビの取扱説明書もご覧ください。

5 ビデオのリモコンのテレビ電源ボタンを押し、テレビの電源を切る
・テレビが消えて、BSチューナー部だけ働きます。

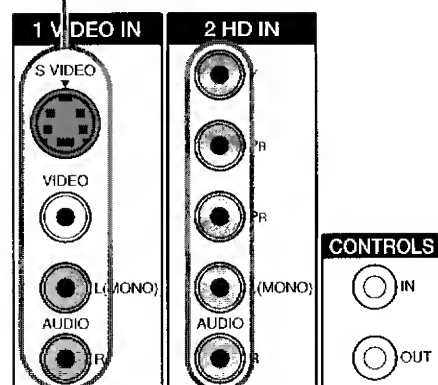
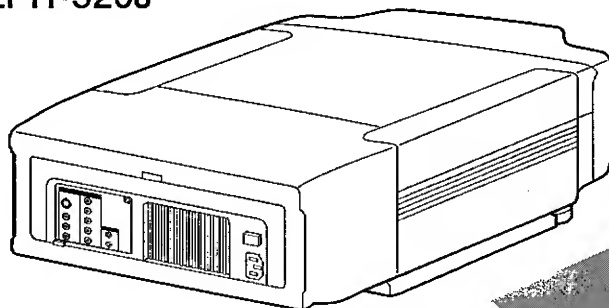
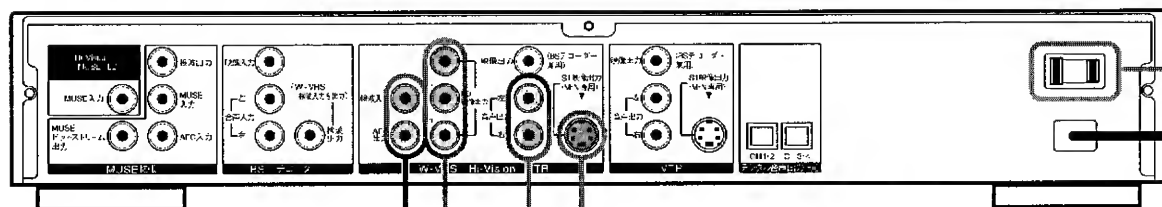
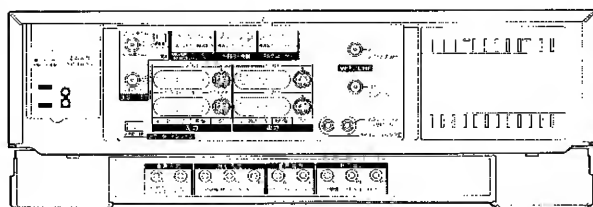
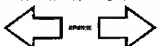
■タイマー録画終了後は、テレビのリモコンのロックボタンを押し、BSロックを解除してください。
解除しないと、BSチャンネルの切り換えができません。

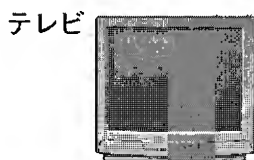
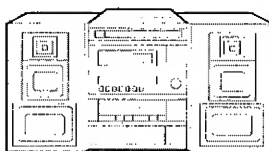
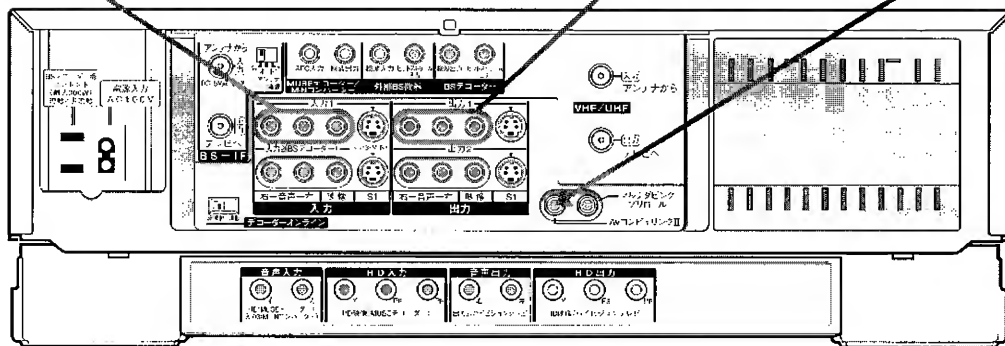
番組表にBS9チャンネルのGコードが掲載され、Gコード予約するときは

①68 ページをご覧いただき、ガイドチャンネルを次のように設定してください。
チャンネル表示　：入力HD
ガイドチャンネル：75
②Gコード予約をしてください。(88 ページ参照)
・W-VHSテープ使用時は、自動的に録画スピード(HD/SD)を設定するため、標準／3倍（HD/SD）の設定は不要です。
録画チャンネルが「入力HD」の場合：
自動的に「HDモード」で録画します。
録画チャンネルが「入力3」の場合：
自動的に「SDモード」で録画します。
・SD/S-VHS/VHS録画するときは、Gコード転送後、録画チャンネルの「入力HD」を「入力3」に変更してください。操作方法は、93 ページをご覧ください。

デコーダー関連との接続

アンテナ接続（BS含む）は、アンテナ→ビデオのように接続します。（20～22ページ参照）
BSデコーダーを接続しないときは、----- 部分の接続は不要です。

◆ソニー製ハイビジョンプロジェクター
LPH-520J

◆MUSEデコーダーHV-VMD1
（M-Nコンバーター内蔵）

HR-W5←→プロジェクターまたはモニターテレビ←→MUSEデコーダー←→BSデコーダーとの接続

関連システムとの接続

当社のAVコンピュリンク機能付きのテレビ・オーディオシステムをお持ちの方は、[　　] 部の接続も行ってください。各機器の電源を切ってから接続してください。テレビ、オーディオシステムの取扱説明書も合わせてお読みください。

テレビ・コンパクトコンポとの連携プレー …… AVコンピュリンク

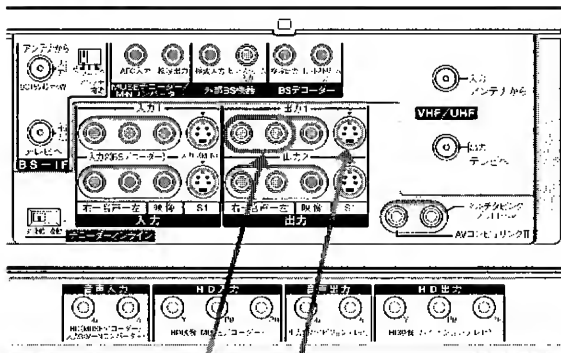
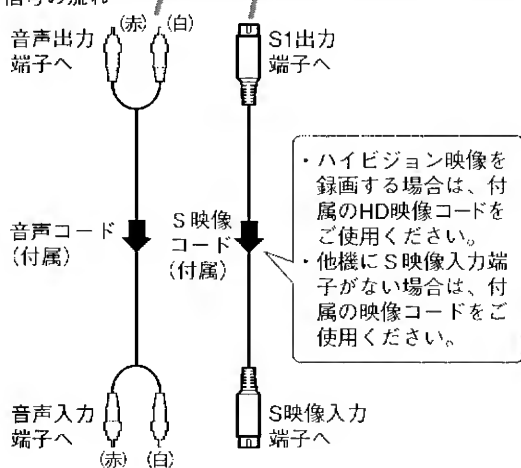
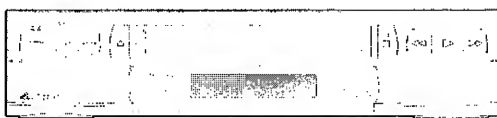
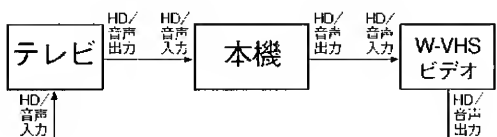
当社のAVコンピュリンクシステムで、複雑な各機器間の操作が簡略化され、本格的なAVシステムを手軽に楽しめます。

（例）ワンタッチ再生

録画済テープをビデオに入れ、再生ボタンを押すと

コンパクトコンポ：電源が入り、ビデオの音声を出力します。

テレビ　　　　　：電源が入り、ビデオの映像を出力します。

（本機背面）

（他機）

HDモードでBSリレーRECする場合の接続

- ●他機で録画中に本機を操作しないでください。
- ●他機のタイマー録画のしかたは、他機の取扱説明書をご覧ください。
- ●本機のテープがなくなると、タイマーランプが点滅し、テープが出てきます。
- ●番組の終わり（終了時刻）になると、本機のタイマーランプと本体表示窓の [OO] 表示が点滅します。タイマーボタンを押すと点滅は解除します。

長時間のBS番組をタイマー録画する BSリレーREC

ＢＳチューナーを独立に使用し、長時間のＢＳ番組を２台のビデオでリレー録画します。
本機はBSチャンネル以外に、「外部入力」でタイマー予約したときにも、BSリレーRECが働きます。（新BSリレーREC）
もう1台のW-VHSビデオがあれば、1台のMUSEデコーダー（ハイビジョンテレビ内蔵）を共用し、HDモードで長時間のBSハイビジョン番組のタイマー録画ができます。

準備 モード選択画面のオンスクリーンを切にする（17 ページ参照）

1 本機のタイマー予約を設定する

●番組の終わりの時刻をタイマー終了時刻にします。

2 他機のタイマー予約を設定する

●本機のテープがなくなる時刻から番組終了時刻まで設定します。
●外部入力にします。

3 本機、他機ともタイマースタンバイにする

［設定完了］

BSリレーRECのしくみ

〈例〉WT-180テープを2本使用してBS9チャンネルをHDモードで6時間録画する場合

チャンネル：BS 9（または入力HD）
開始時刻：午前 10:00
終了時刻：午後　4:00

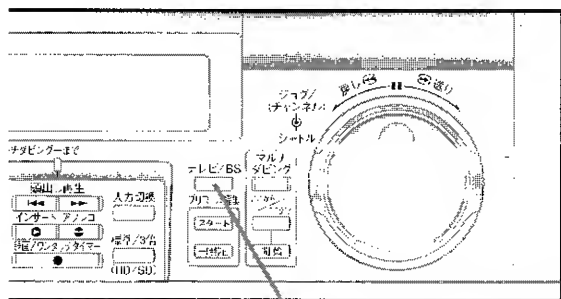
本機の予約　午前10:00 ― 午後4:00
本機の電源は、番組の終わり（終了時刻）まで切れません。

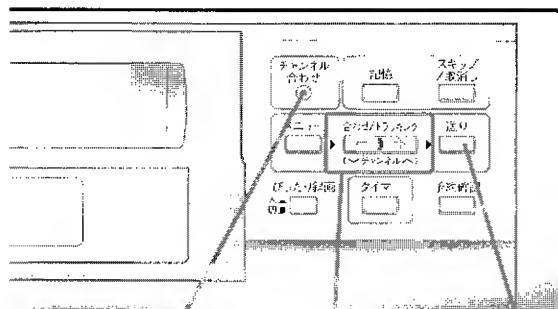
本機の録画　午前10:00 ― テープ終了　録画
テープがなくなると録画は終了します。
↓ リレー

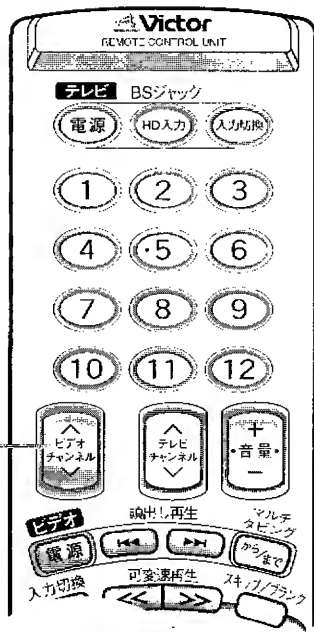
他機の録画　タイマースタンバイ　午後1:00 ― 午後4:00　録画

本機の録画終了後、録画を始めます。

受信チャンネル設定

ドア内右側

テレビ/BSボタン

本体右側

1　2,4　3

表面

4

オートチャンネル設定

本機は、チャンネルを自動的に設定します。
BSアンテナを接続していれば、BS番組も自動的に設定します。
また、C13(63)～C41(91)のCATVチャンネルも受信できます。
CATVをご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。

準備

- テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。
- BS番組だけのオートチャンネル設定を行う場合は、テレビ/BSボタンを押してBSチャンネルを表示させてから1の操作をします。

1 本体の**チャンネル合わせボタン**を押す

- チャンネル合わせ画面を表示します。

テレビ画面

＊　チャンネル合わせ　＊
記憶／スキップ／表示変更／微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択　[－/＋]
＊実行　[送り]
＊終了　[チャンネル合わせ]

2 **合わせ－/＋ボタン**で、**オートチャンネル合わせ**を選ぶ

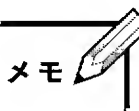
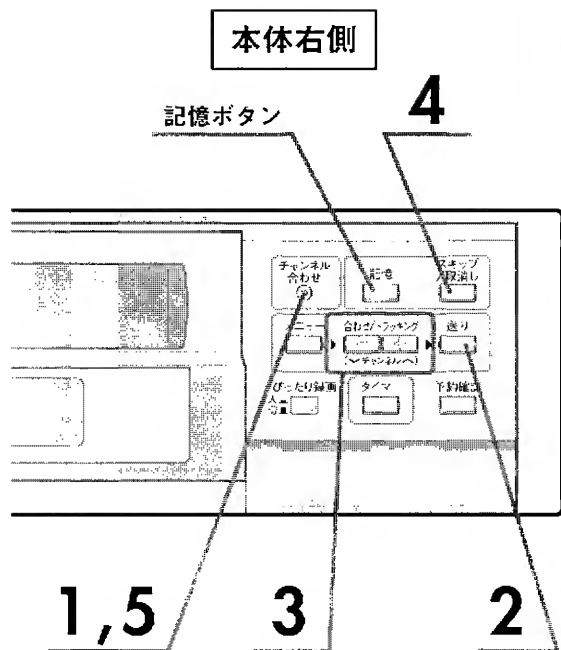
3 **送りボタン**を押す

- 選局が始まり、放送のあるチャンネルを自動的に記憶します。
- 終了すると、一番小さい数字のチャンネルが映ります。
- 選局中、本体表示窓にも受信チャンネルが表示されます。

＊　オートチャンネル合わせ　＊
チャンネル表示　1CH
受信チャンネル　1
オートチャンネル合わせ実行中

4 **ビデオチャンネル切換ボタン**で、選局されたチャンネルを確認する

- 不要なチャンネルを飛ばすとき→ 61 ページ参照
- チャンネル表示の変更 → 62 ページ参照
- きれいに映らないとき → 63 ページ参照

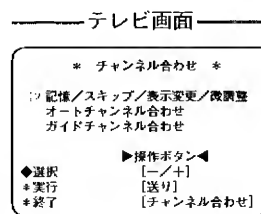
メモ

- Gコード予約をするかたは、66～69ページをご覧いただき、必要に応じてガイドチャンネル設定をしてください。
- スクランブル方式など有料のCATVの場合は、受信契約に加え、ホームターミナル（アダプター）の使用が必要になります。詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。
ホームターミナルを使用した場合は、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機は外部入力または1か2チャンネルなどにします。
- CATVは、サービスの行われている地域のみ受信できます。
- CATVチャンネルのC36(86)～C41(91)は、多少映りが悪いことがあります。

不要なチャンネルを飛ばす チャンネルスキップ

チャンネルのスキップ設定をすると、ビデオチャンネル切換ボタンの選局操作が早く行えます。

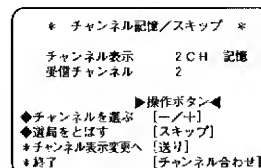
準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

テレビ画面

1 本体の**チャンネル合わせボタン**を押す

●チャンネル合わせ画面を表示します。

2 **送りボタン**を押す

●チャンネル記憶/スキップ画面を表示します。

＊ チャンネル記憶/スキップ ＊
チャンネル表示　2CH　記憶
受信チャンネル　2
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [−/+]
◆選局をとばす [スキップ]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

3 **合わせ−/+ボタン**で、**飛ばしたいチャンネル**を選ぶ

●テレビ画面が見づらいときは、本体表示窓をご覧ください。

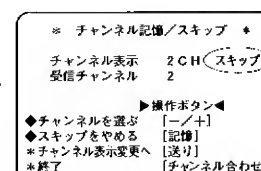
4 **スキップボタン**を押す

＊ チャンネル記憶/スキップ ＊
チャンネル表示　2CH　スキップ
受信チャンネル　2
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [−/+]
◆スキップをやめる [記憶]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

●「スキップ」が表示されると、チャンネルがスキップ設定されました。
本体表示窓では、「：」を表示します。

●スキップボタンを1秒以上押し続けると、表示しているチャンネルをスキップ設定してから、次に記憶しているチャンネルを呼び出します。

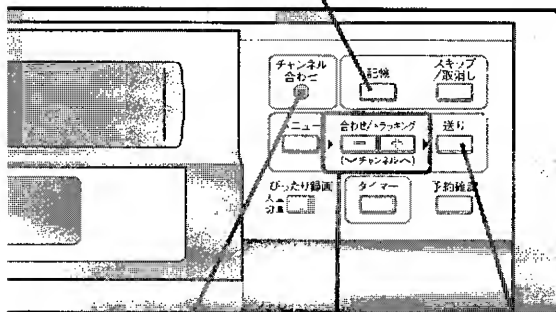
●表示しているチャンネルを記憶したまま次に記憶しているチャンネルを呼び出すときは、記憶ボタンを1秒以上押します。

●他にも飛ばしたいチャンネルがあるときは、3、4の操作を繰り返します。

5 **チャンネル合わせボタン**を押す

●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

●誤ってチャンネルを飛ばしたときに再び記憶するには、3の操作で記憶したいチャンネルに合わせ、記憶ボタンを押します。
「記憶」が表示されると設定完了です。

●オートチャンネル設定以外にも特定のチャンネルを受信したいときは記憶を行ってください。

本体右側

チャンネルの表示を変更する

例　テレビ神奈川（42チャンネル）のチャンネル表示を5にする

準備　テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

―テレビ画面―

42CH

1 **合わせ−/＋ボタン**で、**変更したいチャンネルを選ぶ**

2 本体の**チャンネル合わせボタン**を押す
- チャンネル合わせ画面を表示します。

※　チャンネル合わせ　※
1 記憶／スキップ／表示変更／微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択　［−／＋］
＊実行　［送り］
＊終了　［チャンネル合わせ］

3 **送りボタン**を**2回**押す
- チャンネル表示変更画面を表示し、チャンネル表示が点滅します。

＊　チャンネル表示変更　＊
チャンネル表示　5CH
受信チャンネル　42
▶操作ボタン◀
◆チャンネル表示を変える　［−／＋］
◆変えた内容を記憶する　［記憶］
＊受信チャンネル変更へ　［送り］
＊終了　［チャンネル合わせ］

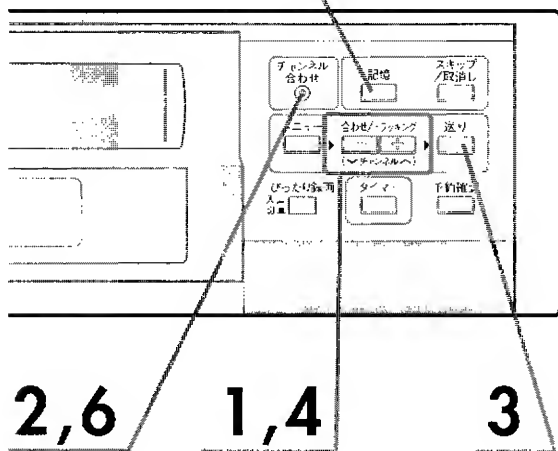
4 **合わせ−/＋ボタン**を**5CH**が表示されるまで押す
- 押し続けると早く変わります。

5 **記憶ボタン**を押す
- チャンネル表示が変更され、チャンネル記憶/スキップ画面に戻ります。

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊
チャンネル表示　5CH　記憶
受信チャンネル　42
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ　［−／＋］
◆選局をとばす　［スキップ］
＊チャンネル表示変更へ　［送り］
＊終了　［チャンネル合わせ］

6 **チャンネル合わせボタン**を押す
- 設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。
- 他にもチャンネル表示を変更したいときは、1〜6を繰り返します。

■チャンネル表示を元の設定に戻すには、60ページのオートチャンネル設定をしてください。（微調整したチャンネルも元の設定に戻ります。）

- タイマー予約をするときは、チャンネル表示の数字で予約します。
- チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネル設定をしてください。（66〜69ページ参照）

チャンネルの微調整をする

受信したチャンネルが白黒画面のときや、しま模様の画面になっているときは微調整が必要です。
また、すでにテレビ側で受信しているチャンネルが、ビデオのオートチャンネル設定で見つからないときは、下の設定を行い登録します。

準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

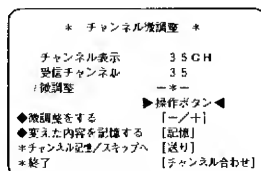
1 **合わせ－/＋ボタン**で、
微調整したいチャンネルを選ぶ

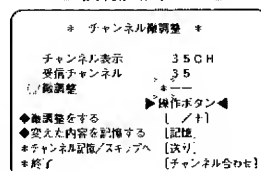
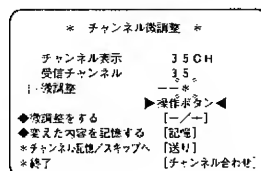
本体表示窓

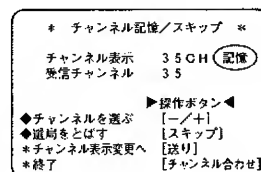
2 本体の
チャンネル合わせボタンを押す
●チャンネル合わせ画面を表示します。

テレビ画面

＊　チャンネル合わせ　＊
記憶／スキップ／表示変更／微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択　[－／＋]
＊実行　[送り]
＊終了　[チャンネル合わせ]

3 **送りボタン**を**4回**押す
●チャンネル微調整画面を表示します。

4 **合わせ－／＋ボタン**で微調整する
●しま模様の画面のときは、合わせ（－）ボタンを押します。
●白黒画面のときは、合わせ（＋）ボタンを押します。
●調整前の状態に戻したいときは、合わせ（－）と（＋）ボタンを同時に押します。

しま模様画面のとき

白黒画面のとき

5 **記憶ボタン**を押す
●「記憶」を表示します。

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊
チャンネル表示　35CH（記憶）
受信チャンネル　35
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ　[－／＋]
◆選局をとばす　[スキップ]
＊チャンネル表示変更へ　[送り]
＊終了　[チャンネル合わせ]

6 **チャンネル合わせボタン**を押す
●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。
●他にも微調整したいチャンネルがあるときは、1～6を繰り返します。

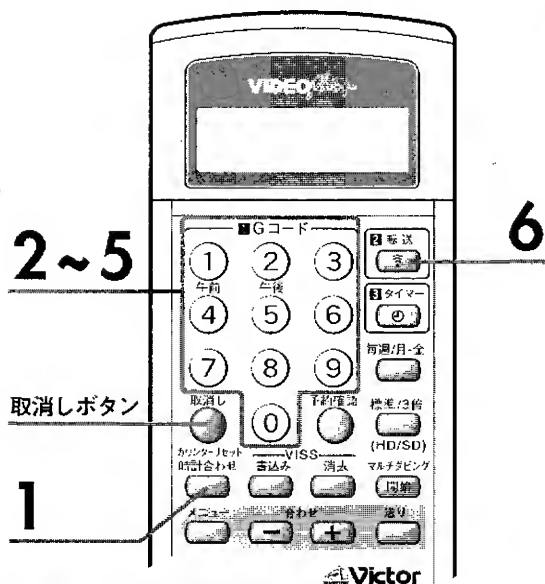
時計合わせ

裏面

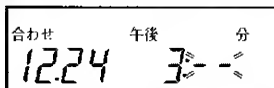
2~5

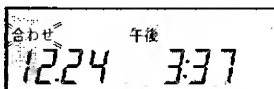
6

取消しボタン

1

時計を合わせ直すには

例：分を合わせ直す

1. 時計合わせボタンを押す

分以内

2. 数字ボタンで分を入力する

時間の時も合わせ直すときは、取消しボタンを押したあと4、5の操作をします。

3. 時計合わせボタンを押す

時計が動き始めます。
本体の時計も同時に合わせたいときは、時計合わせボタンの代わりに転送ボタンを押します。

- 時計を正確に合わせたいときは、6の操作で時報(☎117)に合わせて転送ボタンを押してください。
- リモコンの時計だけをスタートさせるときは、6の操作で転送ボタンの代わりに時計合わせボタンを押してください。
- 設定中にまちがえて入力したときは取消しボタンを押し、もう一度数字ボタンで入力してください。

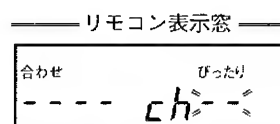
リモコンと本体の時計を合わせる

リモコンの時計を合わせ、本体へ転送します。本体の時計を合わせることなく、リモコンと本体の時計が自動的に動き始めます。
時計は12時間（午前・午後）方式です。

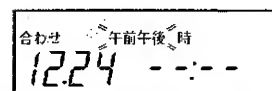
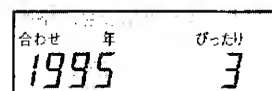
準備 本体の受信チャンネルを設定していないかたは、60～63ページをご覧いただき設定してください。

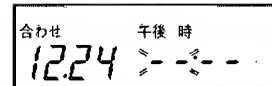
例 1995年12月24日 午後3時35分、ぴったりクロックのチャンネルを3（関東地区）に合わせるとき

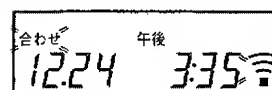
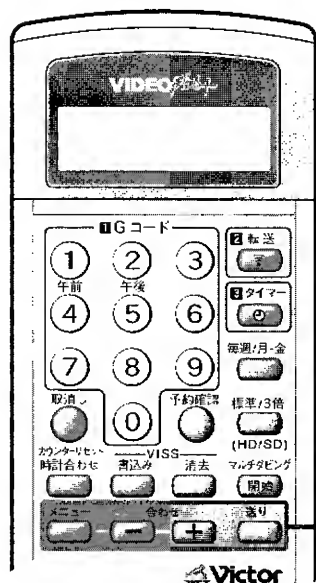
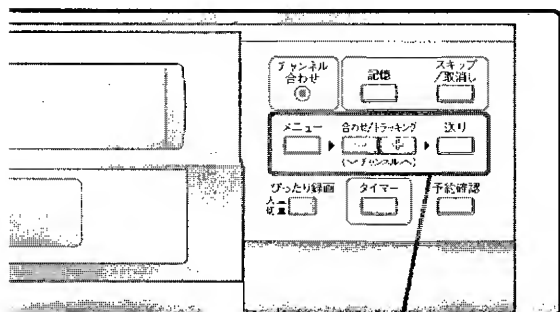
1 時計合わせ開始
時計合わせボタンを押す

ぴったりチャンネルの入力

2 **数字ボタンを押す**
- NHK教育テレビのチャンネルを入力します。
- 1ケタの場合は0を先に押します。

年/月/日の入力

3 点滅する順番に
数字ボタンを押す
- 年→月→日の順番に合わせます。
- 年は西暦（4ケタ）で入力します。
- 1ケタの場合は0を先に押します。

午前/午後の入力

4 午前：**数字ボタンの1を押す**
午後：**数字ボタンの2を押す**
- 正午は午後0：00、深夜0時は午前0：00です。

時間（時/分）の入力

5 点滅する順番に
数字ボタンを押す
- 時→分の順番に合わせます。
- 1ケタの場合は0を先に押します。

6 本体に向けて**転送ボタンを押す**
- 本体に時計が転送され、リモコンと本体の時計が同時に動き始めます。

画面表示で時計を合わせる

メニュー画面の時計合わせモードを使って本体の時計を合わせることができます。時計は12時間（午前・午後）方式です。

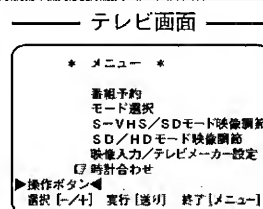
準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

例 1995年12月24日 午後3時35分、ぴったりクロックのチャンネルを12（関西地区）に合わせるとき

テレビ画面

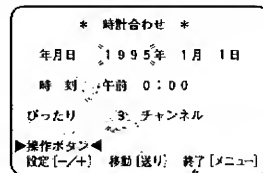
1

1 メニューボタンを押す
- ●メニュー画面を表示します。

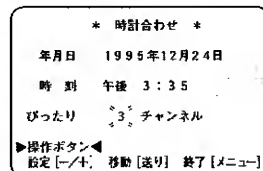
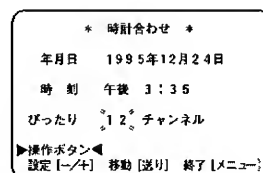
2 合わせー/＋ボタンで時計合わせを選ぶ

2

送りボタンを押す
- ●時計合わせ画面を表示します。

10秒以内

3

1 合わせー/＋ボタンで年を合わせる

2 送りボタンを押す
- ●同じように、月→日→時→分の順番に合わせます。
- ●時・分を合わせるときは、合わせー/＋ボタンを押し続けると30分刻み、1回ずつ押すと1分刻みで変わります。

4

合わせー/＋ボタンでぴったりクロックのチャンネルを合わせる
- ●NHK教育テレビのチャンネルに合わせます。

NHK教育テレビが3チャンネルの地域では特に合わせる必要はありません。

5

メニューボタンを押す
- ●時計が動き始め、テレビ番組画面に戻ります。
- ●正確に合わせたいときは、時報（☎117）に合わせてメニューボタンを押してください。

■途中で修正するときは、送りボタンで点滅部分を移動させ、合わせー/＋ボタンで修正します。

■30分以上の停電があると、本体表示窓が 0:00 で点滅します。再度、時計合わせをしてください。

ぴったりクロックについて
- ●自動的にテレビ放送局の時報で時計を修正してくれる機能です。
  NHK教育テレビの時報で1日3回（7、12、19時）時計を修正します。
- ●ビデオ使用中や、現在時刻とのずれが±3分以上あるときは働きません。
- ●音楽入りの時報では機能しないことがあります。
- ●NHK教育テレビのチャンネルは地域によって異なります。新聞などでご確認の上チャンネルを設定してください。

Gコード予約の準備［ガイドチャンネル設定

Gコードを使ってタイマー予約する前の準備

Gコード予約を正しく働かせるために、ガイドチャンネル設定をします。

ガイドチャンネルとは、Gコード予約で放送局を正しく受信するために付けられた、その放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なる場合がありますのでご注意ください。

次のような放送局（チャンネル）は、ガイドチャンネル設定の操作は不要です。
- ビデオのチャンネルが「NHK総合=1、NHK教育=3」で受信している場合（東京近郊）
- チャンネル表示とガイドチャンネルの数字が同じ場合
- BS番組を受信している場合
（CATVなどでBS番組を受信している場合は設定が必要です。）

放送局名を探さなきゃ。
えーと、2チャンネルはNHK総合で、
次に4チャンネルは…

60～63 ページの受信チャンネル設定終了後

1 ビデオで受信できる放送局名を調べて、4の表に記入する

●例えば、大阪市なら9つです。

NHK総合	毎日放送	朝日放送
関西テレビ	読売テレビ	NHK教育
テレビ大阪	京都テレビ	サンテレビ

2 本体表示窓に表示される各放送局のチャンネルを調べて、4の表に記入する

NHK総合=2　NHK教育=12
毎日放送=4　テレビ大阪=19
朝日放送=6　京都テレビ=34
関西テレビ=8　サンテレビ=36
読売テレビ=10

3 各放送局のガイドチャンネルを一覧表（69ページ参照）から調べて、4の表に記入する

●ガイドチャンネル一覧表から

放送局		放送局	
NHK総合	80	NHK教育	90
毎日放送	4	テレビ大阪	19
朝日放送	6	京都テレビ	34
関西テレビ	8	サンテレビ	36
読売テレビ	10		

4 あなたのお住まいの地区に合わせて表をつくる

1から放送局名	2からチャンネル表示	3からガイドチャンネル

(例) 大阪市の場合

	1から放送局名	2からチャンネル表示	3からガイドチャンネル
✓	NHK総合	2	80
	毎日放送	4	4
	朝日放送	6	6

5 上の表より、チャンネル表示とガイドチャンネルが違っている放送局を本体に記憶する

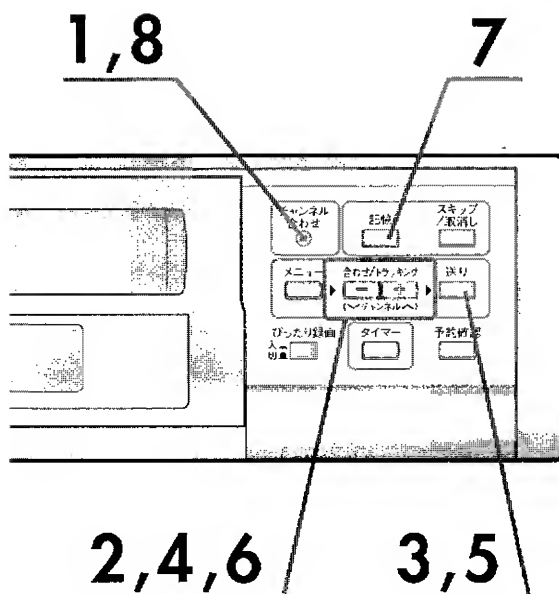
（68 ページ参照）

●違っているところに✓印を入れます。

チャンネル表示とガイドチャンネルの数字が同じ場合は、本体に記憶する必要はありません。
ただし、ビデオチャンネルの1と3がNHK総合／教育でない場合は、ガイドチャンネル設定が必要です。

メモ

●引っ越しして受信するチャンネルが変わったときは、ガイドチャンネル設定をしてください。
●Gコード予約をされない方は、ガイドチャンネル設定の必要はありません。

本体右側

ガイドチャンネルを本体に記憶する

例　NHK総合テレビのガイドチャンネル(80)を記憶する場合(大阪市)

準備　①[66]ページの1~3を行い、表を作成します。
②テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

1 本体の**チャンネル合わせボタン**を押す
●チャンネル合わせ画面を表示します。

テレビ画面

```
*　チャンネル合わせ　*
記憶/スキップ/表示変更/微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択　[ー/+]
*実行　[送り]
*終了　[チャンネル合わせ]
```

2 **合わせー/+ボタン**で
ガイドチャンネル合わせを選ぶ

3 **送りボタン**を1回押す
●ガイドチャンネル合わせ画面を表示します。

```
*　ガイドチャンネル合わせ　*
チャンネル表示　2CH
ガイドチャンネル　2
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ　[ー/+/入力切換]
*ガイドチャンネル変更へ　[送り]
*終了　[チャンネル合わせ]
```

4 **合わせー/+ボタン**で
記憶するチャンネル(NHK総合)を選ぶ

5 **送りボタン**を1回押す
●ガイドチャンネル変更画面を表示します。

```
*　ガイドチャンネル変更　*
チャンネル表示　2CH
ガイドチャンネル　80
▶操作ボタン◀
◆ガイドチャンネルを選ぶ　[ー/+]
◆変えた内容を記憶する　[記憶]
*Gコードインフォ合わせへ　[送り]
*終了　[チャンネル合わせ]
```

6 **合わせー/+ボタン**で
記憶するガイドチャンネル(80)に合わせる

7 **記憶ボタン**を押す
●他にも記憶するチャンネルがあるときは、4~7を繰り返します。

```
*　ガイドチャンネル合わせ　*
チャンネル表示　2CH
ガイドチャンネル　80
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ　[ー/+/入力切換]
*ガイドチャンネル変更へ　[送り]
*終了　[チャンネル合わせ]
```

8 **チャンネル合わせボタン**を押す
●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

●BS9チャンネルを外部入力録画している方や、CATVなどでBS番組を外部入力録画している方へ
4の操作で、入力切換ボタン(ドア内中央)を押してチャンネル表示を「入力1(または入力2、入力3、入力4、入力HD)」にします。そのあと、5~8の操作をします。
(例) NHK衛星第1のガイドチャンネルを記憶する
チャンネル表示:入力1
ガイドチャンネル:74
操作手順は右と同じです。4と6の操作のみ下のように行ってください。
4の操作で、入力切換ボタンを押してチャンネル表示を「入力1」にします。
6の操作で、ガイドチャンネルを「74」にします。
●それぞれの外部入力に対して、それぞれ1つの放送局しか記憶できません。
●テレビに「Gコードインフォ合わせ」画面が表示されたときは、チャンネル合わせボタンを押してテレビ番組画面に戻し、1~8の操作をやり直してください。
Gコードインフォについては、[70]ページをご覧ください。

ガイドチャンネル一覧表

右の数字がガイドチャンネルです。(1995年9月現在)

地域	局名	ch
全国共通	NHK総合	80
	NHK教育	90
	BS1	71
	BS3	72
	BS5　ＷＯＷＯＷ	73
	BS7　NHK衛星第1	74
	BS9　ハイビジョン放送	75
	BS11 NHK衛星第2	76
	BS13	77
	BS15	78

地域	局名	ch
CATV/CS放送	日本テレビケーブルニュース	40
	CNN	81
	MTV	82
	スター・チャンネル	83
	スペースシャワーTV	84
	スポーツ・アイ	85
	衛星劇場	86
	GAORA（ガオラ）	87
	LET's TRY	88
	スカイ・A	89
	BBC	91
	朝日ニュースター	99

地域	局名	ch
北海道	北海道放送（HBC）	1
	札幌テレビ（STV）	5
	テレビ北海道（TVH）	17
	北海道文化（UHB）	27
	北海道テレビ（HTB）	35

地域	局名	ch
岡山	西日本放送（RNC）	9
	山陽放送（RSK）	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送（KSB）	33
	岡山放送（OHK）	35
広島	中国放送（RCC）	4
	広島テレビ（HTV）	12
	テレビ新広島（TSS）	31
	広島ホーム（HOME）	35
鳥取・島根	日本海テレビ（NKT）	1
	山陰放送（BSS）	10
	山陰中央（TSK）	34
山口	山口放送（KRY）	11
	山口朝日（YAB）	28
	テレビ山口（TYS）	38

地域	局名	ch
福岡	九州朝日放送（KBC）	1
	RKB毎日（RKB）	4
	テレビ西日本（TNC）	9
	TXN九州（TVQ）	19
	福岡放送（FBS）	37
大分	大分放送（OBS）	5
	大分朝日（OAB）	24
	テレビ大分（TOS）	36
佐賀	サガテレビ（STS）	36
長崎	長崎放送（NBC）	5
	長崎国際（NIB）	25
	長崎文化（NCC）	27
	テレビ長崎（KTN）	37
熊本	熊本放送（RKK）	11
	熊本朝日（KAB）	16
	熊本県民（KKT）	22
	テレビ熊本（TKU）	34
宮崎	宮崎放送（MRT）	10
	テレビ宮崎（UMK）	35
鹿児島	南日本放送（MBC）	1
	鹿児島読売テレビ(KYT)	30
	鹿児島放送（KKB）	32
	鹿児島テレビ（KTS）	38
沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8
	琉球放送（RBC）	10
	琉球朝日（QAB）	28

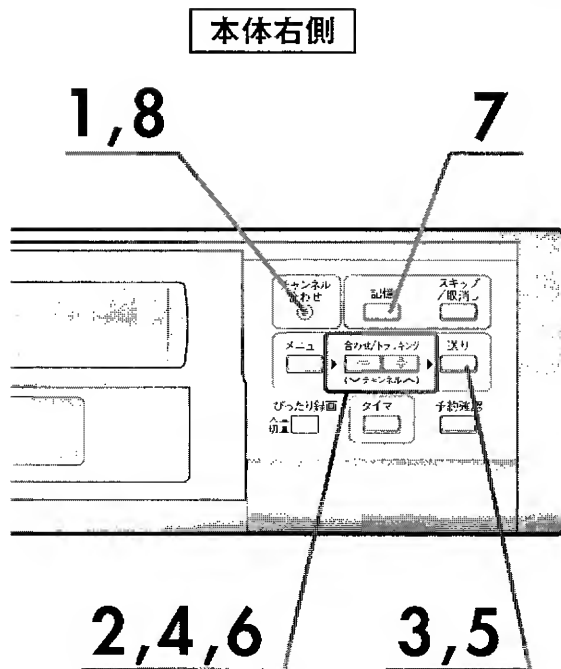
地域	局名	ch
新潟	新潟放送（BSN）	5
	新潟テレビ21（NT21）	21
	テレビ新潟（TNN）	29
	新潟総合（NST）	35
富山	北日本放送（KNB）	1
	テレビュー富山(TUT)	32
	富山テレビ（T34）	34
石川	北陸放送（MRO）	6
	北陸朝日（HAB）	25
	テレビ金沢（KTK）	33
	石川テレビ（ITC）	37
福井	福井放送（FBC）	11
	福井テレビ（FTB）	39

地域	局名	ch
関西	毎日放送（MBS）	4
	朝日放送（ABC）	6
	関西テレビ（KTV）	8
	読売テレビ（YTV）	10
	テレビ大阪（TVO）	19
	テレビ和歌山(WTV)	30
	びわ湖放送（BBC）	30
	近畿放送(京都テレビ)(KBS)	34
	サンテレビ（SUN）	36
	奈良テレビ（TVN）	55

地域	局名	ch
香川	西日本放送（RNC）	9
	山陽放送（RSK）	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送（KSB）	33
	岡山放送（OHK）	35
愛媛	南海放送（RNB）	10
	愛媛朝日（EAT）	25
	伊予テレビ（ITV）	29
	愛媛放送（EBC）	37
徳島	四国放送（JRT）	1
高知	高知放送（RKC）	8
	テレビ高知（KUTV）	38

地域	局名	ch
青森	青森放送（RAB）	1
	青森朝日（ABA）	34
	青森テレビ（ATV）	38
岩手	岩手放送（IBC）	6
	めんこい（MIT）	33
	テレビ岩手（TVI）	35
秋田	秋田放送（ABS）	11
	秋田朝日（AAB）	31
	秋田テレビ（AKT）	37
宮城	東北放送（TBC）	1
	仙台放送（OX）	12
	東日本放送（KHB）	32
	宮城テレビ（MMT）	34
山形	山形放送（YBC）	10
	テレビュー山形(TUY)	36
	山形テレビ（YTS）	38
福島	福島テレビ（FTV）	11
	テレビュー福島(TUF)	31
	福島中央（FCT）	33
	福島放送（KFB）	35

地域	局名	ch
関東	日本テレビ（NTV）	4
	東京放送（TBS）	6
	フジテレビ（CX）	8
	テレビ朝日（ANB）	10
	テレビ東京（TX）	12
	東京メトロポリタン(MXテレビ)	14
	放送大学	16
	テレビ埼玉（TVS）	38
	テレビ神奈川（TVK）	42
	千葉テレビ（CTC）	46
	群馬テレビ（GTV）	48

地域	局名	ch
長野	信越放送（SBC）	11
	長野朝日（ABN）	20
	テレビ信州（TSB）	30
	長野放送（NBS）	38
山梨	山梨放送（YBS）	5
	テレビ山梨（UTY）	37
静岡	静岡放送（SBS）	11
	静岡第一（SDT）	31
	静岡朝日テレビ(SATV)	33
	テレビ静岡（SUT）	35
中京	東海テレビ（THK）	1
	中部日本放送（CBC）	5
	名古屋テレビ（NBN）	11
	テレビ愛知（TVA）	25
	三重テレビ（MTV）	33
	中京テレビ（CTV）	35
	岐阜放送（GBS）	37

Gコードインフォのガイドチャンネルを本体に記憶する

Gコードインフォとは、「0」から始まるGコードを使って録画予約するシステムです。比較的短い時間の録画予約に使用されます。録画予約の方法はGコード予約(88ページ参照)と同じです。
Gコードインフォのサービスが始まるまで使用できません。

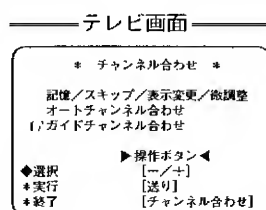
例 テレビ大阪(19チャンネル)のGコードインフォのガイドチャンネル(106)を記憶する場合(関西地区)

準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

1 本体のチャンネル合わせボタンを押す

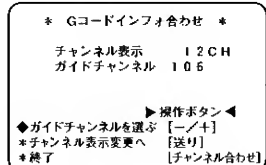
●チャンネル合わせ画面を表示します。

テレビ画面

＊ チャンネル合わせ ＊
記憶/スキップ/表示変更/微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択 [－/＋]
＊実行 [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

2 合わせ－/＋ボタンでガイドチャンネル合わせを選ぶ

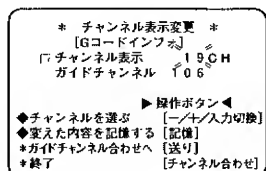
3 送りボタンを3回押す

●Gコードインフォ合わせ画面を表示します。

＊ Gコードインフォ合わせ ＊
チャンネル表示 12CH
ガイドチャンネル 106
▶操作ボタン◀
◆ガイドチャンネルを選ぶ [－/＋]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

4 合わせ－/＋ボタンで記憶するガイドチャンネル(106)を選ぶ

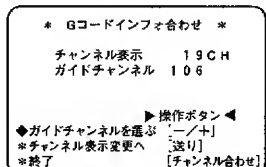
5 送りボタンを1回押す

●チャンネル表示変更画面を表示します。

＊ チャンネル表示変更 ＊
[Gコードインフォ]
チャンネル表示 19CH
ガイドチャンネル 106
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [－/＋/入力切換]
◆変えた内容を記憶する [記憶]
＊ガイドチャンネル合わせへ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

6 合わせ－/＋ボタンで記憶するチャンネル(19)に合わせる

7 記憶ボタンを押す

●他にも記憶するチャンネルがあるときは、4～7を繰り返します。

＊ Gコードインフォ合わせ ＊
チャンネル表示 19CH
ガイドチャンネル 106
▶操作ボタン◀
◆ガイドチャンネルを選ぶ [－/＋]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

8 チャンネル合わせボタンを押す

●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

地域別民放ネットワークのガイドチャンネル一覧表

民放ネットワーク	ガイドチャンネル
TBSテレビ(JNN)	102
日本テレビ(NNN)	103
フジテレビ(FNN)	104
テレビ朝日(ANN)	105
テレビ東京(TXN)	106

地域	放送局	ch
北海道	北海道放送(HBC)	102
	札幌テレビ(STV)	103
	北海道文化(UHB)	104
	北海道テレビ(HTB)	105
	テレビ北海道(TVH)	106

地域	放送局	ch
岡山	山陽放送(RSK)	102
	西日本放送(RNC)	103
	岡山放送(OHK)	104
	瀬戸内海放送(KSB)	105
	テレビせとうち(TSC)	106
広島	中国放送(RCC)	102
	広島テレビ(HTV)	103
	テレビ新広島(TSS)	104
	広島ホーム(HOME)	105
鳥取・島根	山陰放送(BSS)	102
	日本海テレビ(NKT)	103
	山陰中央(TSK)	104
山口	テレビ山口(TYS)	102
	山口放送(KRY)	103
	山口朝日(YAB)	105

地域	放送局	ch
福岡	RKB毎日(RKB)	102
	福岡放送(FBS)	103
	テレビ西日本(TNC)	104
	九州朝日放送(KBC)	105
	TXN九州(TVQ)	106
大分	大分放送(OBS)	102
	テレビ大分(TOS)	103
	テレビ大分(TOS)	104
	大分朝日(OAB)	105
佐賀	熊本放送(RKK)	102
	サガテレビ(STS)	104
長崎	長崎放送(NBC)	102
	長崎国際(NIB)	103
	テレビ長崎(KTN)	104
	長崎文化(NCC)	105
熊本	熊本放送(RKK)	102
	熊本県民(KKT)	103
	テレビ熊本(TKU)	104
	熊本朝日(KAB)	105
宮崎	宮崎放送(MRT)	102
	テレビ宮崎(UMK)	103
	テレビ宮崎(UMK)	104
	テレビ宮崎(UMK)	105
鹿児島	南日本放送(MBC)	102
	鹿児島読売テレビ(KYT)	103
	鹿児島テレビ(KTS)	104
	鹿児島放送(KKB)	105
沖縄	琉球放送(RBC)	102
	沖縄テレビ(OTV)	104
	琉球朝日(QAB)	105

地域	放送局	ch
新潟	新潟放送(BSN)	102
	テレビ新潟(TNN)	103
	新潟総合(NST)	104
	新潟テレビ21(NT21)	105
富山	テレビユー富山(TUT)	102
	北日本放送(KNB)	103
	富山テレビ(T34)	104
石川	北陸放送(MRO)	102
	テレビ金沢(KTK)	103
	石川テレビ(ITC)	104
	北陸朝日(HAB)	105
福井	福井放送(FBC)	103
	福井テレビ(FTB)	104
	福井放送(FBC)	105

地域	放送局	ch
関西	毎日放送(MBS)	102
	読売テレビ(YTV)	103
	関西テレビ(KTV)	104
	朝日放送(ABC)	105
	テレビ大阪(TVO)	106

地域	放送局	ch
香川	山陽放送(RSK)	102
	西日本放送(RNC)	103
	岡山放送(OHK)	104
	瀬戸内海放送(KSB)	105
	テレビせとうち(TSC)	106
愛媛	伊予テレビ(ITV)	102
	南海放送(RNB)	103
	愛媛放送(EBC)	104
	愛媛朝日(EAT)	105
徳島	毎日放送	102
	四国放送(JRT)	103
	関西テレビ	104
	朝日放送	105
高知	テレビ高知(KUTV)	102
	高知放送(RKC)	103

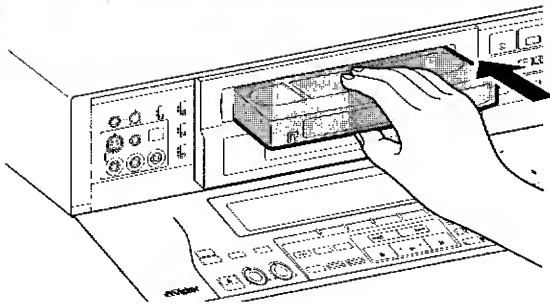
地域	放送局	ch
青森	青森テレビ(ATV)	102
	青森放送(RAB)	103
	青森朝日(ABA)	105
岩手	岩手放送(IBC)	102
	テレビ岩手(TVI)	103
	めんこい(MIT)	104
秋田	秋田放送(ABS)	103
	秋田テレビ(AKT)	104
	秋田朝日(AAB)	105
宮城	東北放送(TBC)	102
	宮城テレビ(MMT)	103
	仙台放送(OX)	104
	東日本放送(KHB)	105
山形	テレビユー山形(TUY)	102
	山形放送(YBC)	103
	山形テレビ(YTS)	105
福島	テレビユー福島(TUF)	102
	福島中央(FCT)	103
	福島テレビ(FTV)	104
	福島放送(KFB)	105

地域	放送局	ch
関東	東京放送(TBS)	102
	日本テレビ(NTV)	103
	フジテレビ(CX)	104
	テレビ朝日(ANB)	105
	テレビ東京(TX)	106

地域	放送局	ch
長野	信越放送(SBC)	102
	テレビ信州(TSB)	103
	長野放送(NBS)	104
	長野朝日(ABN)	105
山梨	テレビ山梨(UTY)	102
	山梨放送(YBS)	103
静岡	静岡放送(SBS)	102
	静岡第一(SDT)	103
	テレビ静岡(SUT)	104
	静岡朝日テレビ(SATV)	105
愛知・岐阜・三重	中部日本放送(CBC)	102
	中京テレビ(CTV)	103
	東海テレビ(THK)	104
	名古屋テレビ(NBN)	105
	テレビ愛知(TVA)	106

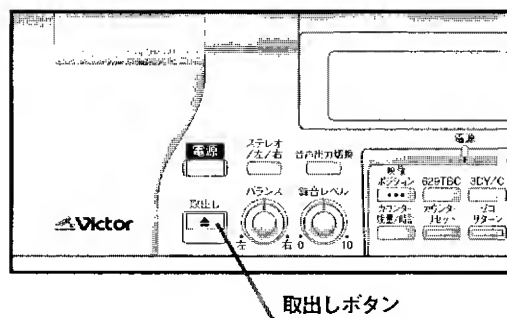
(1995年9月現在)

カセットの出し入れ

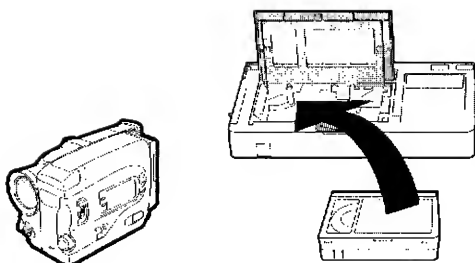
カセットの入れかた

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押す

●電源が入ります。（オートパワーオン）
●カウンターが 0.00.00 になります。（オートカウンターリセット）
●つめなし（録画不可状態）のカセットを入れると、自動的に再生を始めます。（オートプレイ）

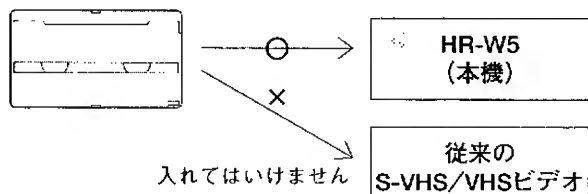
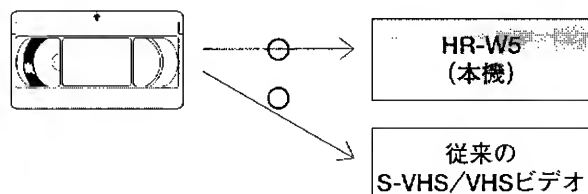
カセットの出しかた

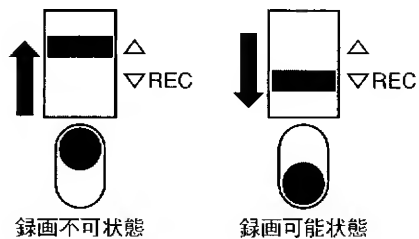
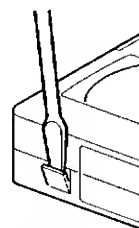
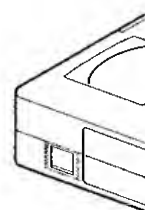
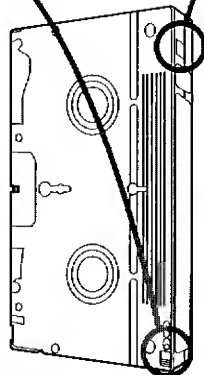
ドア内左側

取出しボタンを押す

●タイマースタンバイ（タイマーランプ点灯）中は、テープを取り出すことはできません。タイマーボタン（本体右側）を押してランプを消灯してから、取り出してください。
●カセットの出し入れ口には、手や異物を入れないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。
●テープを入れたらつまってしまい、数秒後にテープが自動的に出てきたときは
テープを斜めに入れるなど、入れかたによっては内部の保護回路が働きテープが自動的に出てきます。このようなときは、数秒待ち、もう一度正しく入れ直してください。

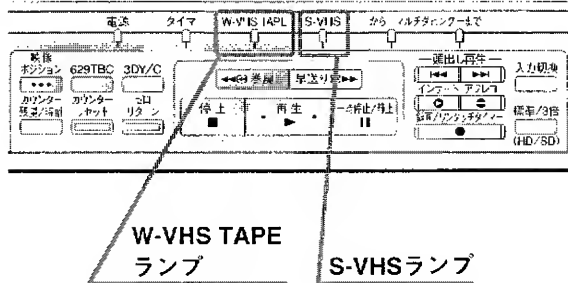
ビデオムービーで録画した VHS C テープを見るには

別売のVHSカセットアダプターC-P6をご使用ください。

使用テープについて

●W-VHSテープ

●S-VHS/VHSテープ

大切な記録を消さないために

●W-VHSテープの場合
つめの部分がスライド式です。

●S-VHS/VHSテープの場合

●W-VHSテープの場合は、セロハンテープを貼らないでください。
●つめなし(録画不可状態)のテープを入れると、自動的に再生を始めます。

使用テープと録画方式

ドア内中央

W-VHSテープを使用した場合の録画方式と表示ランプ

●本体のW-VHS TAPEランプについて

カセットテープがW-VHSか、S-VHS/VHSかを識別して知らせます。

使用するテープ	W-VHS TAPEランプ
W-VHSテープ	W-VHS TAPE ■ （点灯）
S-VHS/VHSテープ	W-VHS TAPE □ （消灯）

●HD/SD表示について

W-VHSテープ使用時、録画・再生がHD方式かSD方式かを知らせます。

テレビ画面 ……左下に表示します。

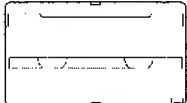
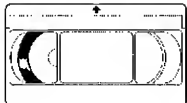
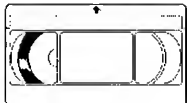
HD方式：HD　　SD方式：SD

本体表示窓 ……カウンター表示の右側に表示します。

HD方式：Hd　　SD方式：Sd

S-VHS/VHSテープを使用した場合の録画方式と表示ランプ

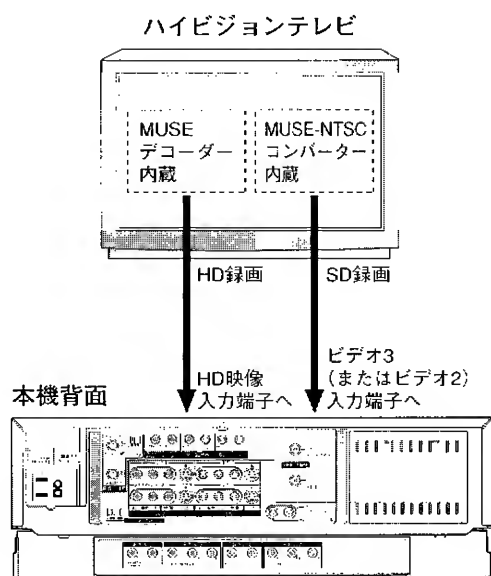
●本体のS-VHSランプについて

カセットテープがS-VHSかVHSか、また、録画・再生がS-VHS方式かVHS方式かを知らせます。

停止中（使用テープの判別）		録画・再生中（録画方式の判別）	
使用テープ	S-VHSランプ	録画方式	S-VHSランプ
S-VHSテープ	S-VHS ■ （点灯）	S-VHS方式	S-VHS ■ （点灯）
VHSテープ	S-VHS □ （消灯）	VHS方式	S-VHS □ （消灯）

●S-VHSテープにVHS記録する場合は、17、19ページをご覧ください。

使用テープと録画方式

使用テープ	録画方式	録画スピード	操作方法	ご注意
W-VHSテープ	HD	標準と同じ	76 ページをご覧ください。	S-VHS/VHS録画はできません。
	SD	3倍と同じ		
S-VHSテープ	S-VHS	標準/3倍選択可能	S-VHSテープを入れると、S-VHS録画ができます。	HD/SD録画はできません。
	VHS	標準/3倍選択可能	モード選択画面のS-VHS記録を「切」にします。(17、19 ページ参照)	
VHSテープ	VHS	標準/3倍選択可能	VHSテープを入れると、VHS録画ができます。	HD/SD/S-VHS録画はできません。

テレビでBSのハイビジョン番組を受信し、本機で外部入力録画する場合

ハイビジョンテレビ

HD録画とは

BSのハイビジョン番組を走査線1125本、縦横比9：16のワイド画面のまま高品位で録画することができます。
視聴するにはHD映像 (Y, P_B, P_R) 入力端子付ハイビジョンテレビが必要です。
テープのスピードは、従来の標準 (SP) モードに相当します。

HD : High(ハイ) Definition(デフィニション) の略

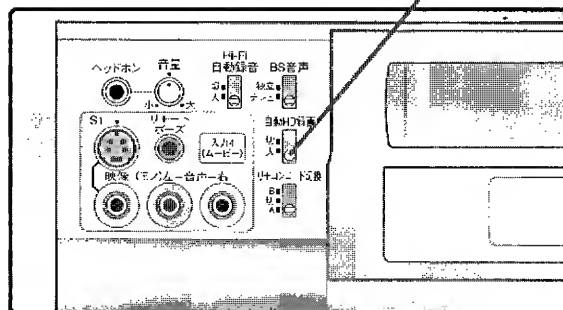
SD録画とは

従来の走査線525本、縦横比3：4 (NTSC信号) を高品位に長時間録画することができます。
テープのスピードは、従来の3倍 (EP) モードに相当します。

SD : Standard(スタンダード) Definition(デフィニション) の略

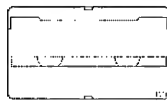
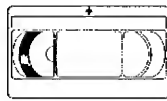
●3倍スピードでHD録画はできません。
●標準スピードでSD録画はできません。

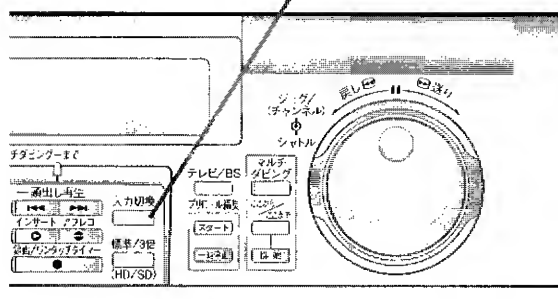
本体左側

1

ドア内右側

入力切換ボタン

自動HD録画スイッチの働き

使用テープ、録画チャンネルによって、自動的に録画方式を判別します。

1 本体の**自動HD録画スイッチ**を**入**にする

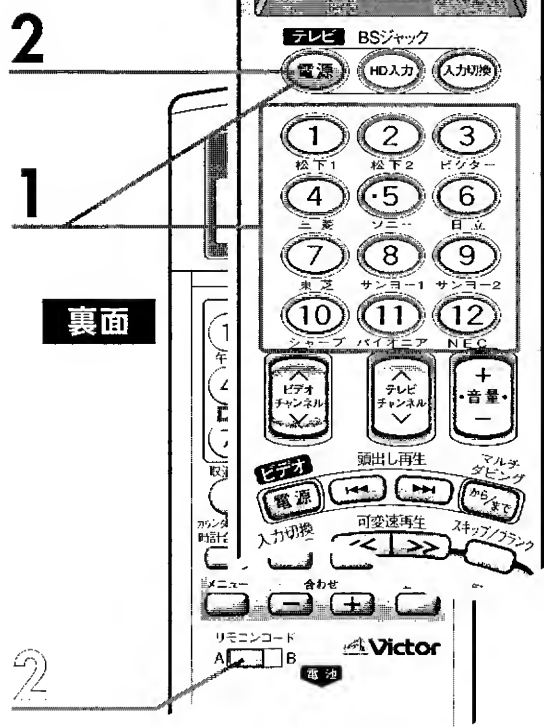
●W-VHSテープ使用時、録画チャンネルによってHD録画するかSD録画するかを自動判別します。
本機背面のHD入力端子に信号が入力されるとHD録画します。
●入力切換ボタンで「入力HD」を選んだときは、自動的にHD録画します。
●通常は、自動HD録画スイッチを「入」にします。

使用テープ ＼ 録画チャンネル	テレビチャンネル(1〜91ch)	BSチャンネル	外部入力 L1,L2,L3,L4	外部入力 HD
W-VHSテープ	自動的にSD録画します。(ビクターまたは松下のハイビジョンテレビと接続している場合、BSのハイビジョン番組は自動的にHD録画します。)			自動的にHD録画します。
S-VHS/VHSテープ	自動HD録画スイッチの入/切に関係なく、S-VHSまたはVHS録画します。			HD入力は選択できません。

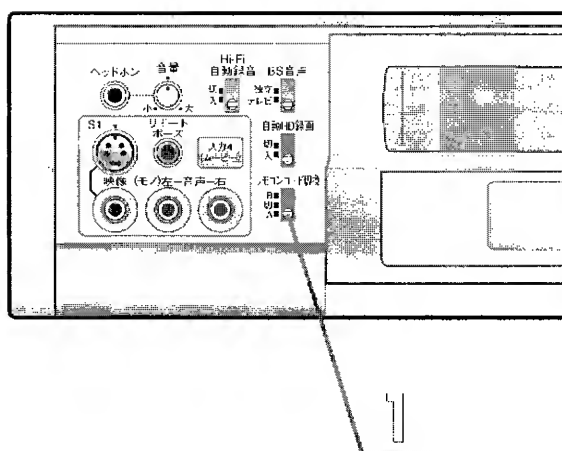
■ビクターのハイビジョンテレビと接続し、BSのハイビジョン番組をSD録画したいときは、自動HD録画スイッチを「切」にします。詳しくは 30 ページをご覧ください。

■BSのハイビジョン番組をHD録画するためには、下のどちらかの機器が必要になります。

●MUSEデコーダー
●MUSEデコーダー内蔵HD映像出力端子付ハイビジョンテレビ

■BSのハイビジョン番組をSD録画するためには、下のどちらかの機器が必要になります。

●MUSE-NTSCコンバーター
●MUSE-NTSCコンバーター内蔵テレビ

表面

本体左側

ビクター以外のテレビを操作する

TVマルチブランド対応

国内メーカー10社のテレビ操作（電源の入/切、チャンネル、音量、入力切換、HD入力切換／BSジャック切換）ができます。
ご購入時は、「ビクター」の指定になっています。

準備 テレビの主電源を「入」にしてください。

1 リモコンの**テレビ電源ボタン**を押しながら、**メーカー指定ボタン**を押す

●松下1、サンヨー1で動作しないときは2を設定してください。

2 **テレビ電源ボタン**を押し、テレビの電源が入/切するか確認する

●テレビのチャンネル、音量、入力切換、HD入力（ハイビジョンテレビをお持ちの場合）も操作できるか確認してください。
●HD入力／BSジャックボタンについて
テレビをHD入力画面にするときに、入力切換ボタンで選べないかたは、HD入力ボタンで選んでください。ビクターのハイビジョンテレビの場合は、入力切換ボタンで選べます。
●ビクターのハイビジョンテレビをお持ちのかたのみ、HD入力ボタンはBSジャックボタンとして使用できます。BSジャック機能については、ハイビジョンテレビの取扱説明書をご覧ください。

●まちがえたときは、もう一度設定し直してください。
●電池交換後、リモコン表示窓が 0:00 で点滅するときは、テレビのメーカー指定をやり直してください。
●テレビによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。
●リモコンのフタの裏側に「テレビメーカーの合わせ方」を載せていますので、ご利用ください。

本機のリモコンで2台のビクタービデオを操作する

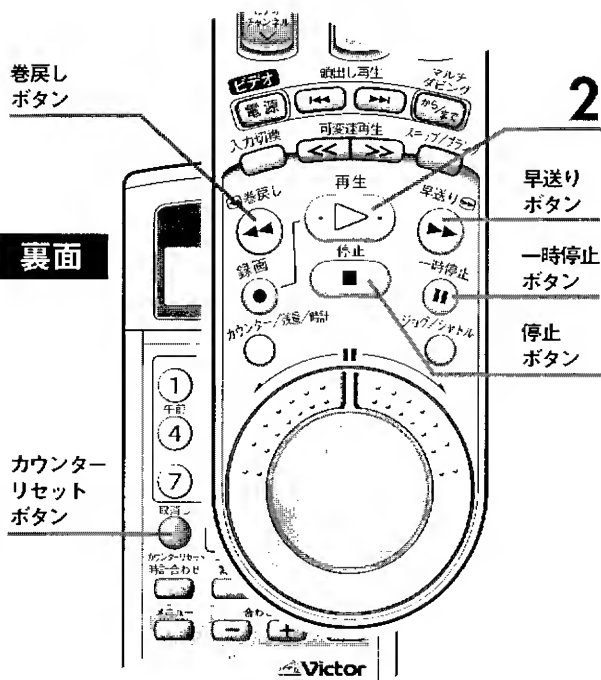
リモコンコード切換

ご購入時は、本体のリモコンコードが「A」になっていますので、リモコンも「Aコード」でお使いください。
2台のビクタービデオをお使いになるときは、それぞれのリモコンコードを別のコード（A、B）にしてください。ビデオ操作するときに、2台が同時に同じ動きをすることはありません。

1 ビデオ本体の**リモコンコード切換スイッチ**が**A**の場合

2 リモコンの**リモコンコード切換スイッチ**も**A**にする

■Bコードにする場合は、本体もリモコンもBコードにします。
■リモコンで操作させたくないときは、本体のリモコンコード切換スイッチを「切」にしてください。

ビデオテープを再生する

再生する

準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

テレビ画面

本体表示窓

1 テープを入れる
- 電源が入ります。
- つめのないテープを入れると、自動的に再生を始めます。

再生

2 **再生ボタン**を押す
- 再生が始まります。

■再生をやめるときは、停止ボタンを押します。

画像を見ながら早送り/巻戻し再生をする

再生中に、**早送りボタン**または**巻戻しボタン**をポンと押す
- 画像を見ながら早送り/巻戻し再生ができます。
- 通常の再生に戻すには、再生ボタンを押します。
- 早送りボタンまたは巻戻しボタンを2秒以上押し続けると、押している間、早送り/巻戻し再生され、指を離すと通常の再生に戻ります。

- 再生中や早送り中にテープがなくなると、自動的に巻き戻します。(オートリワインド)
- カウンターを0.00.00にするときは、カウンターリセットボタンを押します。(カウンターリセット)

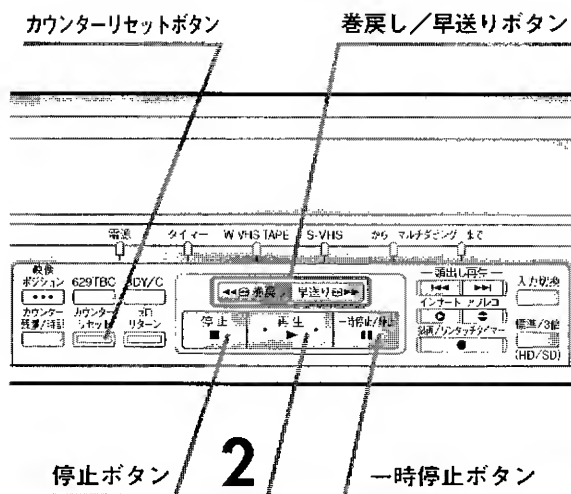
静止画再生/コマ送り/スロー再生をする

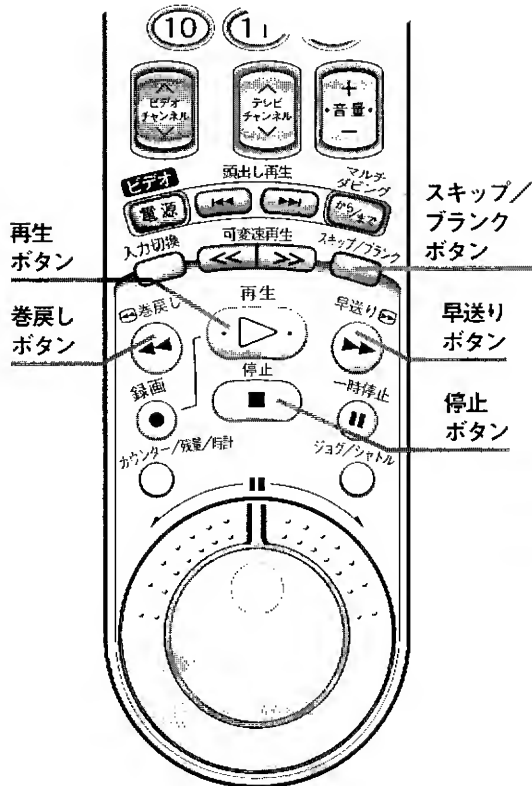
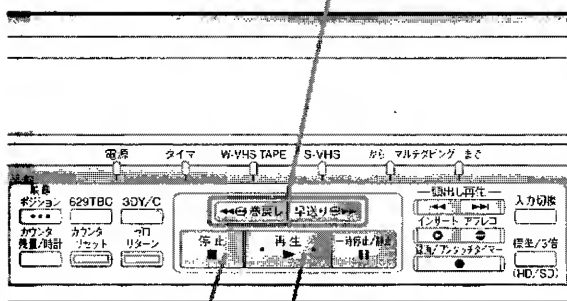
再生中に、**一時停止ボタン**を押す
- 静止画再生になります。

再生中に、**一時停止ボタン**を1回ずつ押す
- 押すごとに、1コマずつ進みます。

再生中に、**一時停止ボタン**を2秒以上押す
- 1/6倍速でスロー再生します。

■通常の再生に戻すには、再生ボタンを押します。

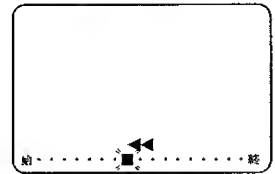
ドア内中央

- 静止画再生、スロー再生を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため、自動的に停止します。
- 静止画再生またはスロー再生中にノイズが出るときは、トラッキング調節を行ってください。(99ページ参照)調節してもノイズが消えないことがありますが故障ではありません。
- HDモードのコマ送り再生、スロー再生では画像が乱れます。また、スロー再生中に画像が動かないときは、合わせーまたは+ボタンで動くように調節してください。

表面

ドア内中央

巻戻し/早送りする

停止中に操作します。

巻戻しボタンを押す

早送りボタンを押す

●巻戻し/早送り中は、テレビ画面に現在のテープ位置を表示します。

■巻戻し/早送りをやめるときは、**停止ボタン**を押します。

巻戻し/早送り中の画像を確認する　オープンサーチ

巻戻し/早送り中に操作します。

巻戻し中のときは 巻戻しボタンを押し続ける

早送り中のときは 早送りボタンを押し続ける

●押している間、巻戻し／早送り再生で画像が確認できます。
●指を離すと、もとの巻戻し/早送りに戻ります。

CMを飛ばす　CMスキップサーチ

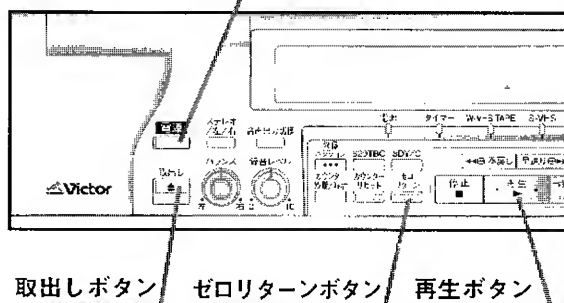
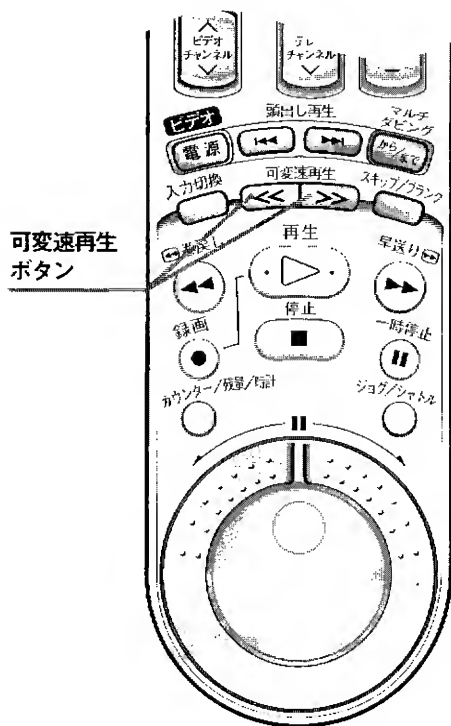
再生中に、30秒単位で2分間ぶんまでの早送り再生ができます。

再生中に、リモコンの**スキップ/ブランクボタン**を必要な回数だけ押す

1 回 ──→ 2 回 ──→ 3 回 ──→ 4 回
(30秒ぶん)　(1分ぶん)　(1分30秒ぶん)　(2分ぶん)

●早送り再生中に再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

ドア内左側

表面

カウンター0:00:00の位置を呼び出す
ゼロリターン

停止中に、本体の**ゼロリターンボタン**を押す

●自動的にカウンター0:00:00の位置で停止します。

■カウンター0:00:00の位置から、自動的に再生したいときは
ゼロリターンボタンを押し、2秒以内に再生ボタンを押します。

■カウンター0:00:00の位置で、自動的にカセットを出したいときは
ゼロリターンボタンを押し、2秒以内に取出しボタンを押します。

■カウンター0:00:00の位置で、自動的に電源を切るには
ゼロリターンボタンを押し、2秒以内に電源ボタンを押します。

■カウンター0:00:00の位置で、自動的にタイマースタンバイにするには
ゼロリターンボタンを押し、2秒以内にタイマーボタンを押します。

可変速再生ボタンを使って再生スピードを変える
可変速再生

再生または静止画再生中に、
リモコンの**可変速再生ボタン**を押して
再生スピードを変える

●押すごとにスピードが早くなり、逆方向のボタンを押すと静止画再生になります。
●シャトルリングによる操作とは異なり、固定したスピードで再生します。

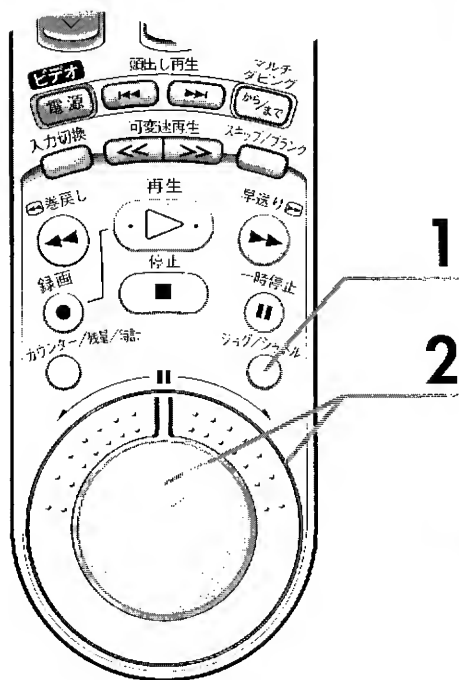
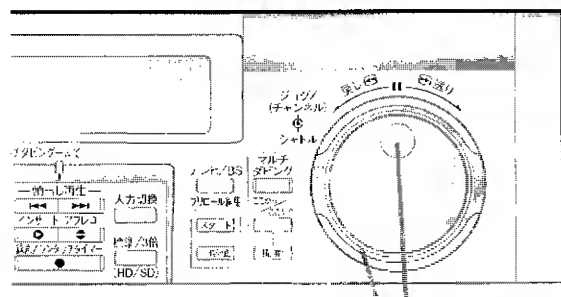
リモコンの可変速再生ボタン使用時の再生スピード

		← 逆方向																		正方向 →						
		巻戻し再生					逆転再生	逆転スロー再生					静止画再生		正転スロー再生					通常再生	早送り再生					
S-VHS/VHSテープ使用時	標準		-11	-7	-5	-3	-1	-1/6	-1/12	-1/18	-1/24	-1/30	0	0	1/30	1/24	1/18	1/12	1/6	1	2	3	5	7	11	
S-VHS/VHSテープ使用時	3倍	-31	-21	-15	-7	-3	-1	-1/6	-1/12	-1/18	-1/24	-1/30	0	0	1/30	1/24	1/18	1/12	1/6	1	2	3	7	15	21	31

		← 逆方向																		正方向 →						
		巻戻し再生					逆転再生	逆転スロー再生					静止画再生		正転スロー再生					通常再生	早送り再生					
W-VHSテープ使用時	HD		-11	-7	-5	-3	-1	-1/6	-1/8.5	-1/11	-1/13.5	-1/16	0	0	1/30	1/24	1/18	1/12	1/6	1	3	5	7	11		
W-VHSテープ使用時	SD	-30	-20	-14	-6	-2	-1	-1/6	-1/12	-1/18	-1/24	-1/30	0	0	1/30	1/24	1/18	1/12	1/6	1	4	6	14	20	30	

表面

ドア内右側

メモ

●HD/SDモードの特殊再生の場合、再生スピードが切り換わる部分で画像が乱れます。
●HD/SDモードの高速サーチでは画面が縮み、上下にノイズが出ることがあります。
●HDモードのコマ送り再生、スロー再生では画像が乱れます。また、スロー再生中に画像が動かないときは、合わせーまたは十ボタンで動くように調節してください。
●HDモードの逆転スロー再生のみ、2コマずつ送られます。
●HD/SDモードの静止画再生状態から再生ボタンを押したとき、通常再生になるまで数秒かかることがあります。
以上のようなことは本機の性能であり、故障ではありません。

●リモコンのジョグ／シャトルボタンについて
ジョグダイヤル／シャトルリングを操作するときは、ジョグ／シャトルボタンを押してランプを点灯させます。
もう一度押すとランプは消えます。約1分以内に次の操作をしないとランプは自動的に消えます。
●コマ送り再生、可変速再生中は音声が出ません。
●静止画再生、スロー再生を5分以上続けると、テープ保護のため自動的に停止します。

ジョグダイヤルを使ってコマ送り再生する

1 リモコンの**ジョグ／シャトルボタン**を押してランプを点灯させる
●本体で操作するときは必要ありません。

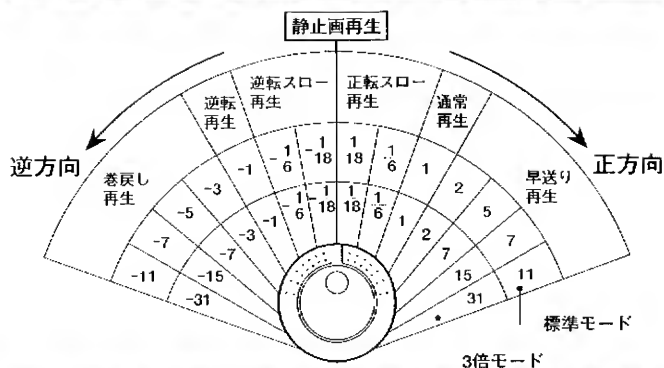
2 再生または静止画再生中に、**ジョグダイヤル**を回してコマ送り再生する
●ジョグダイヤルの動きを止めると、静止画再生になります。

停止中に、本体のジョグダイヤルを回すと、ビデオのチャンネル切り換えができます。

シャトルリングを使って再生スピードを変える

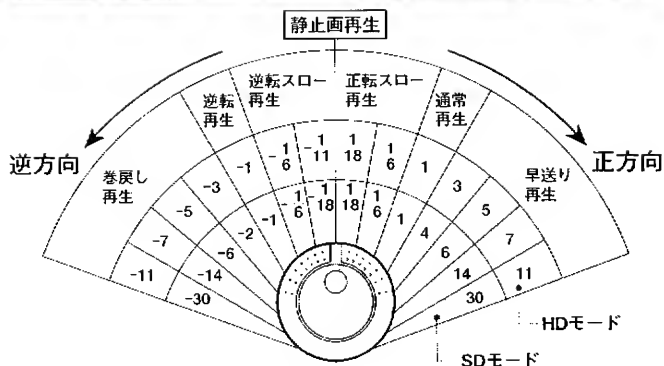
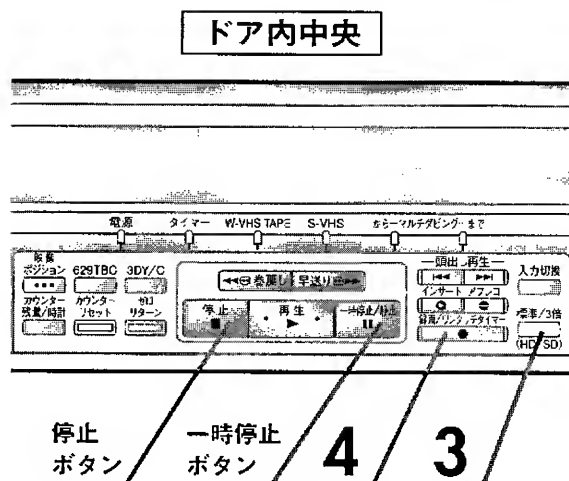
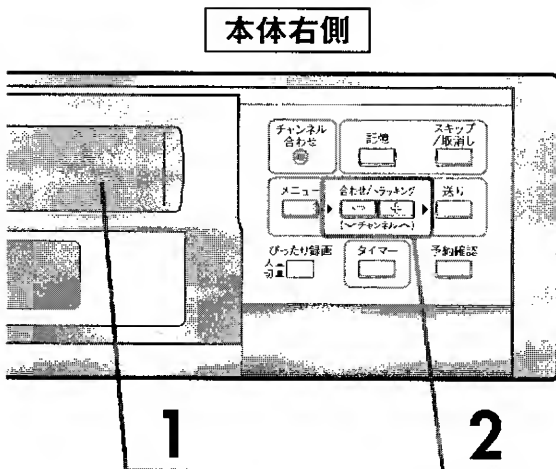
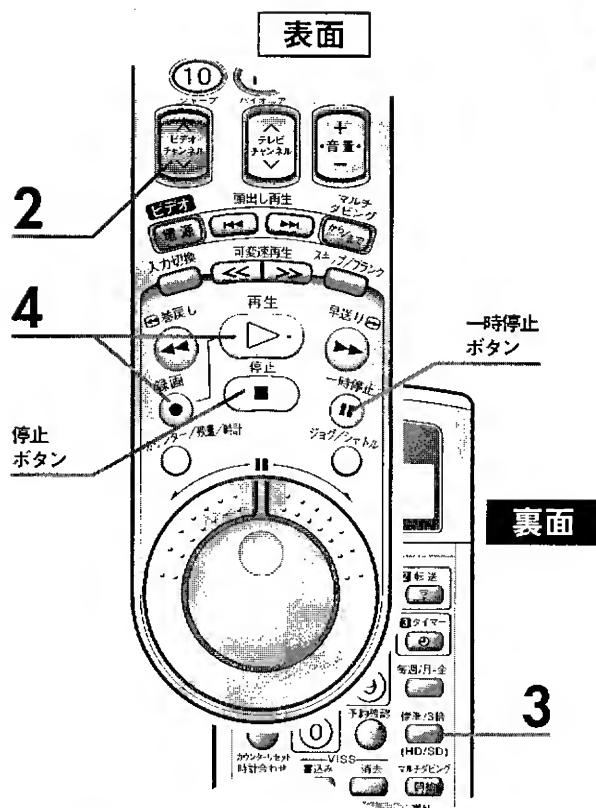
1 リモコンの**ジョグ／シャトルボタン**を押してランプを点灯させる
●本体で操作するときは必要ありません。

2 再生または静止画再生中に、**シャトルリング**を回して再生スピードを変える
●シャトルリングから手を離すと、静止画再生になります。

S-VHS/VHSテープ使用時の再生スピード

W-VHSテープ使用時の再生スピード

表面

本体右側

ドア内中央

録画する

準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

テレビ画面

本体表示窓

1 つめのついたテープを入れる

●自動的に電源が入ります。

6CH

2 ビデオチャンネルボタンでチャンネルを選ぶ

●本体のジョグダイヤルでも選べます。

3倍

3 標準/3倍ボタンで録画スピードを選ぶ

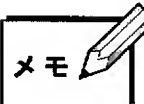
●標準……画質を重視するとき
●3倍……3倍長く録画するとき

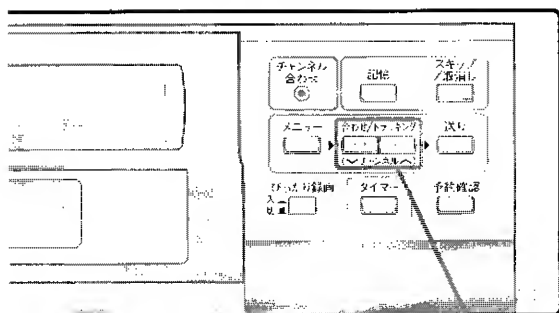
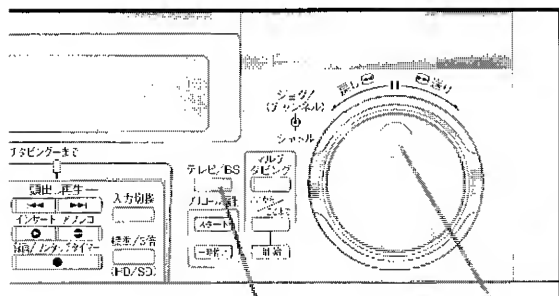
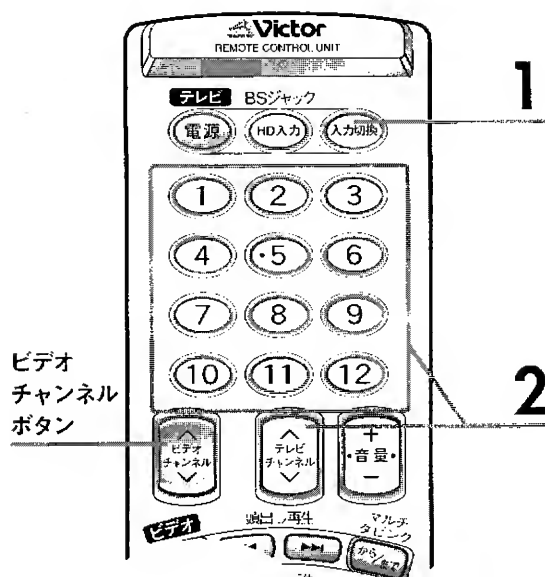
4 録画ボタンを押しながら、再生ボタンを押す

●本体の場合は録画ボタンを押します。
●録画を始めます。

■録画を一時的にやめるときは、一時停止ボタンを押します。
●再生ボタンで、また録画を始めます。

■録画をやめるときは、停止ボタンを押します。

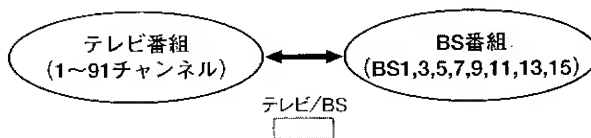
つめのないテープには録画できません。

●録画を始めると自動的に頭出し信号を書き込みます。番組の頭出しに使用します。（94 ページ参照）
●テープがなくなると、自動的に巻き戻します。
●録画一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止状態になります。
●録画一時停止中は、本体のジョグダイヤルでビデオのチャンネル切り換えはできません。ビデオチャンネルボタンで切り換えてください。
●本機の3倍モードで録画したカセットテープは、標準モード専用のVHSビデオでは再生できません。
●大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
●万一本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

本体右側

ドア内右側

表面

録画するビデオチャンネルの選びかた

ビデオチャンネルボタンで選ぶ

●ビデオチャンネル∧ボタンを押すごとに

→1→2→3→ ……… →BS1→BS3→ ……… →BS15

●ビデオチャンネル∨ボタンを押すと戻ります。
●停止中に、本体のジョグダイヤルを回して、ビデオチャンネルを切り換えることもできます。
●BSチャンネルを素早く呼び出したいときは、本体のテレビ／BSボタンを押します。

押すたびに交互に切り換わります。

●リモコンの数字ボタン（表面の12ボタン／裏面の10ボタン）では、ビデオチャンネルの切り換えはできません。

テレビ／BS番組を録画中に、別のテレビ／BS番組を見る

準備

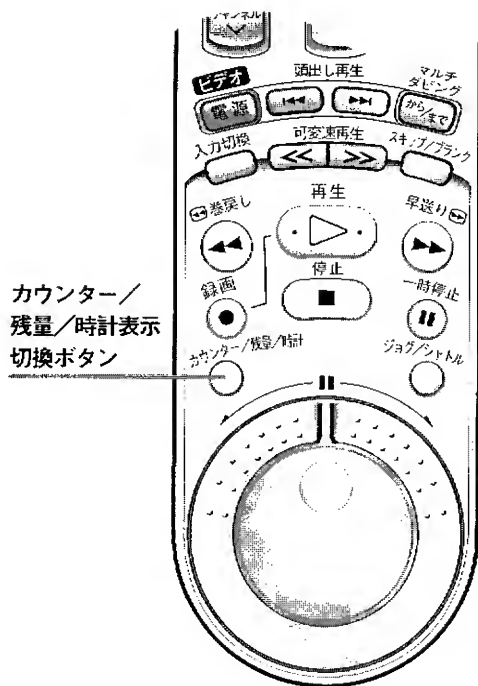
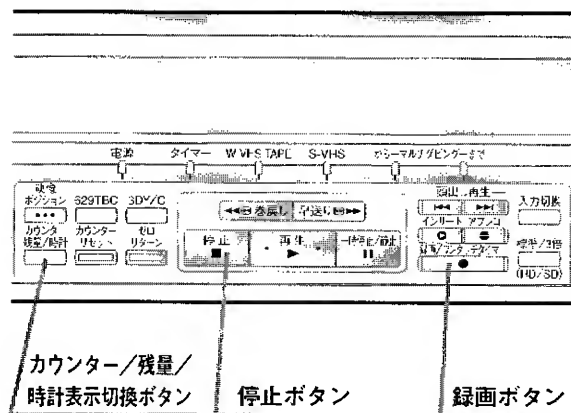
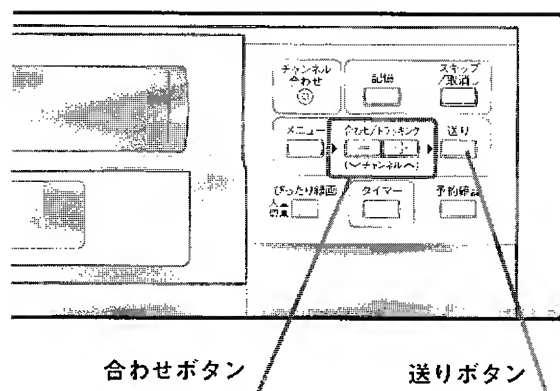
●テレビのメーカー設定（TVマルチブランド設定）をしていないかたは、77 ページをご覧いただき設定してください。
●付属のリモコンでテレビが操作できないときは、テレビに付属されているリモコンで操作してください。

1 録画中に、テレビの入力切換を「ビデオ」から「テレビ」にする

2 テレビのチャンネルを見たい番組にする

●録画には影響しません。

●テレビにBSチューナーが内蔵されていない場合、次のようなことはできません。
・テレビ番組を録画中に、BS番組は見れません。
・BS番組を録画中に、別のBS番組は見れません。
●VHF/UHF放送番組をテレビ番組と説明しています。
●衛星放送番組をBS番組と説明しています。

表面

ドア内中央

本体右側

テープの残り時間を調べる　テープ残量

録画中または再生中に、
カウンター/残量/時計表示切換ボタンを押す

テレビ画面
標準
残量　1：35

●ボタンを押すごとに、下のように変わります。

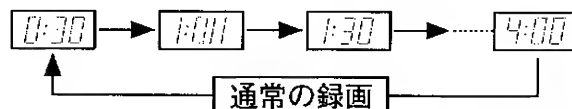
→テープ残量表示 → 時計表示 → カウンター表示 →

●表示している録画スピード（標準/3倍またはHD/SD）で計算します。

●残量時間は目安です。
●使用するカセットによっては、残量表示に時間がかかったり、正しい残量を表示しないことがあります。
●残量計算中は「--：--」表示または、残量表示が点滅することがあります。
●テープのスピードは、HDモードは標準モード、SDモードは3倍モードに相当します。

録画中に録画時間を設定し、自動的にビデオの電源を切る　ワンタッチタイマー録画

録画中に、もう一度本体の**録画ボタン**を押す

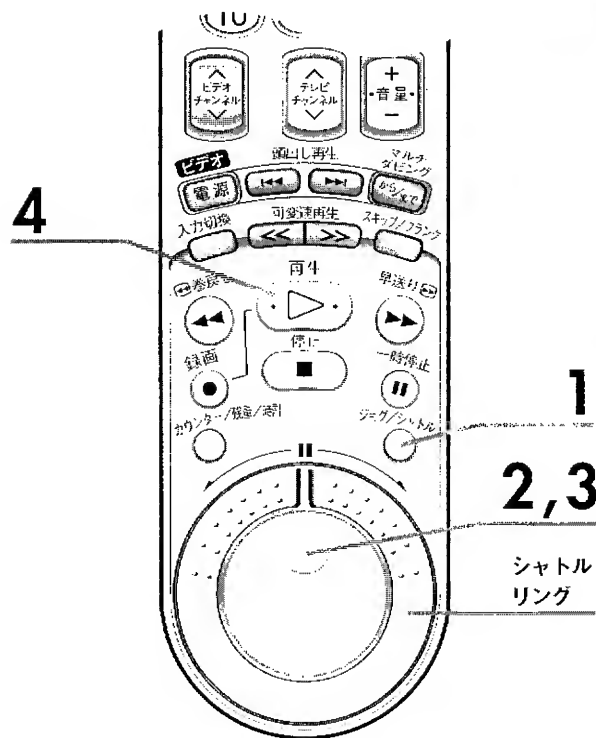
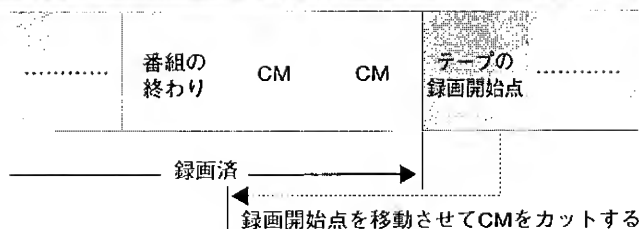
●録画ボタンを押すたびに、30分刻みで4時間まで設定できます。

●表示された時間だけ録画したあと、自動的に電源が切れます。
●ワンタッチタイマー録画中でも録画ボタンを押すと録画時間を変更できます。

本体表示窓

■ワンタッチタイマー録画を途中でやめるには、停止ボタンを押します。

リモコンの録画ボタンではワンタッチタイマー録画はできません。

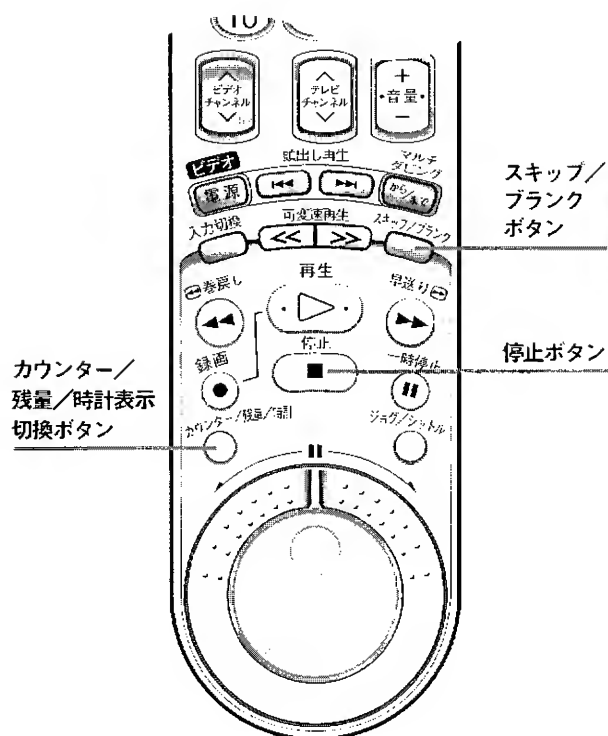
●分刻みで合わせるときは
（例）1時間50分にする
① OTR 表示中に、送りボタンを押します。
（以後10秒以内に次の操作をします。）
② 合わせボタンで1（時間）にします。
③ 送りボタンを押します。
④ 合わせボタンで50（分）にします。
⑤ 送りボタンを押します。（設定終了）
・最大10時間59分まで設定できます。
●ワンタッチタイマー録画中にテープがなくなると、自動的にテープが出て電源が切れます。

W-VHSテープ使用時、リテイク機能は働きません。

録画中に不要な部分をカットし続けて録画する
リテイク機能

準備 CM中に録画一時停止にします。

1 リモコンの**ジョグ/シャトルボタン**を押す
- ●ランプが点灯します。
- ●本体で操作するときは必要ありません。

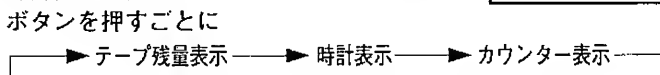
2 録画一時停止状態から
ジョグダイヤルで番組の終わりを探す
- ●シャトルリングも使用できます。

3 終わりが見つかったら手を離す
- ●静止画再生のあと録画一時停止状態になります。

4 録画したい場面で**再生ボタン**を押す
- ●録画を始めます。

巻戻し（または早送り）ボタンでも操作できます。
①録画一時停止状態から、巻戻し（または早送り）ボタンを押し続けると、正逆１倍速でテープを再生します。
②頭出ししたい場面で手を離すと、録画一時停止状態になります。
③録画したい場面で再生ボタンを押すと、録画を始めます。

録画していない部分を探す
ブランクサーチ

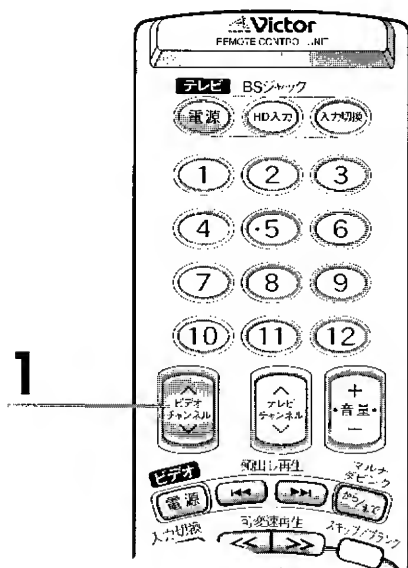
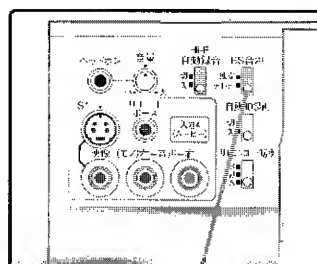
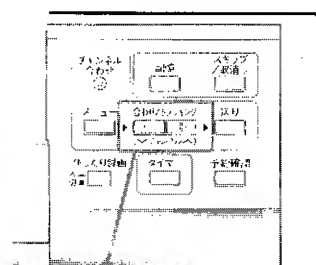
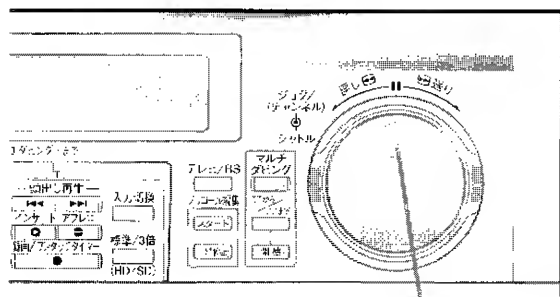
停止状態で、リモコンの
スキップ/ブランクボタンを押す
- ●未録画部分を探して停止します。
- ●テープ残量を表示します。
- ●表示を戻すときは、カウンター/残量/時計表示切換ボタンを押します。
ボタンを押すごとに
→テープ残量表示→時計表示→カウンター表示

テレビ画面
ブランクサーチ

■途中でやめるときは、停止ボタンを押します。

ブランクサーチ終了後、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。

衛星放送を見る

WOWOW, St.GIGAを視聴するにはBSデコーダーが必要です。放送局との所定の手続きを行ってください。

表面

本体左側

本体右側

ドア内右側

WOWOWを見る

準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

テレビ画面

デコーダ入力　L2◀BS 5CH

本体表示窓

●スクランブル放送受信時

1 **ビデオチャンネルボタンでWOWOWを選ぶ**

●本体のジョグダイヤルでも選べます。
●ビデオチャンネル切換時、スクランブル放送を受信すると、テレビ画面に「デコーダ入力」と「L2◀ BS 5CH」を約5秒間表示します。

2 本体の **BS音声スイッチをテレビにする**

●ご購入時は、「テレビ」側になっています。

3 WOWOWの音声が聞こえないときは、BSデコーダーの **音声選択ボタンを押してテレビにする**

●スクランブル放送時に二カ国語放送を聞く場合は、BSデコーダーの音声選択ボタンで聞きたい音声を選んでください。

メモ

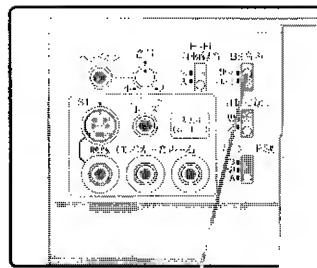
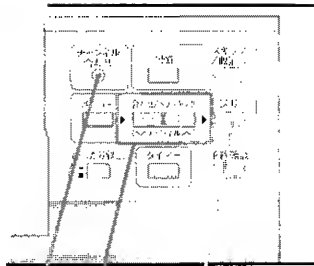
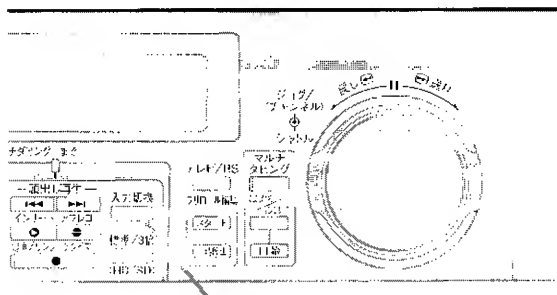
●BSデコーダーの取扱説明書もお読みください。
●WOWOWを見る場合は、本機とBSデコーダーのBS音声スイッチを両方とも「テレビ」にしてください。

本体左側

2

本体右側

ドア内右側

●BSデコーダーの取扱説明書もお読みください。
●St.GIGAを聞く場合は、本機とBSデコーダーのBS音声スイッチを両方とも「独立」にしてください。
●独立音声放送がないときに「独立」の位置にすると、音声は出ません。
●St.GIGA放送時、放送局と契約していない場合は音声が聞こえません。
●WOWOWの画面が乱れていても、独立音声は正常に録音できます。

St.GIGAを聞く

準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

テレビ画面

デコーダ入力　L2◀BS 5CH

1 **ビデオチャンネルボタン**でSt.GIGAを選ぶ

●本体のジョグダイヤルでも選べます。
●ビデオチャンネル切換時、スクランブル放送を受信すると、テレビ画面に「デコーダ入力」と「L2◀BS 5CH」を約5秒間表示します。

本体表示窓

●スクランブル放送受信時

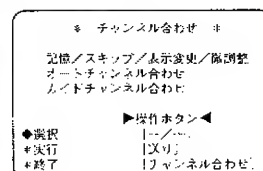
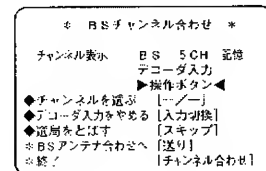
2 本体の**BS音声スイッチ**を**独立**にする

●独立音声が聞こえます。

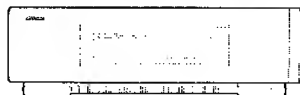
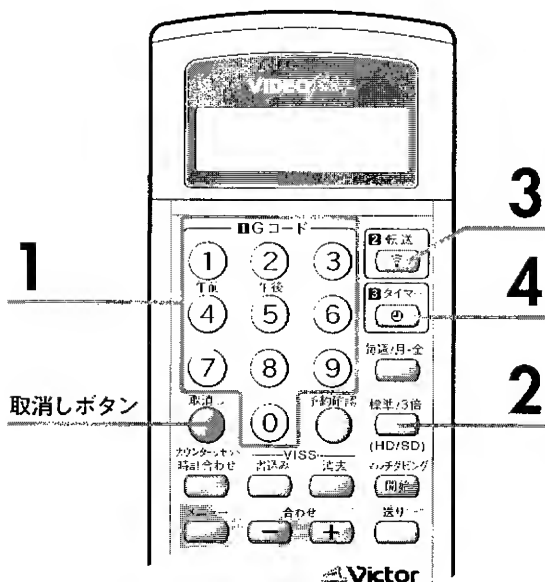
3 独立音声が聞こえないときは、BSデコーダーの**音声選択ボタン**を押して**独立**にする

●スクランブル放送時に二カ国語放送を聞く場合は、BSデコーダーの音声選択ボタンで聞きたい音声を選んでください。

St.GIGAに加入している方は、録音時の音途切れを防ぐため、下の設定をしてください。本体側で操作します。
①ビデオチャンネルボタンで、St.GIGAを選びます。
②チャンネル合わせボタンを押します。
・チャンネル合わせ画面を表示します。
③送りボタンを押します。
・BSチャンネル合わせ画面を表示します。
④入力切換ボタンを押します。
・「デコーダ入力」を表示します。
⑤チャンネル合わせボタンを押します。
・設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

②の画面

③、④の画面

●ノンスクランブル放送時もBSデコーダーを経由するため、St.GIGA録音中はBSデコーダーの電源を切らないでください。

タイマー予約［Gコード予約］

番組予約番号Gコードは新聞・雑誌等のテレビ欄に掲載されています。

Gコードを使ってタイマー予約する

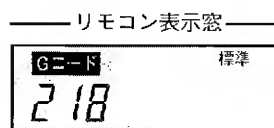
リモコンにGコードを入れ、本体へ転送します。
本体では1ヵ月先まで8つの番組が予約できます。

例　左のテレビ欄の午後7時から7時30分の番組を3倍モードで予約します。

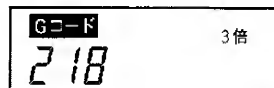
準備
① 本体表示窓の現在時刻を確認します。
② つめあり（またはREC側にある）テープを入れます。（73 ページ参照）
③ リモコンの時計合わせをします。（64 ページ参照）
④ 本体のガイドチャンネル設定をします。（66 ページ参照）
⑤ 新聞や雑誌などを用意してください。

1　Gコード（番組予約番号）の入力
数字ボタンを押す

●間違えて入力したときは取消しボタンを押し、もう一度数字ボタンを押してください。

リモコン表示窓
Gコード　標準
218

2　録画スピードを選ぶ
標準/3倍ボタンを押す

Gコード　3倍
218

●W-VHSテープ使用時は、録画するチャンネルによって自動的に録画スピードを設定するため、操作不要です。（76 ページ参照）

3　Gコードを本体へ転送する
転送ボタンを押す

本体表示窓
●本体が正しく受け取ると、本体表示窓に予約内容を10秒間表示します。

メモ
●リモコンには1番組しか入力できません。
●2つ以上予約するときは、1～3の操作を繰り返します。
●Gコード転送時、本体表示窓に「Err」、「Full」が表示されたときは 121 ページをご覧ください。

タイマー（TIMER）ランプ

4　タイマースタンバイにする
タイマーボタンを押す

●本体のタイマーランプが点灯し、電源が切れます。
●タイマーランプが点滅するときは 121 ページをご覧ください。

メモ
●リモコン表示窓に"Error"を表示したら
　① 番組の開始時刻が過ぎている
　② Gコードの入力が正しくないとき
　　（数字ボタンで再度Gコードを入力してください。）
●Gコード予約の場合、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。開始/終了時刻を変更したいときは、右ページをご覧ください。
●本体へ転送した予約の確認／取消しをするときは 92 ページをご覧ください。
●HD/SDモードでタイマー録画する場合、録画開始時に映像が乱れることがありますので、開始時刻の約4秒前から録画を始めます。

裏面

リモコンからGコードを転送後、予約の開始/終了時刻を細かく変更する

準備 本体のタイマーランプが点灯しているときは、タイマーボタンを押してランプを消灯させます。

1 予約確認ボタンを押す

●予約リスト画面を表示します。

テレビ画面

```
*予約リスト* 12月24日 [日] 午前 7:30
  24日 午後 7:00~ 7:30   10  3倍
☞24日 午後 9:00~10:54    8  3倍
  25日 午前 1:00~ 2:00BS 5  標準

選択[−/+]  変更[送り]  終了[予約確認]
```

2 合わせ−/+ボタンを押し、変更したいプログラムに「☞」マークを移動させる

3 送りボタンを押し、変更したい項目に点滅を移動させる

```
*予約変更* 12月24日 [日] 午前 7:30

   予約番号   2
   日　　付   12月24日 日曜
   開始時刻   午後 9:00から
   終了時刻   午後10:54まで
  チャンネル     6
  録画スピード   3倍 [SD]
▶操作ボタン◀
 変更[−/+]  移動[送り]  終了[予約確認]
```

4 合わせ−/+ボタンで変更する

●押し続けると30分刻み、1回ずつ押すと1分刻みで変わります。

5 タイマーボタンを押し、タイマースタンバイにする

●本体のタイマーランプが点灯し、電源が切れます。

毎週または月~金曜日の同じ時間の番組を予約するには

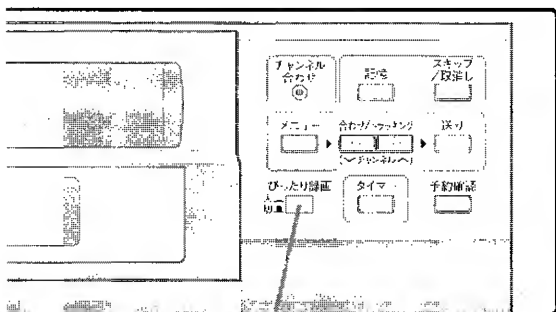
左ページの2の操作後
毎週/月-金ボタンを1回押す→毎週予約
毎週/月-金ボタンを2回押す→月~金曜日の予約
毎週/月-金ボタンを3回押す→元に戻ります

本体右側

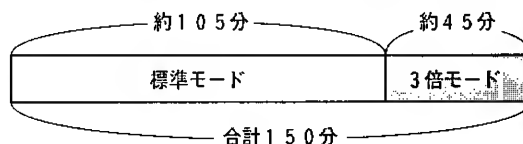
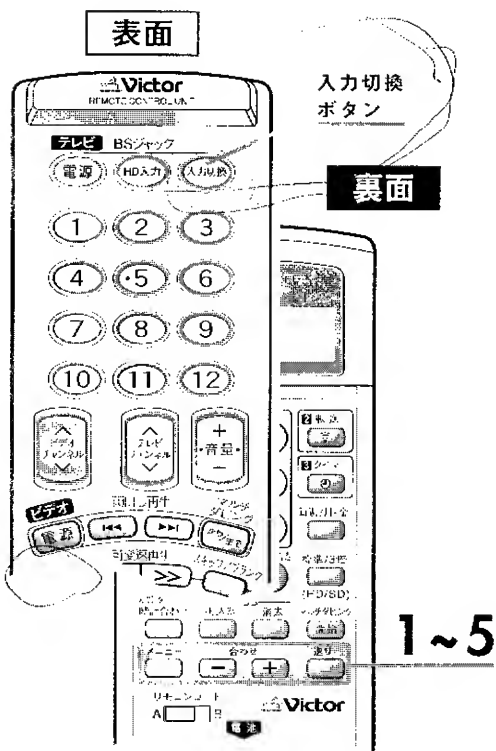
録画切れを防ぐには　ぴったり録画

標準モードでタイマー録画中にテープが不足する場合、途中で自動的に3倍モードに切り換わり、録画切れを防ぎます。
2時間以上の番組を1本のテープに収めたいときに便利です。

1 ぴったり録画スイッチを入にする

[例] ぴったり録画スイッチを「入」にして、150分の番組を120分(T-120)テープでタイマー録画した場合

●2つ以上の番組を予約した場合、2番目以降の番組が録画できないことがあります。このようなときは、標準または3倍の設定をして予約してください。
●T−30、T−60、T−90、T−120以外のビデオテープ使用時は正しく動作しません。
●W-VHSテープ使用時、ぴったり録画は働きません。
●再生時、標準から3倍に切り換わる部分で多少ノイズが出ます。
●多少テープが残ることがあります。
●ワンタッチタイマー録画時、ぴったり録画は働きません。

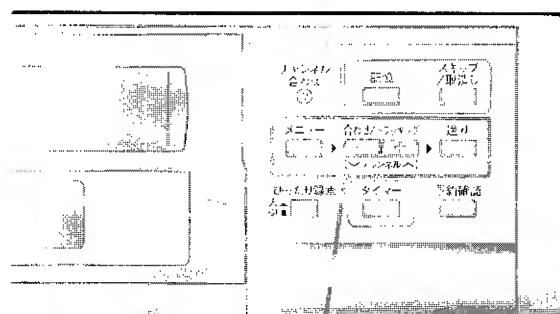
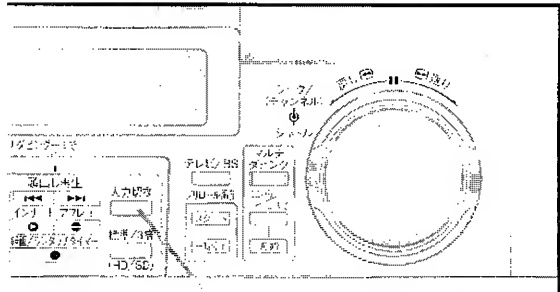
タイマー予約［通常予約］

表面

入力切換ボタン

裏面

1~5

本体右側

1~5

ドア内右側

入力切換ボタン

メニュー画面を使ってタイマー予約する

例 12月24日、午後9時から10時54分まで、BS 5チャンネルを3倍モードで予約します。

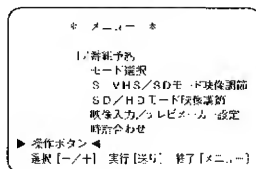
準備
①テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。
② 本体表示窓の現在時刻を確認します。
③ つめあり（またはREC側にある）テープを入れます。
（73ページ参照）

1 予約開始

1 メニューボタンを押す
●メニュー画面を表示します。

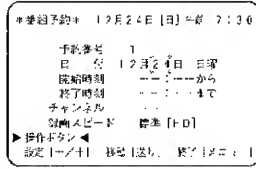
2 送りボタンを押す
●番組予約画面を表示します。
●今日の日付を入力する場合は2の**2**へ進みます。

テレビ画面

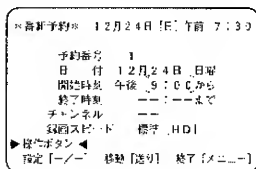
```
* メニュー *
1.番組予約
  モード選択
  S VHS/SDモード映像調節
  SD/HDモード映像調節
  映像入力/テレビメニュー設定
  時計合わせ
▶ 操作ボタン ◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］
```

2 日付の入力

1 合わせ－/＋ボタンを押す
●毎週/毎日予約をする場合は、右ページの下欄をご覧ください。

2 送りボタンを押す
●開始時刻に現在時刻を表示します。

```
*番組予約* 12月24日［日］午前 7:30
  予約番号 1
  日 付 12月24日 日曜
  開始時刻 --:--から
  終了時刻 --:--まで
  チャンネル --
  録画スピード 標準［HD］
▶ 操作ボタン ◀
設定［－/＋］ 移動［送り］ 終了［メニュー］
```

3 開始時刻の入力

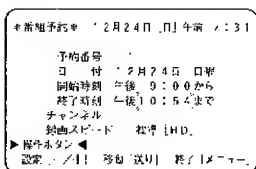
1 合わせ－/＋ボタンを押す
●押し続けると30分刻み、1回ずつ押すと1分刻みで変わります。

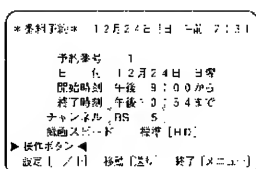
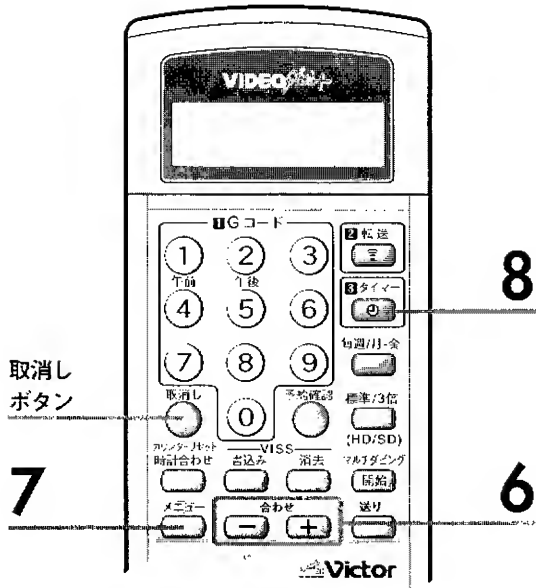
2 送りボタンを押す
●終了時刻に開始時刻を表示します。

```
*番組予約* 12月24日［日］午前 7:30
  予約番号 1
  日 付 12月24日 日曜
  開始時刻 午後 9:00から
  終了時刻 --:--まで
  チャンネル --
  録画スピード 標準［HD］
▶ 操作ボタン ◀
設定［－/＋］ 移動［送り］ 終了［メニュー］
```

4 終了時刻の入力

1 合わせ－/＋ボタンを押す
●押し続けると30分刻み、1回ずつ押すと1分刻みで変わります。

2 送りボタンを押す

```
*番組予約* 12月24日［日］午前 7:31
  予約番号 1
  日 付 12月24日 日曜
  開始時刻 午後 9:00から
  終了時刻 午後10:54まで
  チャンネル
  録画スピード 標準［HD］
▶ 操作ボタン ◀
設定［－/＋］ 移動［送り］ 終了［メニュー］
```

5 チャンネルの入力

1 合わせ－/＋ボタンを押す
●BS番組を予約するときは、合わせ－ボタンを押すと早く呼び出せます。
●外部入力予約をするときは、入力切換ボタンを押して接続した端子（入力1、入力2、入力3、入力4、入力HD）を選びます。

2 送りボタンを押す

```
*番組予約* 12月24日［日］午前 7:31
  予約番号 1
  日 付 12月24日 日曜
  開始時刻 午後 9:00から
  終了時刻 午後10:54まで
  チャンネル BS 5
  録画スピード 標準［HD］
▶ 操作ボタン ◀
設定［－/＋］ 移動［送り］ 終了［メニュー］
```

裏面

本体右側

6

録画スピードを選ぶ

合わせー/＋ボタンを押す

```
*番組予約*  12月24日[日]午前 7:31

        予約番号    1
        日  付  12月24日 日曜
        開始時刻  午後 9:00から
        終了時刻  午後10:54まで
      チャンネル  BS  5
      録画スピード   3倍[SD]
▶操作ボタン◀
 設定[ー/＋] 移動[送り]  終了[メニュー]
```

●W-VHSテープ使用時は、録画するチャンネルによって自動的に録画スピードを設定するため、操作不要です。
（76 ページ参照）

7

テレビ番組画面に戻す

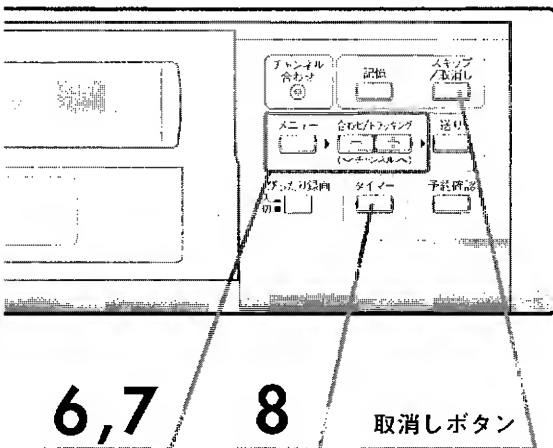
メニューボタンを押す

●２つ以上予約するときは、1~7の操作を繰り返します。

8

タイマースタンバイにする

タイマーボタンを押す

●本体のタイマーランプが点灯し、電源が切れます。
●タイマーランプが点滅するときは 121 ページをご覧ください。

●予約内容を取り消すときは、2~6の操作中に取消しボタンを押します。テレビ番組画面に戻すときは、メニューボタンを押します。
●7、8の操作後に取り消すときは、次のページをご覧ください。
●HD/SDモードでタイマー録画する場合、録画開始時に映像が乱れることがありますので、開始時刻の約４秒前から録画を始めます。

毎週または毎日、同じ時間の番組を予約するには

2の❶の操作で合わせ＋ボタンを押すごとに、日付の表示が下のように変わります。
合わせーボタンを押すと戻ります。

毎週予約の表示例

```
*番組予約*  12月24日[日]午前 7:30

      予約番号    1
      日  付  毎週日曜
      開始時刻    --:--から
      終了時刻    --:--まで
     チャンネル    --
     録画スピード   標準[HD]
▶操作ボタン◀
 設定[ー/＋] 移動[送り]  終了[メニュー]
```

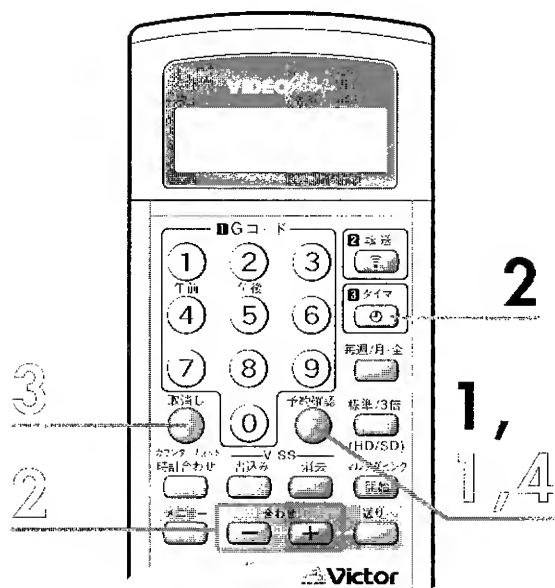
毎日予約の表示例

```
*番組予約*  12月24日[日]午前 7:30

      予約番号    1
      日  付  毎週日~土曜
      開始時刻    --:--から
      終了時刻    --:--まで
     チャンネル    --
     録画スピード   標準[HD]
▶操作ボタン◀
 設定[ー/＋] 移動[送り]  終了[メニュー]
```

日 付		毎週予約				毎日予約			
→1日→2日・・30日→31日	→	毎週日曜 →	毎週月曜 ・・	毎週金曜 →	毎週土曜 →	毎週日~土曜 →	毎週月~土曜 →	毎週月~金曜 →	毎週月~木曜 ─┐(先頭に戻る)

タイマー予約［確認／取消し／変更］

裏面

予約の確認をする

準備
①本体のタイマーランプが点灯しているときは、タイマーボタンを押してランプを消灯させます。
②テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

―――テレビ画面―――

```
＊予約リスト＊ 12月24日［日］午前 7:30
☞24日 午後 7:00～ 7:30 10 3倍
 24日 午後 9:00～10:54  8 3倍
 25日 午前 1:00～ 2:00BS 5 標準
選択［－／＋］ 変更［送り］ 終了［予約確認］
```

1 **予約確認ボタン**を押す

●予約リスト画面を表示します。
●録画予約実行順に並び変えて表示します。
●本体表示窓には、「☞」マークのあるプログラムを表示します。合わせ＋ボタンを押すごとに次のプログラムを表示します。

2 **タイマーボタン**を押し、タイマースタンバイにする

●本体のタイマーランプが点灯し、電源が切れます。

本体右側

予約の取消しをする

上の準備と同じ操作をしてください。

```
＊予約リスト＊ 12月24日［日］午前 7:30
 24日 午後 7:00～ 7:30 10 3倍
☞24日 午後 9:00～10:54  8 3倍
 25日 午前 1:00～ 2:00BS 5 標準
選択［－／＋］ 変更［送り］ 終了［予約確認］
```

1 **予約確認ボタン**を押す

●予約リスト画面を表示します。

2 **合わせ－／＋ボタン**を押し、取り消したいプログラムに「☞」マークを移動させる

```
＊予約リスト＊ 12月24日［日］午前 7:30
 24日 午後 7:00～ 7:30 10 3倍
☞--日 --:--～--:-- -- 標準
 25日 午前 1:00～ 2:00BS 5 標準
終了［予約確認］
```

3 **取消しボタン**を押す

4 **予約確認ボタン**を押し、テレビ番組画面に戻す

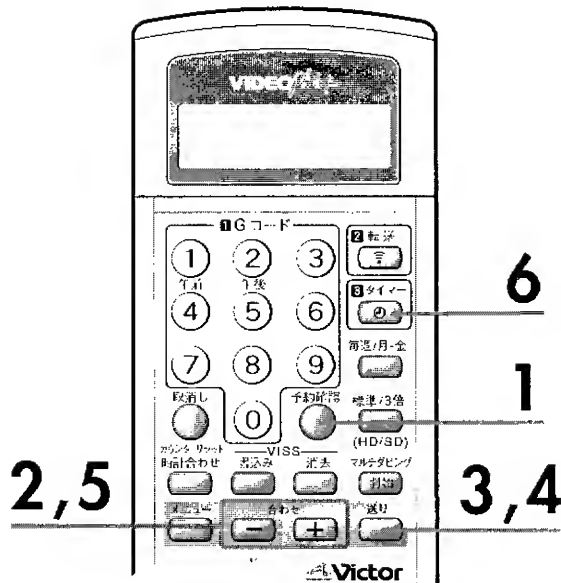
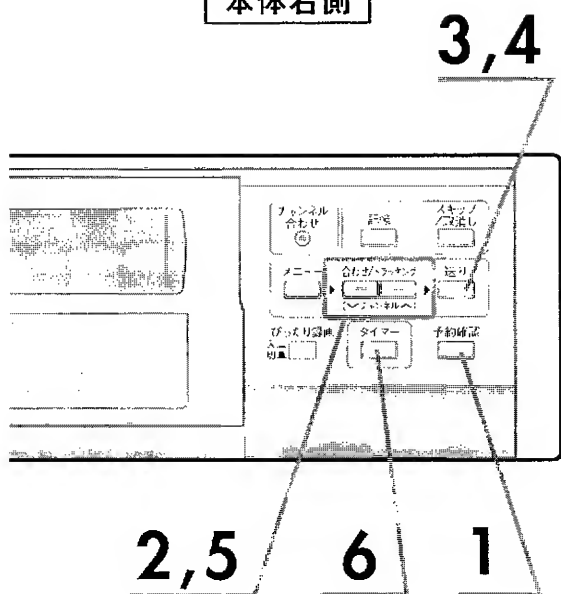
●タイマースタンバイにするときは、タイマーボタンを押し、タイマーランプを点灯させます。

メモ
●予約の確認／取消しは、ビデオ電源が切れている状態で、本体表示窓を見ながらでも操作できます。
ただし、本体のタイマーランプが点灯しているときは取消しできません。

裏面

本体右側

3,4

2,5　6　1

予約内容を変更する

準備
① 本体のタイマーランプが点灯しているときは、タイマーボタンを押してランプを消灯させます。
②テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

1 予約確認ボタンを押す

●予約リスト画面を表示します。

テレビ画面

＊予約リスト＊ 12月24日 [日] 午前 7:30
24日 午後 7:00～ 7:30 10 3倍
24日 午後 9:00～10:54 8 3倍
25日 午前 1:00～ 2:00BS 5 標準
選択［－/－］ 変更［送り］ 終了［予約確認］

2 合わせー／＋ボタンを押し、変更したいプログラムに「 」マークを移動させる

3 送りボタンを押す

●予約変更画面を表示し、開始時刻が点滅します。

＊予約変更＊ 12月24日 [日] 午前 7:30
予約番号 2
日　付 12月24日 日曜
開始時刻 午後 9:00から
終了時刻 午後10:54まで
チャンネル 8
録画スピード 3倍［SD］
▶操作ボタン◀
変更［－/＋］ 移動［送り］ 終了［予約確認］

4 送りボタンを押し、変更したい項目に点滅を移動させる

5 合わせー／＋ボタンで変更する

●開始／終了時刻を変更するときは、合わせー／＋ボタンを押し続けると30分刻み、1回ずつ押すと1分刻みで変わります。
●変更後、テレビ番組画面に戻したいときは、戻るまで予約確認ボタンを押します。

＊予約変更＊ 12月24日 [日] 午前 7:31
予約番号 2
日　付 12月24日 日曜
開始時刻 午後 9:00から
終了時刻 午後 1:54まで
チャンネル 8
録画スピード 3倍［SD］
▶操作ボタン◀
変更［－/＋］ 移動［送り］ 終了［予約確認］

6 タイマーボタンを押し、タイマースタンバイにする

●本体のタイマーランプが点灯し、電源が切れます。

●予約内容の変更は、ビデオ電源が切れている状態で、本体表示窓を見ながらでも操作できます。
ただし、本体のタイマーランプが点灯しているときは操作できません。

番組の頭出し

表面

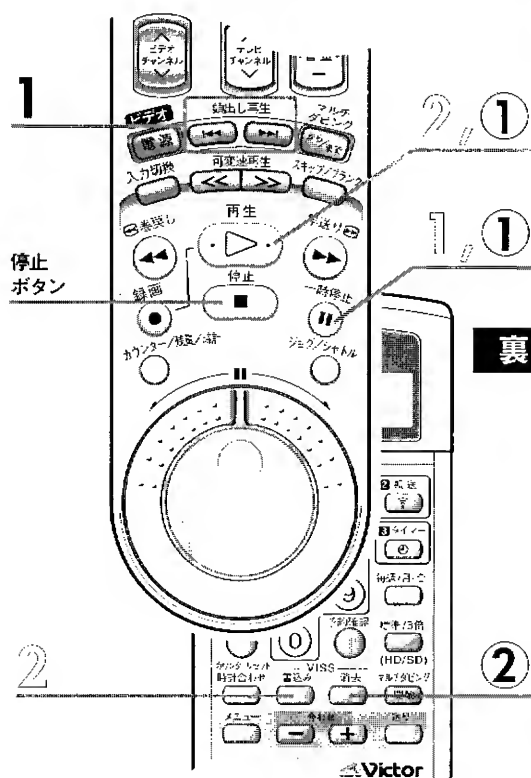
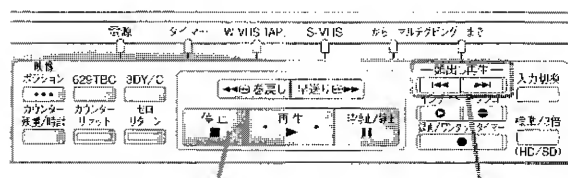
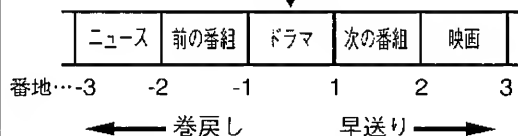
ドア内中央

番地のかぞえかた

今見ている番組

ニュース	前の番組	ドラマ	次の番組	映画

番地…-3　-2　-1　1　2　3

← 巻戻し　早送り →

［例］ **次の番組を頭出しする場合**
頭出し再生▶▶Iボタンを1回押します。
前の番組を頭出しする場合
頭出し再生I◀◀ボタンを2回押します。

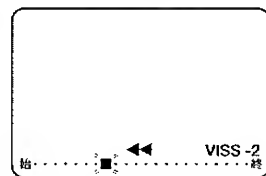
番組の頭出しをして再生する
頭出し再生

録画やタイマー録画の開始点に自動的にマーク（VISS）をつけ、それを目印に番組の頭出しをします。

1

停止または再生中に
頭出し再生ボタンで
番地を選ぶ

頭出し再生

巻戻し方向　早送り方向

●2つ前の番地を選ぶ

- ●希望の番地を探し自動的に再生します。
- ●押すごとに数字が増え、逆方向のボタンを押すと数字が減ります。
- ●最高±9番組まで指定できます。

■途中でやめるときは、停止ボタンを押します。

頭出し信号を書き込むには

1

書き込みたい場面で
一時停止ボタンを押す

テレビ画面
VISS書込み

2

リモコンの**書込みボタン**を押したあと、**再生ボタン**を押す

- ●「VISS書込み」表示が約2秒間点滅し、消えると書き込み完了です。
- ●録画一時停止状態から書き込むときも同じ操作方法です。
- ●再生中または録画中に書き込みたいときは、書込みボタンを押すだけです。

■つめのないテープや、未録画部分には書き込みできません。

頭出し信号を消去するには

①

取り消したい頭出し信号の数秒前からテープを再生または静止画再生にする

テレビ画面
VISS消去

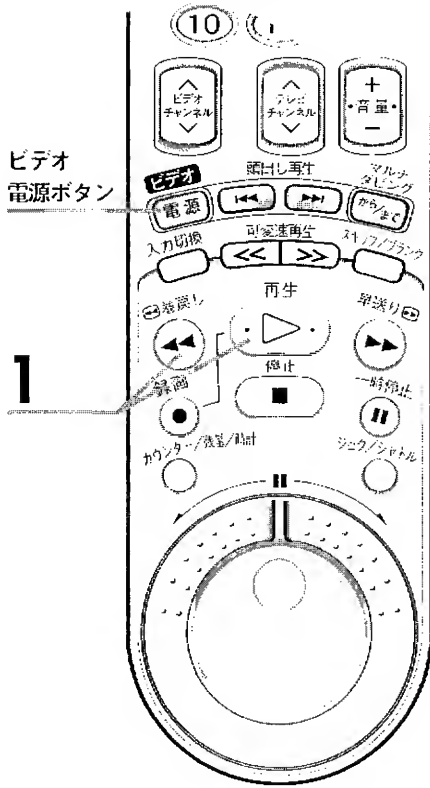
②

リモコンの**消去ボタン**を押す

- ●「VISS消去」を表示し、自動的に書き込まれている頭出し信号を探します。
- ●消去中は「VISS消去」表示が約2秒間点滅し、消えると設定完了です。テープは再生状態になります。

メモ

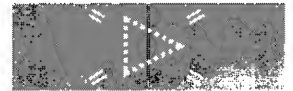
- ●となりの頭出し信号とは多少離して書き込んでください。近すぎると誤動作することがあります。
- ●「VISS書込み／消去」表示が点灯、点滅しているときは、他のボタン操作はしないでください。
- ●頭出し信号のそばで「標準」から「3倍」に切り換えられていると、頭出し信号の書込みや消去をしたあとで、画像が乱れることがあります。

表面

ドア内左側

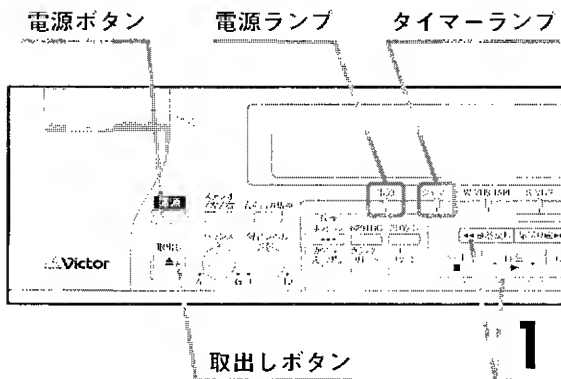
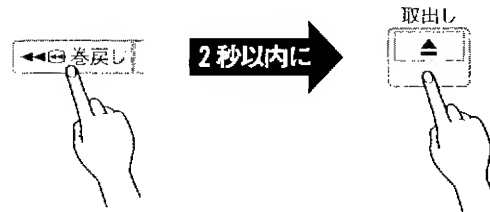
本体右側

テープの始めから自動的に再生する ネクストファンクションメモリー

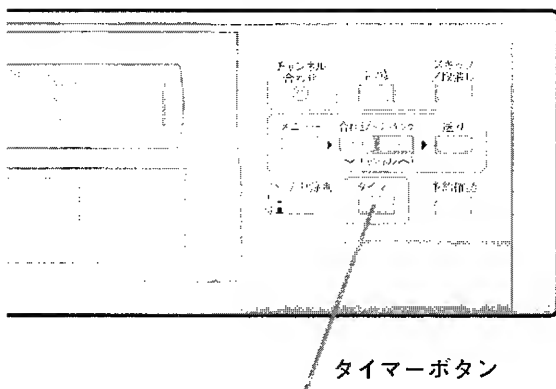
タイマー録画終了後、テープの始めから見たいときに便利です。

テレビ画面

本体表示窓

1 **巻戻しボタン**を押し、2秒以内に**再生ボタン**を押す

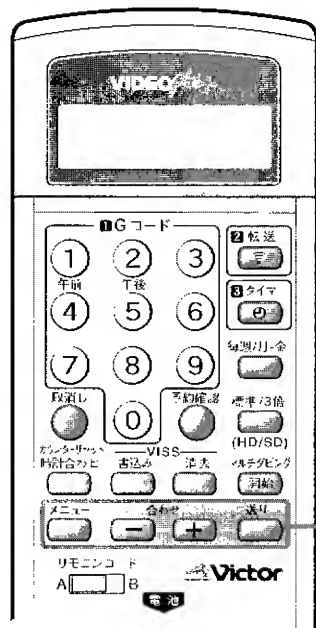
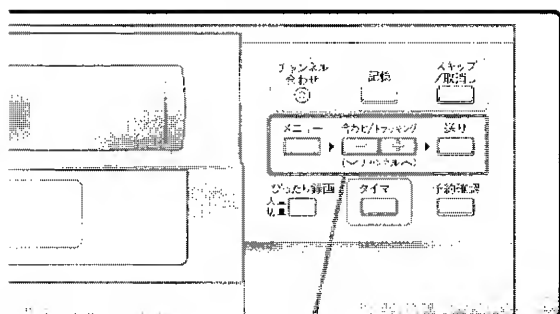
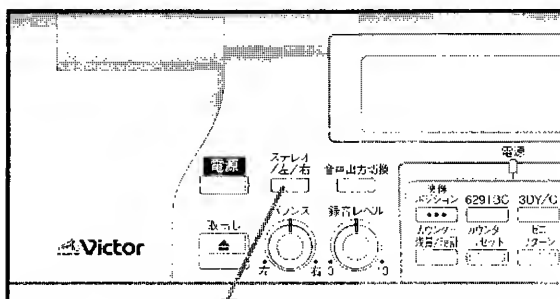
●テープの始めから自動的に再生します。

テープの始めで自動的にカセットを出すには

●本体表示窓の ◎◎ 表示が点滅します。
●リモコンでは操作できません。

テープの始めで自動的に電源を切るには

●本体の電源ランプが点滅します。

テープの始めで自動的にタイマースタンバイにするには

●本体のタイマーランプが点灯し、電源ランプが点滅します。

録音する音声を選ぶ

裏面

本体右側

ドア内左側

二カ国語放送（日本語と外国語）を録音する

ご購入時、二カ国語放送を録音すると、主音声（日本語など）だけを録音します。外国語も録音したい方は、録音音声をあらかじめ選んでください。テレビ画面に出る表示項目を見ながら設定します。

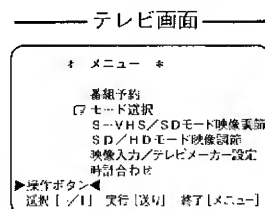
準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

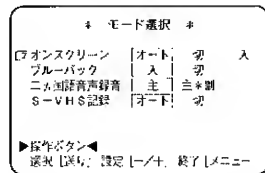
1

1 メニューボタンを押す
●メニュー画面を表示します。

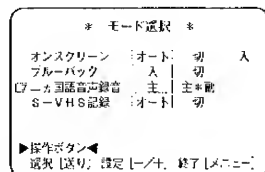
2 合わせ－/＋ボタンでモード選択を選ぶ

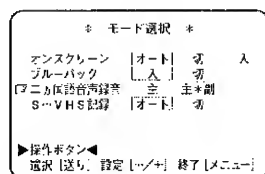
テレビ画面

＊ メニュー ＊
番組予約
モード選択
S－VHS／SDモード映像調節
SD／HDモード映像調節
映像入力／テレビメーカー設定
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

2

送りボタンを押す
●モード選択画面を表示します。

3

送りボタンで二カ国語音声録音を選ぶ
●送りボタンを押すごとに、☞表示が下の項目へ移動します。

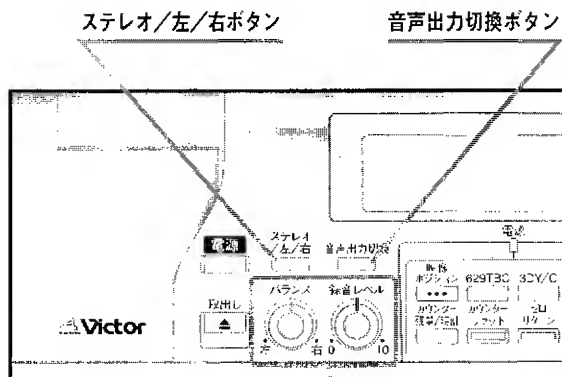
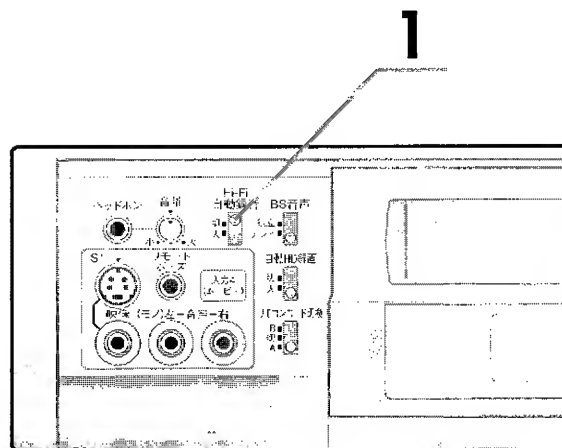
4

合わせ－/＋ボタンで主＊副を選ぶ
●二カ国語放送を録音すると、日本語と外国語の両方を録音します。

5

メニューボタンを押す
●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

●日本語と外国語が同時に聞こえたら、本体のステレオ／左／右ボタンで聞きたい音声を選びます。
ボタンを押すごとに

録画中に切り換えても大丈夫です。
●**主＊副**の位置で二カ国語放送を録音すると、ノーマル音声トラックには**主音声**が録音されます。
●停電などがあり、本体の時計が 0:00 で点滅しているときは、**主**のポジションに戻りますので、**主＊副**にしたい方は、もう一度設定し直してください。

聞きたい音声を選ぶ

ドア内左側

本体右側

日本語と外国語が同時に聞こえたら

本体のステレオ／左／右ボタンを押す

●押すごとに、次のように表示が変わります。

	主音声＋副音声	主音声(日本語など)	副音声(外国語)
テレビ画面	左　右	左	右
本体表示窓	L　R	L	R

インサート編集やアフレコ編集したテープを聞く

本体の音声出力切換ボタンを押す

●押すごとに、次のように表示が変わります。

	Hi-Fi音声	ノーマル音声	ミックス音声
テレビ画面	左　右	ノーマル	ミックス
本体表示窓	L　R	ノーマル	L ノーマル R

Hi-Fi録音レベルを手動調節する

大きな音から小さな音までのレベル差（ダイナミックレンジ）が大きい音声は、手動調節したほうが迫力のある音で録音できます。
クラシックなどでシーンと静かな演奏からいきなり大きな演奏曲に変わったり、逆にシンバルやドラムの大きな音から静かな演奏にと、変化の激しい音声のときに効果的です。
通常は、Hi-Fi自動録音スイッチを「入」にしてください。自動的に適正なレベルに調節します。

1 本体のHi-Fi自動録音スイッチを切にする

2 本体のバランスつまみと録音レベルつまみで調節する

●音声レベルメーターを見ながら、赤いランプがときどき点灯する程度に調節してください。
●録音レベルが低すぎるとノイズが多くなり、高すぎると歪みが多くなりますのでご注意ください。

メモ

●Hi-Fi録音されていないテープは、ノーマル音声を再生します。
●Hi-Fi音声とノーマル音声に同じ音声が記録されたテープを再生する場合、ミックスはさけてください。若干の時間ズレが生じ、音が歪むことがあります。
●停電などがあり、本体の時計が 0:00 で点滅しているときは、Hi-Fi音声に戻ります。

再生画面の調節

「映像ポジション」は、W-VHS HDモードでは操作する必要がありません。
「629デジタルTBC」は、W-VHSテープ使用時には操作する必要がありません。

ドア内中央

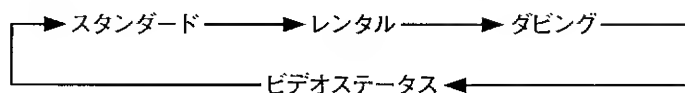
テープに合わせた画質調節
映像ポジション

本体の
映像ポジションボタンで
画質を選ぶ

●ボタンを押すごとに、テレビ画面に約5秒間表示します。

テレビ画面

ビデオステータス

→スタンダード→レンタル→ダビング→ビデオステータス→

スタンダード	通常はこの位置でお使いください。
レンタル	レンタルビデオを再生するときなど。 ノイズを抑え、見やすい映像にします。
ダビング	ダビングするとき。 ダビング時の画質劣化を抑えます。
ビデオ ステータス	各種デジタル信号処理の設定データで再生するとき。 あらかじめ、ビデオステータス設定画面でお好みの画質に設定しておいてください。(102ページ参照)

メモ

●現在どのポジションであるか確認するときは、本体の映像ポジションボタンを1回押します。テレビ画面に約5秒間表示します。

ドア内中央

画面のゆがみや歪みを補正し安定した画面で再生する
629デジタルTBC

本機は、テープの伸びや変形によって再生画像に発生する微妙な揺れや画面の曲がりを補正し、安定した画面で再生するデジタルタイムベースコレクターを採用しています。

(TBC(タイムベースコレクター):Time Base Corrector の略)

■このようなときに効果を発揮します。

●ビデオムービーで記録したテープを再生するとき
●何度も繰り返し使用したテープを再生するとき
●ダビング時、本機を再生側で使用するとき

再生中に、
本体の**629TBCボタン**を押す

●1回押すと現在の状態を表示し、表示中にもう1回押すと、入/切の切り換えができます。表示は約5秒間です。
●ご購入時は、TBCが「入」になっています。

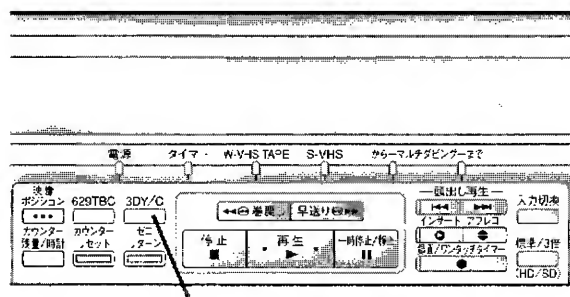
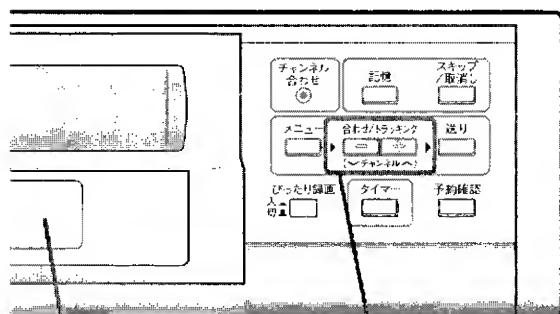
テレビ画面

629TBC 入

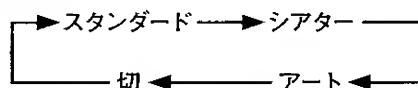
メモ

●TBCが「切」でも、テープを取り出したり、電源を切ると「入」に戻ります。
●電波の弱い地域でテレビ番組を録画したテープなど、ノイズが多いテープの場合は、TBCを「切」にすると、見やすい場合があります。
●TBC「入」で特殊な信号(パソコン、一部のキャラクタージェネレーターなど)を録画したテープを再生すると、画面が乱れることがあります。このようなときは、「切」にしてください。

「3次元デジタルY/C分離」…… W-VHSテープを使ってHD記録する場合は、操作する必要がありません。
「トラッキング調節」………… W-VHSテープ使用時でも、ノイズで見づらいときは調節してください。

ドア内中央

本体右側

映像の特徴に合わせて最適な映像で録画する 3次元デジタルY／C分離

停止状態で、
本体の**3D Y／Cボタン**を押し、
最適なポジションを選ぶ

●ボタンを押すごとに、テレビ画面に約5秒間表示します。

テレビ画面
3D Y/C シアター

→スタンダード→シアター→アート→切→

スタンダード	通常はこの位置でお使いください。
シアター	映画の場面の中で、カメラをゆっくりと移動させて撮影した場面など、画面全体が動くような、動きの多い映像を録画するとき。
アート	絵画が映っている映像など、静止している部分が多く、動きの少ない映像を録画するとき。
切	3次元Y/C分離は行わず、2次元Y/C分離を行います。スタンダードとの映像の違いを見たいときにお使いください。

メモ

●3次元デジタルY/C分離は、録画時に効果を発揮します。次のような場合は働きません。
・再生中
・外部入力のS1端子からの信号を録画するとき
●現在どのポジションであるか確認するときは、停止状態で、本体の3D Y／Cボタンを1回押します。テレビ画面に約5秒間表示します。

ノイズで見づらいとき トラッキング調節

本機のオートトラッキング機能で、ちらつきが止まらないときは、手動でトラッキングを調節します。

1 再生中に、本体の**合わせー**と**＋ボタン**を同時に押す

●本体表示窓のAT表示が消え、オートトラッキングが解除されます。
●もう一度同時に押すと、オートトラッキングモードに戻ります。

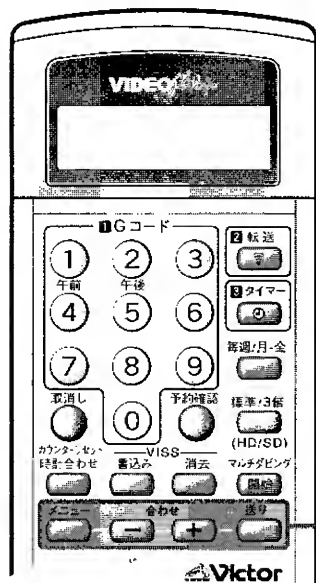
2 **合わせー/＋ボタン**で調節する

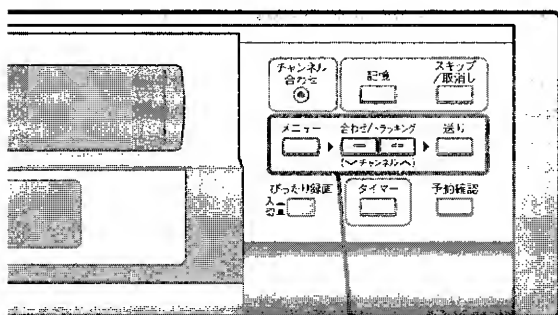
●リモコンでも操作できます。

メモ

●オートトラッキングで調整中はAT表示が点滅します。
●ビデオの電源を入れたときやテープを挿入すると、AT表示が点灯し、自動的にオートトラッキングモードになります。
●静止画再生またはスロー再生中にノイズが出るときは、一時停止ボタンを2秒以上押してスロー再生にし、合わせー/＋ボタンで調節します。調節してもノイズが消えないことがありますが故障ではありません。
●録画状態の悪いテープや他のビデオで録画したテープの場合、十分に調節できない場合があります。
●オートトラッキングの解除は、リモコンでは操作できません。

「シャープネス」、「Y/Cタイミング」は、W-VHS HDモードでは操作する必要がありません。

裏面

1~6

本体右側

1~6

再生中に、お好みの画質に合わせる シャープネス

準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

1 メニューボタンを押す
●メニュー画面を表示します。

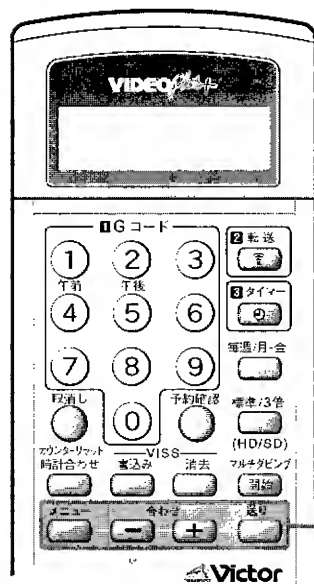
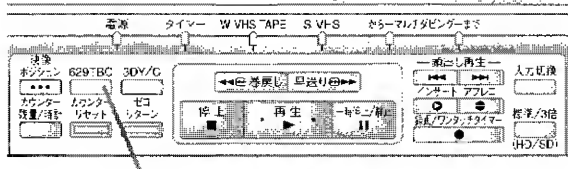
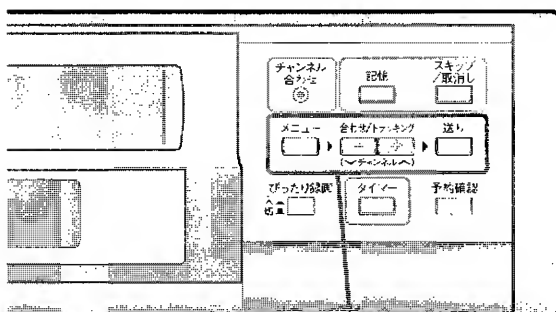
テレビ画面

＊ メニュー ＊
番組予約
モード選択
S－VHS／SDモード映像調節
SD／HDモード映像調節
映像入力／テレビメーカー設定
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

2 合わせ－／＋ボタンで S-VHS/SDモード映像調節を選ぶ

3 送りボタンを押す
●S-VHS/SDモード映像調節画面を表示します。
●テレビ画面には、再生画像が同時に映ります。

4 送りボタンを押す
●シャープネスの調節画面を表示します。
●テレビ画面には、再生画像が同時に映ります。

5 合わせ－／＋ボタンで調節する
●±3段階で調節できます。
●＋側 ……鮮明な画像
　－側 ……ノイズの目立たないやわらかな画像
●約1分間表示します。
●続けて、Y／Cタイミングを調節するときは、右ページの3の操作へ進みます。

6 メニューボタンを押す
〔設定完了〕

再生中に、横方向の色ズレを調節する Y／Cタイミング

準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

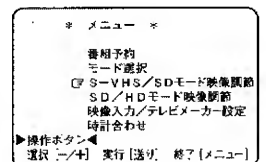
裏面

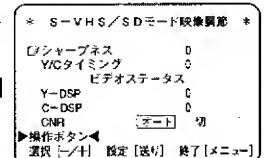
ドア内中央

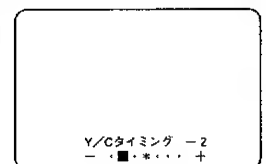
本体右側

1
再生中に、本体の**629TBCボタン**を押し、**入**にする

テレビ画面
629TBC 入

2
1 メニューボタンを押す
●メニュー画面を表示します。

2 合わせ－／＋ボタンでS-VHS/SDモード映像調節を選ぶ

3
1 送りボタンを押す
●S-VHS/SDモード映像調節画面を表示します。
●テレビ画面には、再生画像が同時に映ります。

2 合わせ－／＋ボタンでY／Cタイミングを選ぶ

4
1 送りボタンを押す
●Y／Cタイミングの調節画面を表示します。
●テレビ画面には、再生画像が同時に映ります。

2 合わせ－／＋ボタンで調節する
●±3段階で調節できます。
●＋側 ……色が左側にズレているとき
　－側 ……色が右側にズレているとき
●約1分間表示します。
●続けて、ビデオステータス設定を行うときは、103ページの4の操作へ進みます。

Y/Cタイミング －2

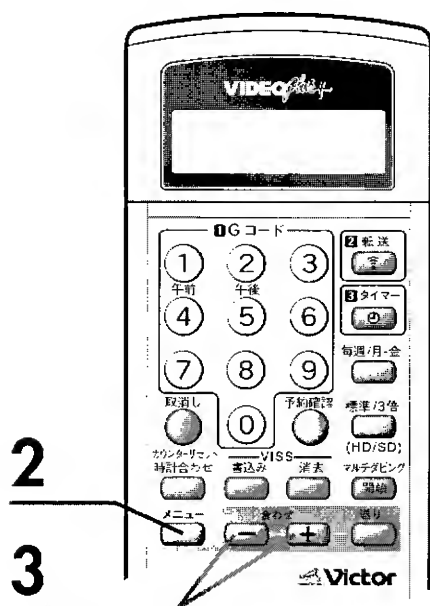
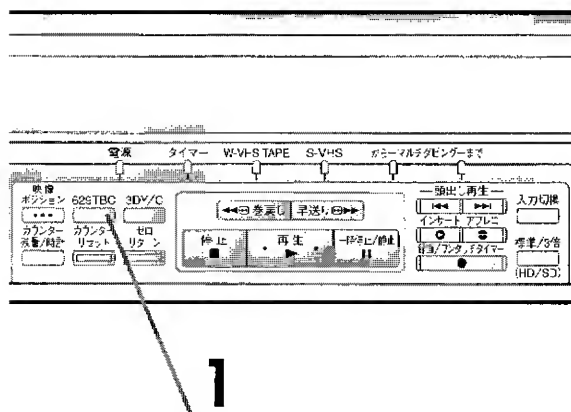
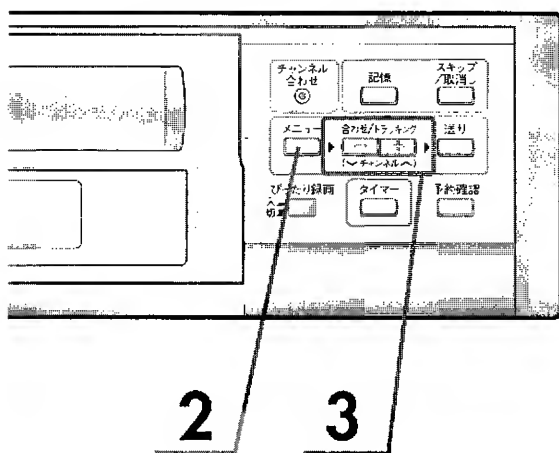
5
メニューボタンを押す
〔設定完了〕

再生画面の調節（つづき）

「ビデオステータス設定」は、W-VHS HDモードでは操作する必要がありません。

裏面

2

3

ドア内中央

本体右側

再生中に、各種デジタル信号処理の設定をする ビデオステータス設定

●ビデオステータス設定の項目

項目	内容
Y-DSP	明暗の表現に関する設定です。 一側……動きを重視した設定 十側……ノイズ低減を重視した設定
C-DSP	色の表現に関する設定です。 一側……動きを重視した設定 十側……色のクリアさを重視した設定
CNR	色信号のノイズ低減回路の設定です。 オート…再生時、CNRを自動的に動作させ、色のざらつきを少なくします。また、垂直方向の色の境界線が若干やわらかになります。 切……再生時、CNRは動作しません。

準備 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

―― テレビ画面 ――

1 再生中に、本体の**629TBCボタン**を押し、**入**にする

629TBC　入

2 **メニューボタン**を押す

●メニュー画面を表示します。

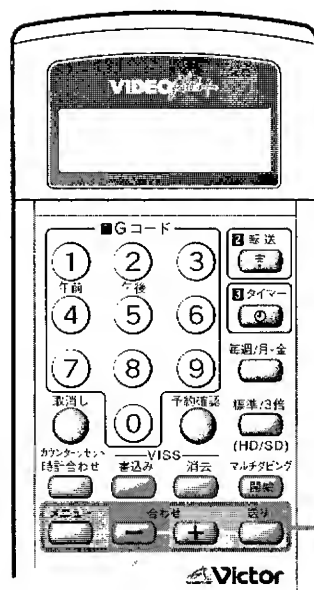
＊ メニュー ＊
☞番組予約
モード選択
S－VHS／SDモード映像調節
SD／HDモード映像調節
映像入力／テレビメーカー設定
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

3 **合わせ－／＋ボタン**でS-VHS/SDモード映像調節を選ぶ

＊ メニュー ＊
番組予約
モード選択
☞S－VHS／SDモード映像調節
SD／HDモード映像調節
映像入力／テレビメーカー設定
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

裏面

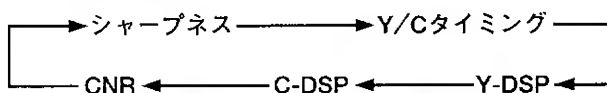
本体右側

4~8

4 送りボタンを押す

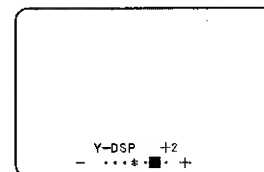
●S-VHS/SDモード映像調節画面を表示します。
●テレビ画面には、再生画像が同時に映ります。

```
*  S-VHS/SDモード映像調節  *
シャープネス        +1
Y/Cタイミング       -2
     ビデオステータス
☞Y-DSP              0
 C-DSP              0
 CNR           [オート]  切
▶操作ボタン◀
選択［-/+］ 設定［送り］ 終了［メニュー］
```

5 合わせー／＋ボタンで設定する項目に ☞ を合わせる

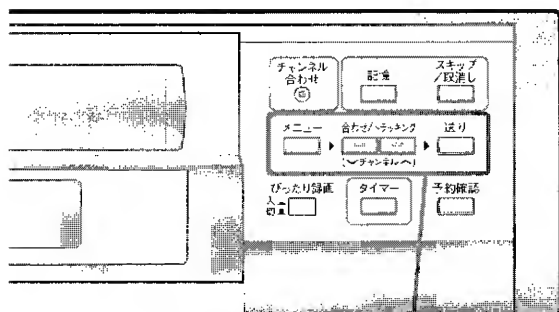
●ボタンを押すごとに

●Y-DSP、C-DSPを調節する場合は、6の操作へ進みます。
●CNRのオート／切を選ぶ場合は、送りボタンを押します。

6 送りボタンを押す

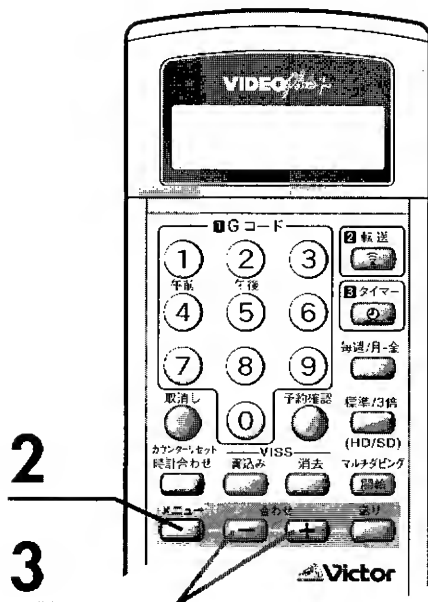
●Y-DSPまたはC-DSP調節画面を表示します。
●テレビ画面には、再生画像が同時に映ります。

7 合わせー／＋ボタンで調節する

●±3段階で調節できます。
●Y-DSP調節後、C-DSPも調節する場合は、4~7の操作を繰り返します。

8 メニューボタンを押す

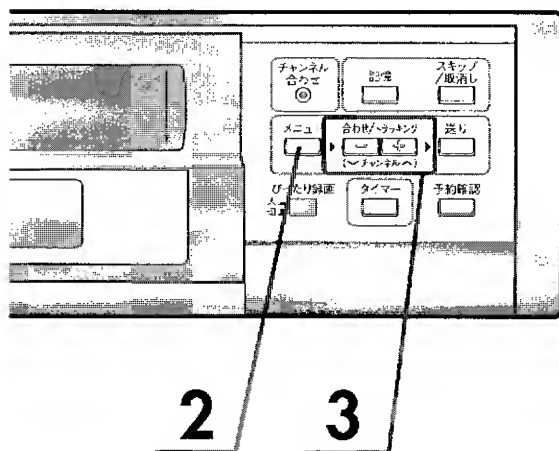
［設定完了］

メモ

●5、6の操作で、Y-DSP、C-DSP、CNRの調節をすると、映像ポジションは自動的に「ビデオステータス」のポジションになります。（98 ページ参照）

裏面

W-VHSテープ使用時、お好みの映像に調節する
SD/HDモード映像調節

●SD/HDモード映像調節の項目

SD YNR	天候不良時などにBS番組をSD録画したテープを再生中、ノイズが気になる場合は「入」にしてください。3次元デジタルアダマールと2次元デジタルアダマールの効果を強め、低域・高域ともノイズを低減します。
HD YNR	天候不良時などにBSのハイビジョン番組をHD録画したテープなどを再生中、ノイズが気になる場合は「入」にしてください。 2次元デジタルアダマールの効果を強め、特に高い周波数のノイズを低減します。
HD録画 PRO	入：スタジオ用ハイビジョンビデオや、ハイビジョンカメラなど、プロ用器材から録画するときは「入」にしてください。 切：MUSEデコーダーやW-VHSビデオから録画するときは「切」にしてください。 HD録画時の画質を向上させるために、入／切を使い分けてください。

本体右側

1 テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にする

●ハイビジョン画面にはオンスクリーン表示をしないため、ビデオ（NTSC）入力画面にしてください。

テレビ画面

* メニュー *
☞ 番組予約
モード選択
S−VHS／SDモード映像調節
SD／HDモード映像調節
映像入力／テレビメーカー設定
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［−/+］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

2 メニューボタンを押す

●メニュー画面を表示します。

* メニュー *
番組予約
モード選択
S−VHS／SDモード映像調節
☞ SD／HDモード映像調節
映像入力／テレビメーカー設定
時計合わせ
▶操作ボタン
選択［−/+］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

3 合わせー／＋ボタンで SD/HDモード映像調節を選ぶ

4 送りボタンを押す

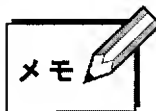
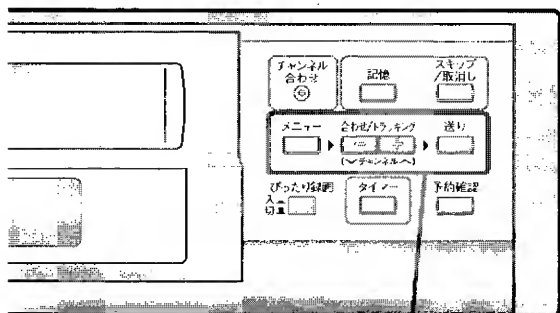
●SD/HDモード映像調節画面を表示します。

5 送りボタンで設定する項目に ☞ を合わせる

6 合わせー／＋ボタンで入または切を選ぶ

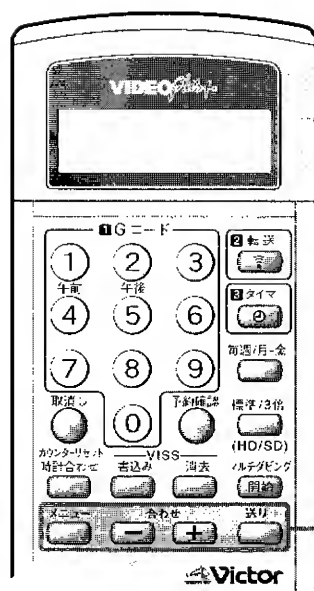
●ご購入時は、すべて「切」になっています。
●通常は「切」でお使いください。

7 メニューボタンを押す

[設定完了]

●停電などがあり、本体の時計が 0:00 で点滅しているときは、「切」に戻りますので、「入」にしたい方は、もう一度設定し直してください。

編集の種類

本機では次のような編集ができます

編集名	こんなときに	本機の用途	参照ページ
ダビング	・同じ内容のテープをもう1本作りたいとき ・S-VHS方式で録画したテープをVHS方式のテープに録画し直したいとき	再生機／録画機	107～109
プリロール編集	・編集精度の高いダビングをしたいとき	録画機	110
マルチダビング	・不要な場面をカットしたり、順序を入れ換えて別のビデオにダビングしたいとき	再生機	112
アフレコ編集	・BGMを入れたいとき(W-VHSテープ使用時はできません)	録画機	115
インサート編集	・タイトルを入れたいとき ・ビデオムービーを使って別の映像を入れたいとき	録画機	116
プリロールインサート編集	・編集精度の高いインサート編集をしたいとき	録画機	118

背面の入力1端子／前面の入力4端子の映像入力を選ぶ

S1端子と映像端子の両方に接続しているときに、映像端子の信号を選ぶことができます。セレクターとの接続時などに便利です。ご購入時は「S映像」の信号を入力するため、映像端子だけに接続した場合も設定が必要です。

裏面

1

1 メニューボタンを押す
●メニュー画面を表示します。

2 合わせー/＋ボタンで映像入力/テレビメーカー設定を選ぶ

＊ メニュー ＊
番組予約
モード選択
S－VHS／SDモード映像調節
SD／HDモード映像調節
☞映像入力/テレビメーカー設定
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

2

1 送りボタンを押す
●映像入力/テレビメーカー設定画面を表示します。
●送りボタンを押すごとに、☞表示が下の項目へ移動します。

2 合わせー/＋ボタンで映像を選ぶ

＊ 映像入力/テレビメーカー設定 ＊
☞映像入力1 S映像 [映像]
映像入力4 [S映像] 映像
M－Nコンバーター入力 L3
テレビメーカー 3
▶操作ボタン◀
選択［送り］ 設定［－/＋］ 終了［メニュー］

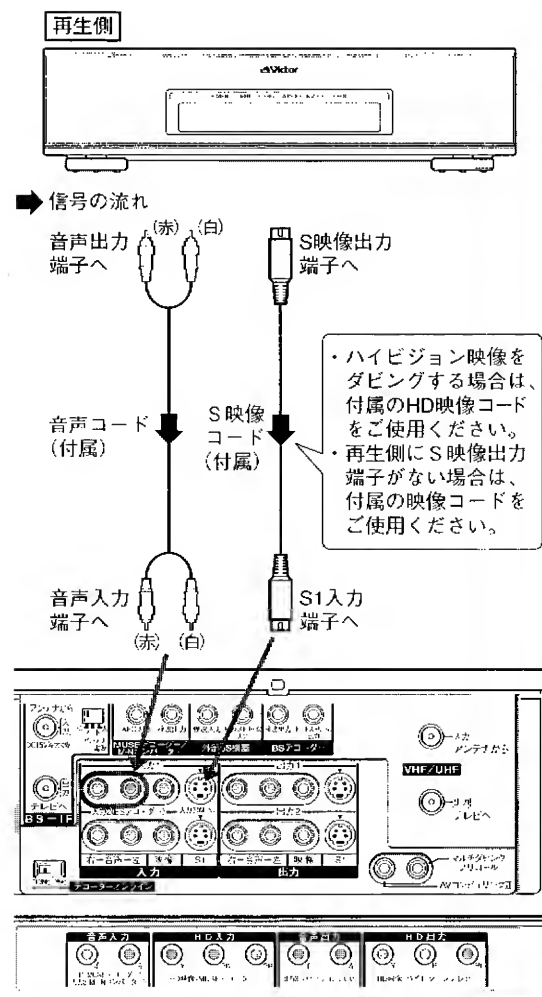
3

メニューボタンを押す
●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

メモ

●背面の入力2／入力3端子について
入力2：BSデコーダー接続端子
入力3：MUSE-NTSCコンバーター接続端子
通常の外部入力としても使用できます。

テープのコピー［ダビング］

ドア内中央

他のビデオで再生、本機で録画する場合

本機側

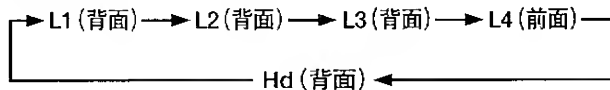
テレビ画面

ダビング

1 本体の**映像ポジションボタン**でダビングポジションにする（98 ページ参照）

●W-VHSテープを使ってHD録画する場合は操作不要です。

2 **入力切換ボタン**でチャンネルを**L1（外部入力）**にする

●入力切換ボタンを押すごとに

L1（背面）→ L2（背面）→ L3（背面）→ L4（前面）→ Hd（背面）→ L1

●S-VHS/VHSテープ使用時は、Hdを選択できません。

3 **一時停止ボタン**を押しながら**録画ボタン**を押し、録画一時停止にする

再生側

4 ダビングしたい部分の少し前から再生する

本機側

5 ダビングしたい場面で**再生ボタン**を押す

●録画を始めます。

■録画を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。

■終了するときは停止ボタンを押します。

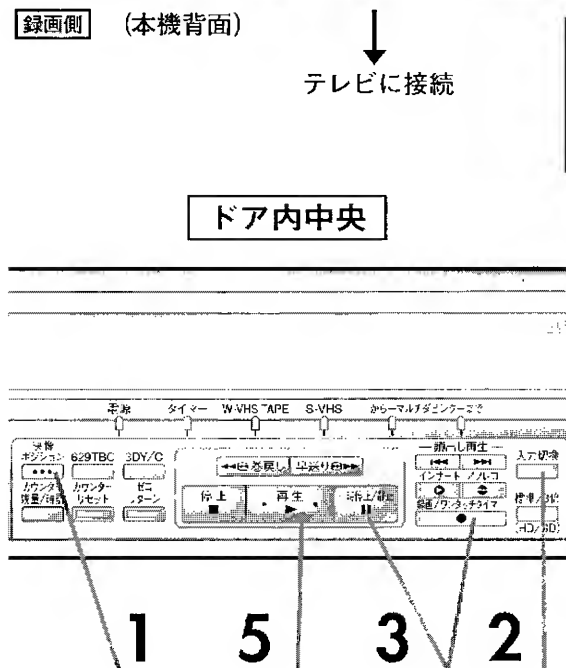
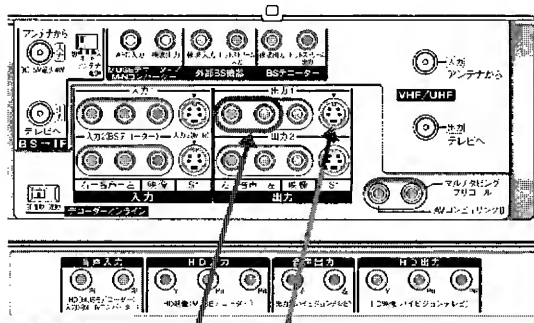
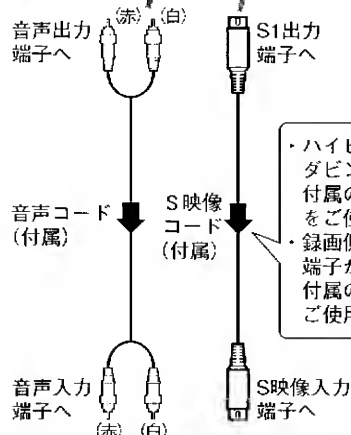
●本機→再生側の順に停止してください。

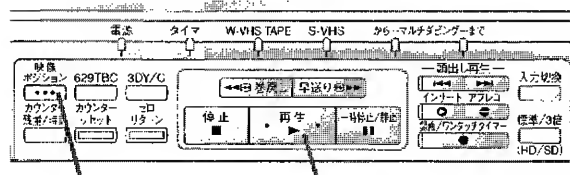
■L1（外部入力）チャンネルからテレビ番組のチャンネルに戻すときは、ビデオチャンネルボタンを押します。

メモ

●ダビング終了後は、映像ポジションボタンで**スタンダードポジション**に戻してください。

●録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

●あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

再生側 (本機背面)

ドア内中央

本機で再生、他のビデオで録画する場合

本機側

1 本体の**映像ポジションボタン**でダビングポジションにする（98 ページ参照）
●W-VHSテープを使ってHD再生する場合は操作不要です。

テレビ画面：ダビング

2 モード選択画面のオンスクリーンを**切**にする（17 ページ参照）

録画側

3 1 外部入力にする
2 録画一時停止にする

本機側

4 ダビングしたい部分の少し前から再生する

録画側

5 ダビングしたい場面で録画する

■終了するときは停止ボタンを押します。
●録画側→本機の順に停止してください。

●ダビング終了後は、映像ポジションボタンで**スタンダードポジション**に戻してください。また、モード選択画面のオンスクリーンを**オート**に戻してください。
●ダビングすると、画質はもとのテープに比べて劣ります。ダビング時は、SDモードまたはS-VHSの標準モードなどで録画することをおすすめします。
●本機にはデジタルTBCが内蔵されていますので、本機を再生機として使用すると、より安定感のある画質が得られます。
●HDモードで録画したテープを再生する場合、録画側ではSD/S-VHS/VHS録画はできません。

再生側 ビクタービデオムービー

ドア内中央

ビクタービデオムービーで再生、本機で録画する場合

ダビング時、本機の録画スタート/ストップをビクタービデオムービー側で操作します。

本機側

1 本体の**映像ポジションボタン**でダビングポジションにする（98 ページ参照）

テレビ画面: ダビング

- W-VHSテープを使ってHD録画する場合は操作不要です。

2 **入力切換ボタン**でチャンネルを**L4（外部入力）**にする

- 入力切換ボタンを押すごとに

L1（背面）→ L2（背面）→ L3（背面）→ L4（前面）→ Hd（背面）

- S-VHS/VHSテープ使用時は、Hdを選択できません。

3 **一時停止ボタン**を押しながら**録画ボタン**を押し、録画一時停止にする

再生側

4 ダビングしたい場面を設定し、ビデオムービーの**編集スタートボタン**を押す

- 自動的にダビングが始まり、終了するとビデオムービーは一時停止、本機は録画一時停止になります。
- 詳しくは、ビクタービデオムービーの取扱説明書をお読みください。

■ダビング終了後は、本機・ビデオムービーとも停止してください。
■L4（外部入力）チャンネルからテレビ番組のチャンネルに戻すときは、ビデオチャンネルボタンを押します。

- ダビング終了後は、映像ポジションボタンで**スタンダードポジション**に戻してください。
- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

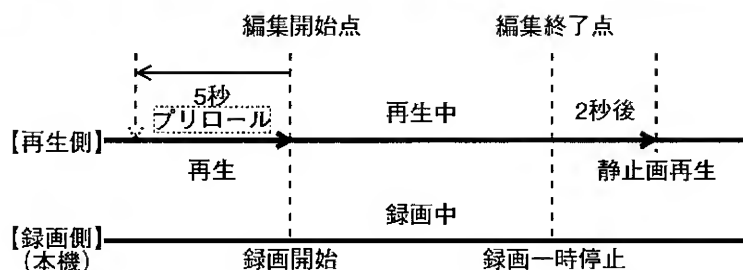
プリロール編集

付属のミニプラグコードをAVコンピュリンクⅡ用として使用しているかたは、別売の下記の当社製品をお使いください。
・CN－１２０A（1.5m）
・CN－１２５A（3.0m）

編集精度の高いダビングをする

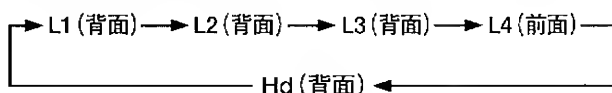
プリロール編集とは、ダビング時、自動的に再生側ビデオを編集開始点の数秒手前（約５秒）まで巻戻してから再生を開始させ、編集開始点で録画側ビデオの録画を開始させる機能です。
本機ともう1台のビデオが安定した編集を始めますので、つなぎ目のきれいなテープに仕上がります。
本機を録画機側として使用し、ビクターのリモートポーズ端子付ビデオと接続します。

プリロール編集のテープの動き

再生側のみ約５秒間のプリロールを行います。

準備 本機に、つめあり（またはREC側にある）テープを入れます。

1 **入力切換ボタン**で、接続した端子を選ぶ

●ボタンを押すごとに

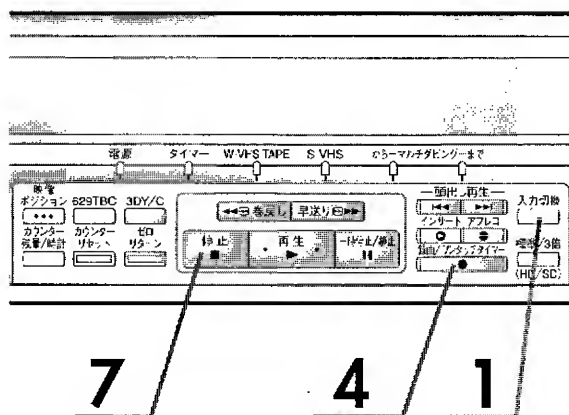
L1（背面）→ L2（背面）→ L3（背面）→ L4（前面）→ Hd（背面）→（L1へ戻る）

●S-VHS/VHSテープ使用時は、Hdを選択できません。

2 再生側のテープを再生し、編集開始点で静止画再生状態にする

3 本機のテープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどで録画開始点を探し、静止画再生状態にする

4 本体の**録画ボタン**を押す

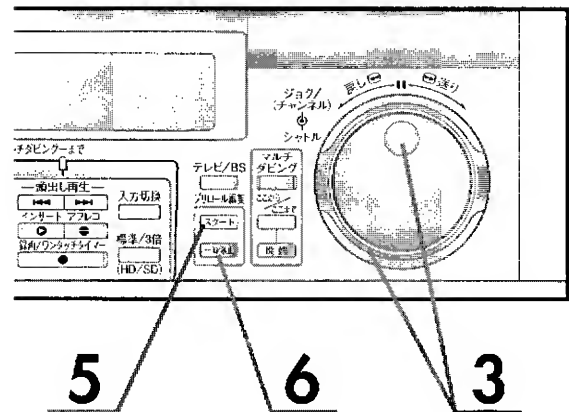
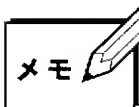
●録画一時停止状態になります。

ドア内中央

ドア内右側

5 プリロール編集の**スタートボタン**を押す

- 編集が始まります。
- 再生側ビデオ：約5秒間プリロールしたあと再生を始めます。
  録画側ビデオ：編集開始点で録画を始めます。
  （本機）

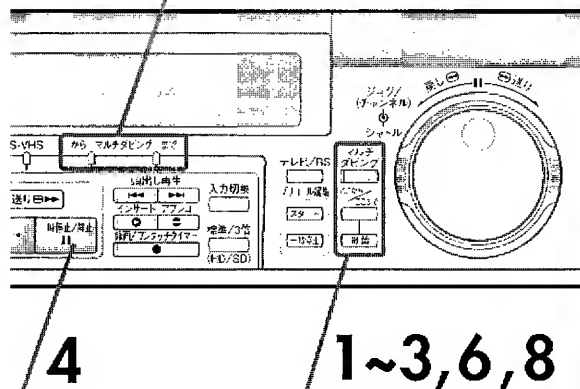
6 編集終了点で プリロール編集の**一時停止ボタン**を押す

- 再生側ビデオ：押した位置から2秒後に静止画再生状態になります。
  録画側ビデオ：録画一時停止状態になります。
  （本機）

7 プリロール編集をやめるときは 本機→再生側の順に**停止ボタン**を押す

- 4の操作で、録画側ビデオ（本機）の録画開始点を正確に合わせるときは、録画一時停止中にジョグダイヤル／シャトルリングを回して録画開始点を探し、録画を始めたい位置で手を離すと、自動的に録画一時停止状態に戻ります。
  W-VHSテープ使用時はできません。
- マルチダビングとは違い、2つ以上のプログラムを設定して編集することはできません。
- 本機（HR-W5）を2台使ってプリロール編集を行った場合、再生側のみプリロールします。

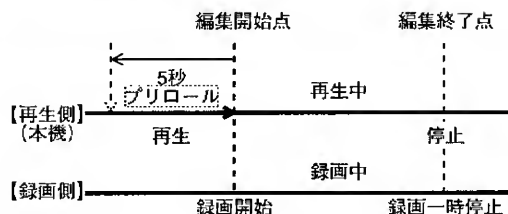
マルチダビング

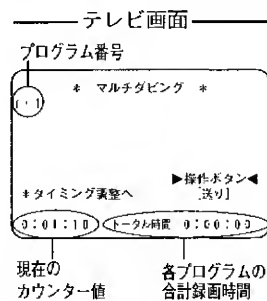
不要な場面をカットしたり、順序を入れ替えて別のビデオにダビングするときに便利です。最大8プログラムまで設定できます。本機は再生側として使用し、ビクターのリモートポーズ端子付ビデオと接続します。

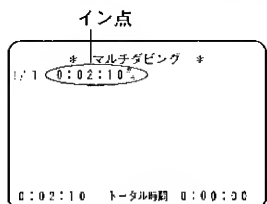
付属のミニプラグコードをAVコンピュリンクII用として使用しているかたは、別売の下記の当社製品をお使いください。
・CN－120A (1.5m)
・CN－125A (3.0m)

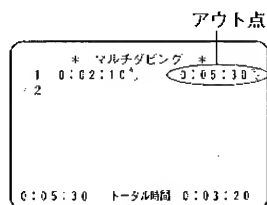
ドア内右側

マルチダビングのテープの動き

再生側 (本機) のみ約5秒間のプリロールを行います。

本機側

1 本体の**マルチダビングボタン**を押す
●マルチダビング画面を表示します。
●本体の「から」ランプが点灯します。

テレビ画面: プログラム番号 / ＊ マルチダビング ＊ / ＊タイミング調整へ / ▶操作ボタン◀送り] / 0:01:10 / トータル時間 0:00:00 / 現在のカウンター値 / 各プログラムの合計録画時間

2 編集開始点 (イン点) を探す
テープを再生し、編集開始点で**ここから／ここまでボタン**を押す
●本体の「まで」ランプが点灯します。

イン点 / ＊ マルチダビング ＊ / 1 0:02:10 / 0:02:10 トータル時間 0:00:00

3 編集終了点 (アウト点) を探す
編集終了点で**ここから／ここまでボタン**を押す
●本体の「から」ランプが点灯します。
●2～3の操作の繰り返しで、最大8つまで登録できます。

アウト点 / ＊ マルチダビング ＊ / 1 0:02:10 0:05:30 / 2 / 0:05:30 トータル時間 0:03:20

4 設定後、**一時停止ボタン**を押し、静止画再生状態にする

録画側

5
1 外部入力にする
2 録画一時停止にする

本機側

6 編集開始
開始ボタンを押す
●プログラム番号順に編集が始まり、最後のアウト点まで自動的にダビングします。
●アウト点から次のイン点までは、早送り／巻戻し再生 (サーチ) で探します。
●編集が終わると
本機側 → 停止状態
録画側 → 録画一時停止状態

録画側

7 編集終了

録画側ビデオを停止する

本機側

8 マルチダビングボタンを押す

●マルチダビング画面が消えます。
［これでマルチダビング終了です。］

インン点、アウト点を取消しまたは変更したいときは

3の操作終了後

①取消しボタンを押します。

・最後に登録したカウンター値が消えます。取消しボタンを押すごとに、最後から順に消えます。

・途中のカウンター値の取消しまたは変更はできません。

②変更するときは、2～3の操作を行ってください。

他社のビデオとマルチダビングする場合

別売のマルチダビングリモコンRM-V300を使ってマルチダビングができます。

詳しくは、マルチダビングリモコンの取扱説明書をご覧ください。

■本機と録画側ビデオの編集タイミングを合わせたいときは、次のページをご覧ください。

●アウト点のカウンター値は、イン点より大きい値でのみ設定できます。

●設定した場面より多少ずれることがあります。

●イン点、アウト点を設定するときに、早送り、巻戻し、頭出し再生などで探すと、設定した場面より多少ずれることがあります。なるべく、早送り／巻戻し再生（サーチ）で探すことをおすすめします。

●アウト点が設定されていないプログラムは実行しません。

●イン点、アウト点のカウンター表示には、1秒以下の数値を表示しないため、各プログラムのカウンター表示の合計とトータル時間が合わないことがあります。

●アウト点から次のイン点までの早送り／巻戻し再生（サーチ）時間が5分以上かかると、録画側の録画一時停止が解除するため編集できません。

●再生側テープの始めや終わりの部分では、マルチダビングができないことがあります。

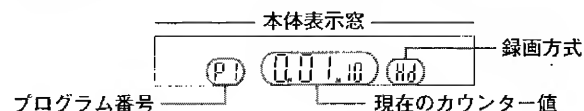
●録画側ビデオにインサート編集やアフレコ編集の機能がある場合に、5の操作で、インサートの一時停止やアフレコの一時停止にすると、マルチダビングのインサート編集やアフレコ編集ができます。

●HDモードでマルチダビングする場合のHD映像コードの接続については、59ページと同様です。

●HD/SDモードのマルチダビング時、シャトルリングで編集点を探した場合、設定した場面より多少ずれます。編集点はジョグダイヤルで設定することをおすすめします。

ハイビジョン映像（HDモード）のマルチダビングをする場合

テレビ画面にオンスクリーン表示が出ないため、本体表示窓を見ながらイン点、アウト点を設定してください。

①本体のマルチダビングボタンを押します。
・本体のマルチダビングの「から」ランプが点灯します。

②イン点を探し、ここから／ここまでボタンを押します。
・本体のマルチダビングの「まで」ランプが点灯します。

③アウト点を探し、ここから／ここまでボタンを押します。
・本体のマルチダビングの「から」ランプが点灯します。

④4～8の操作を行ってください。

■トータル時間を表示させるときは、カウンター／残量／時計表示切換ボタン（本体のドア内左側）を押します。

●ボタンを押すごとに

→カウンター表示→テープ残量表示→時計表示→各プログラムの合計録画時間表示→（カウンター表示に戻る）

別売のマルチダビングリモコンRM-V300を使って、他社のビデオとマルチダビングするときに便利です。タイミング調整値を設定するために、前ページのマルチダビングのリハーサルをしてください。

開始点のフレーム誤差を測定する

（例）本機で設定した開始点に対し、余分に3フレームぶん録画されたとき

1コマ＝1フレーム　希望の開始点

再生側ビデオ（本機）

実際の録画開始点

録画側ビデオ

余分に録画された映像

・開始点のタイミング調整値を「＋1（3フレームぶん）」にします。
・余分に録画されたとき：「＋」側の数値にする
・場面が欠けたとき　　：「－」側の数値にする

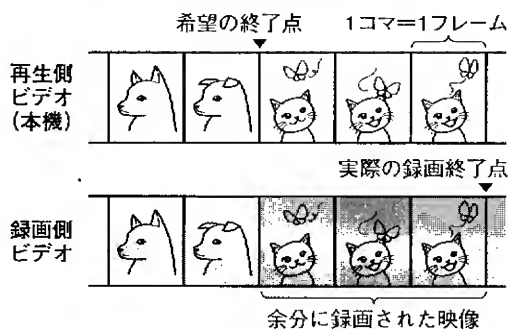
終了点のフレーム誤差を測定する

（例）本機で設定した終了点に対し、余分に3フレームぶん録画されたとき

希望の終了点　1コマ＝1フレーム

再生側ビデオ（本機）

実際の録画終了点

録画側ビデオ

余分に録画された映像

・終了点のタイミング調整値を「－1（3フレームぶん）」にします。
・余分に録画されたとき：「－」側の数値にする
・場面が欠けたとき　　：「＋」側の数値にする

メモ

●タイミング調整しても、多少ずれることがあります。
●マルチダビングの開始／終了点を設定後に、タイミング調整はできません。
●開始点から終了点の間は、約2秒以上離して設定することをおすすめします。近すぎると、終了点の設定ができないことがあります。
●停電などがあり、本体の時計が 0:00 で点滅していると、タイミング調整の数値は「0」に戻りますので、再度設定し直してください。
●録画側テープの始めで、編集前の映像が少し残ることがあります。

マルチダビングで、本機と録画側ビデオの編集タイミングを合わせる

本機の編集開始点／終了点のタイミングを調整し、精度の高い編集ができます。

開始点、終了点のフレーム誤差を測定する

1

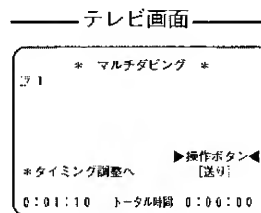
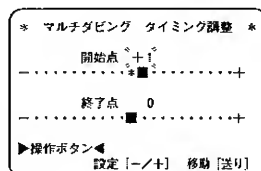
1 前ページのマルチダビングをする
●開始／終了点の設定は、フレーム誤差が測定しやすいように、場面が切り換わっている部分を設定してください。

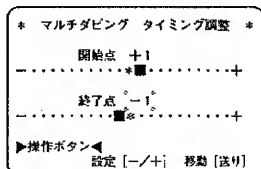
2 マルチダビング終了後、録画側ビデオを再生し、ジョグダイヤルで開始／終了点のフレーム誤差を測定する
●録画側ビデオにジョグダイヤルがない場合は、本機にテープを入れ、測定してください。測定終了後は、録画側ビデオにテープを戻してください。

開始点、終了点のタイミング調整値を設定する

HDモードでマルチダビングする場合、ハイビジョン画面にはオンスクリーン表示が出ないため、本機を停止状態にし、テレビをビデオ（NTSC）入力画面にしてから操作してください。

テレビ画面

2 本体の**マルチダビングボタン**を押す
●マルチダビング画面を表示します。

3 **送りボタン**を押す
●タイミング調整画面を表示し、開始点の数値が点滅します。

4 **合わせ－／＋ボタン**で タイミング調整値を設定する
●1目盛りは約3フレームで、±1～10目盛り（±3～30フレーム）まで設定できます。

5 **送りボタン**を押す
●終了点の数値が点滅します。

6 **合わせ－／＋ボタン**で タイミング調整値を設定する

7 **送りボタン**を押す
●マルチダビング画面を表示します。
●前ページの1～8の操作を繰り返し、ダビングしたい場面を設定します。

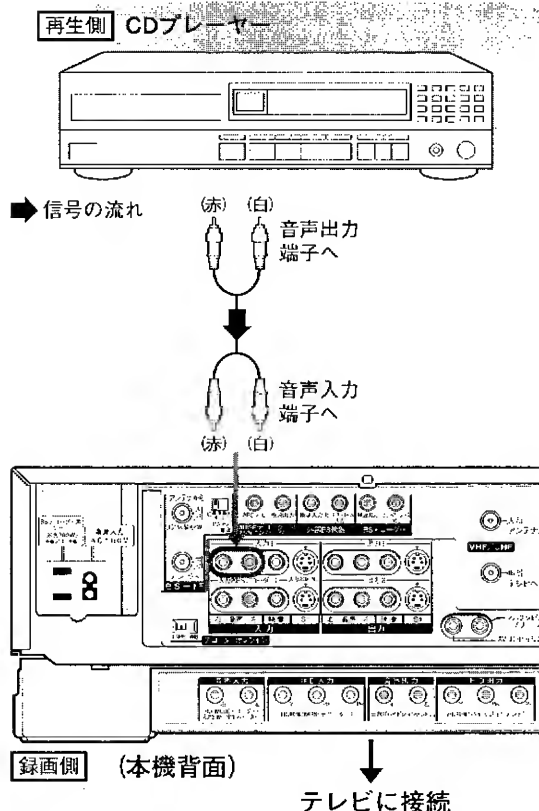
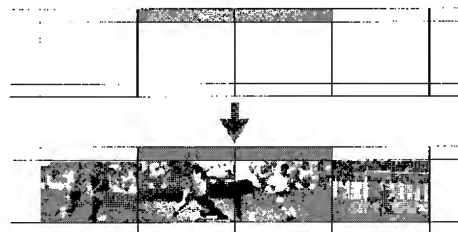
アフレコ編集

W-VHSテープ使用時は、ノーマル音声トラックがないため、アフレコ編集はできません。

ドア内中央

- 「つめ」のないテープには、アフレコ編集できません。「つめ」の部分に、セロハンテープを2重に貼ってください。（73ページ参照）
- アフレコ編集中または編集後にテープを聞くときは、本体の音声出力切換ボタン（ドア内左側）で切り換えてください。（97ページ参照）
- アフレコ編集終了後はノーマル音声になっていますので、本体の音声出力切換ボタンでHi-Fi音声に戻しておいてください。
- アフレコ編集ではノーマル音声トラックに記録されるため、Hi-Fi音声に比べて音質は劣ります。

録画済みテープに音声のみをあとから録音する

本機を録画機側として使用します。Hi-Fi音声にはアフレコできませんので、Hi-Fi音声はアフレコ編集する前の音声が残ります。

準備 本機につめのついたテープを入れます。

1 **入力切換ボタン**で、接続した端子を選ぶ
- ボタンを押すごとに

L1（背面）→L2（背面）→L3（背面）→L4（前面）

2 本機のテープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどでアフレコ編集の開始点を探し、静止画再生状態にする

3 本体の**アフレコボタン**を押す
- アフレコの一時停止になります。

テレビ画面

アフレコ ポーズ

本体表示窓

4 アフレコしたい音声を準備する

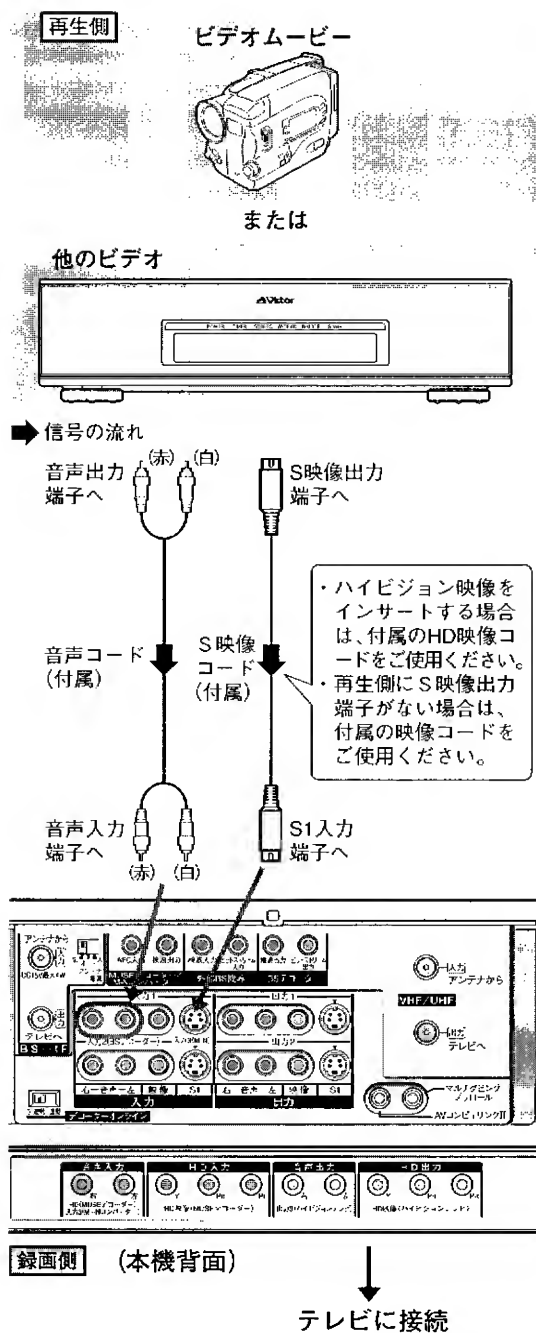
5 アフレコしたいところで**再生ボタン**を押す
- アフレコ編集が始まります。

アフレコ

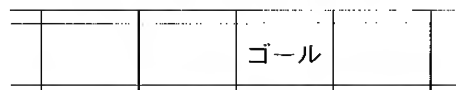
■アフレコ編集をやめるときは、停止ボタンを押します。

■編集終了点を設定しアフレコ編集するには

2の操作中に、編集終了点でカウンターリセットボタンを押し、カウンターを0:00:00にします。

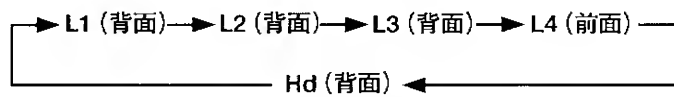
アフレコ編集中にカウンターが0:00:00になると、自動的にアフレコ編集を終了し、再生状態になります。

インサート編集

録画済みテープの一部を他の映像とHi-Fi音声に入れ換える

本機を録画機側として使用します。
ノーマル音声には、インサート編集する前の音声が残ります。

準備 本機に、つめあり（またはREC側にある）テープを入れます。

1 **入力切換ボタン**で、接続した端子を選ぶ

●ボタンを押すごとに

→L1（背面）→L2（背面）→L3（背面）→L4（前面）→Hd（背面）

●S-VHS/VHSテープ使用時は、Hdを選択できません。

2 本機のテープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどでインサート編集の終了点を探し、静止画再生状態にする

3 **カウンターリセットボタン**を押す

●カウンターが０：００：００になります。

4 ジョグダイヤル／シャトルリングなどでインサート編集の開始点を探し、静止画再生状態にする

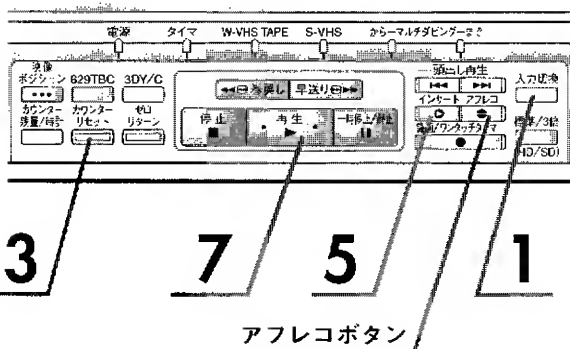
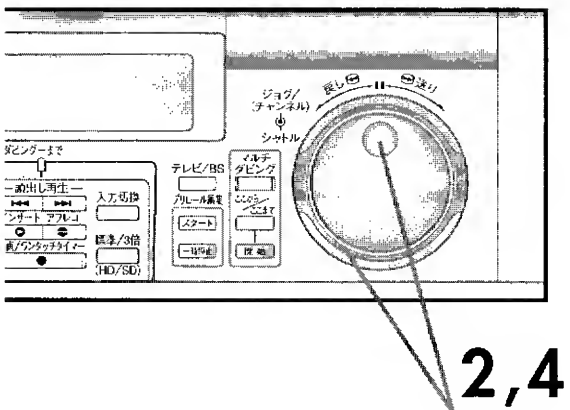
テレビ画面

インサート ポーズ

5 本体の**インサートボタン**を押す

●インサートの一時停止になります。

本体表示窓

ドア内中央

ドア内右側

6 インサートしたい映像、音声を準備し再生する

7

インサートしたい場面で
再生ボタンを押す

●インサート編集が始まります。
●カウンターが0：00：00になると、自動的にインサート編集を終了し、再生状態になります。

■途中でインサート編集をやめるときは

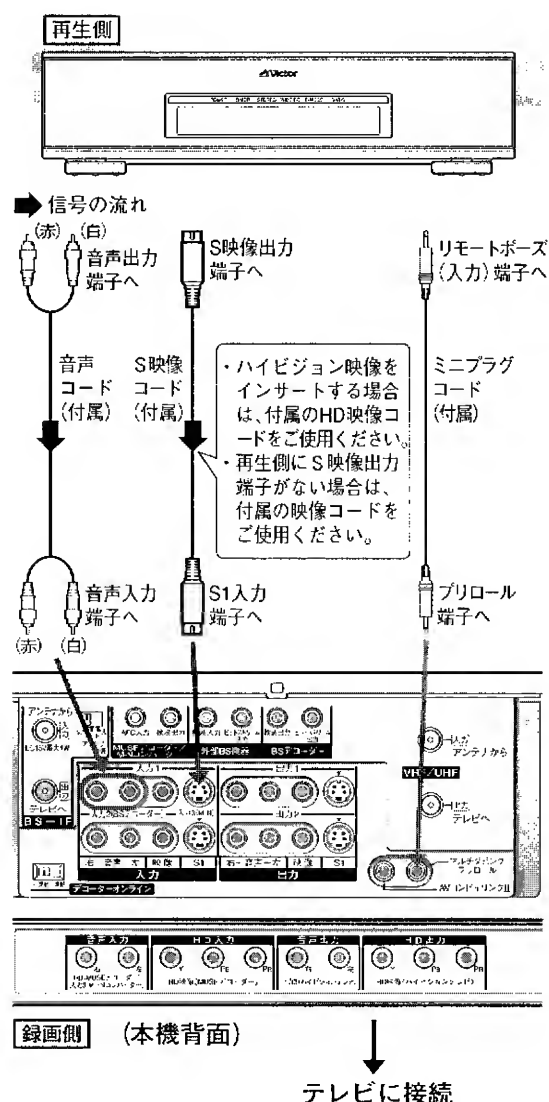
カウンターリセットボタンを押します。編集を終了し、再生状態になります。

■インサート編集時、ノーマル音声にHi-Fi音声と同じ音声を入れたいときは

5の操作で、インサートボタンを押したあとに、アフレコボタンを押します。本体表示窓は、 表示へと変わります。

●W-VHSテープ使用時は、ノーマル音声が記録されないため、操作できません。

メモ

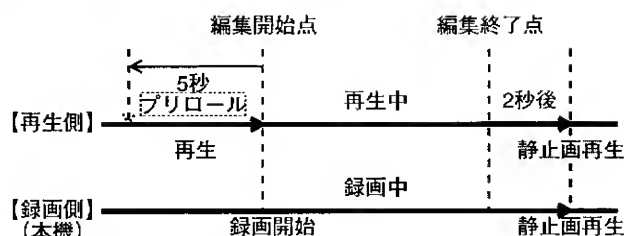
●「つめ」のないテープには、インサート編集できません。「つめ」の部分に、セロハンテープを２重に貼ってください。
（73 ページ参照）
●インサート編集の途中で録画スピード（標準／3倍）が変わっている場合は、映像が乱れます。
●他のビデオ機器の映像をインサート編集する場合は、インサートする再生画像が安定してから行ってください。
●インサート編集中に無記録部分になっても、インサート編集は続行します。
●インサート編集とは、録画済みテープにあとから映像とHi-Fi音声を挿入する手法です。そのため、インサート編集する部分に無記録部分があると、編集終了点がずれますのでご注意ください。

付属のミニプラグコードをAVコンピュリンクII 用として使用しているかたは、別売の下記の当社製品をお使いください。

・CN−120A (1.5m)
・CN−125A (3.0m)

編集精度の高いインサート編集をする プリロールインサート編集

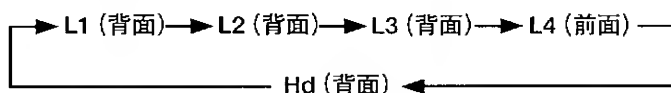
本機を録画機側として使用し、ビクターのリモートポーズ端子付ビデオと接続します。プリロール編集（110 ページ参照）を利用してインサート編集を行います。

プリロールインサート編集のテープの動き

再生側のみ約5秒間のプリロールを行います。

準備 本機に、つめあり（またはREC側にある）テープを入れます。

1 **入力切換ボタン**で、接続した端子を選ぶ

●ボタンを押すごとに

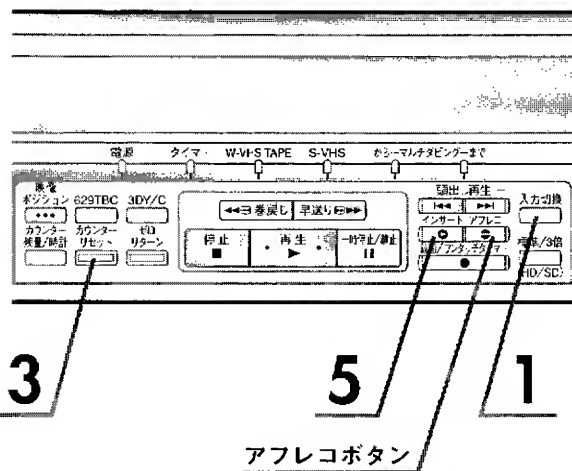
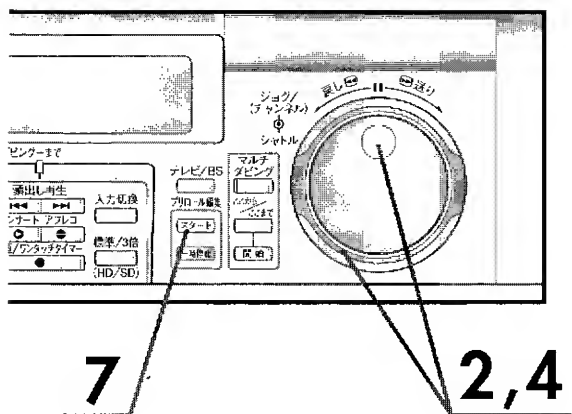
→L1（背面）→L2（背面）→L3（背面）→L4（前面）→Hd（背面）→（L1へ戻る）

●S-VHS/VHSテープ使用時は、Hdを選択できません。

2 本機のテープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどでインサート編集の終了点を探し、静止画再生状態にする

3 **カウンターリセットボタン**を押す

●カウンターが0：00：00になります。

4 ジョグダイヤル／シャトルリングなどでインサート編集の開始点を探し、静止画再生状態にする

ドア内中央

ドア内右側

テレビ画面

本体表示窓

5 本体の インサートボタンを押す

●インサートの一時停止になります。

6 再生側のテープを再生し、編集開始点で静止画再生状態にする

7 プリロール編集の スタートボタンを押す

●編集が始まります。

●再生側ビデオ：約5秒間プリロールしたあと再生を始めます。
録画側ビデオ：編集開始点でインサート編集を始めます。（本機）

●カウンターが０：００：００になると、自動的に編集を終了し、２秒後に静止画再生状態になります。

■途中でプリロールインサート編集をやめるときは

カウンターリセットボタンを押します。編集を終了し、２秒後に静止画再生状態になります。

■プリロールインサート編集時、ノーマル音声にHi-Fi音声と同じ音声を入れたいときは

５の操作で、インサートボタンを押したあとに、アフレコボタンを押します。本体表示窓は、→ 表示へと変わります。

●W-VHSテープ使用時は、ノーマル音声が記録されないため、操作できません。

故障かな？と思ったら

［　］内の数字が参照ページです。

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
電源	電源が入らない	● 電源コードがコンセントからはずれていませんか？ タイマーランプが点灯していませんか？	—
	電源ランプが点滅する	● つゆつきが発生しているときにビデオの電源を入れると、電源ランプが点滅します。このようなときは、電源を入れたまま数時間待ち、電源ランプが点滅から点灯に変わってからご使用ください。	6
	引っ越し先でも使えるか	● 日本国内では大丈夫です。ただし、チャンネル設定はやり直してください。 海外では、電源・放送方式などの違いで使用できません。	—
カセット	カセットが入らない	● 正しい向きで入れてください。	—
	カセットが出ない	● 録画中またはタイマーランプが点灯していませんか？	—
	コンパクトビデオカセットを使って録画または再生したい	● 別売のVHSカセットアダプターC-P6をご使用ください。	72
再生	テレビに再生画が出ない	● テレビの入力切換をテレビからビデオにしてください。	24
	画面の一部にノイズが出る	● オートトラッキング中にノイズが出るときは、トラッキング調節を行います。	99
	Hi-Fi音声が出ない	● 本体表示窓に L R が表示されていますか？ ● Hi-Fiでないビデオやビデオムービーで録画したテープを再生するとHi-Fi音声は出ません。 ● Hi-Fi録音レベルが「０」で記録されていませんか？	97
	日本語と外国語が同時に聞こえる	● 本体のステレオ／左／右ボタンで聞きたい音声を選んでください。	97
	早送り／巻戻し再生、静止画にノイズが出る	● 再生の速さを変えると、ノイズが出るときがあります。 故障ではありません。	—
	カウンター表示が点滅する	● 早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が点滅します。	—
	再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	● 再び再生したときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約５分間は回転しています。故障ではありません。	—
録画	録画できない	● カセットのつめが付いていますか？	73
	希望の番組が録画できない	● ビデオの録画チャンネルを確認してください。 ● ビデオのチャンネルが飛ばされていませんか？	61
	録画中に日本語と外国語が同時に聞こえる	● 本体のステレオ／左／右ボタンで聞きたい音声を選んでください。	97
	日本語だけ録音したい	● モード選択画面の二カ国語音声録音を主にしてください。	96
時計転送	本体へ時計転送すると、本体表示窓に「Err」が表示される	● 本体表示窓に表示されるNHK教育テレビのチャンネルをぴったりチャンネルとしてリモコンに入力し、時計転送をやり直してください。 ● NHK教育テレビのチャンネルが飛ばされているときは、本体に記憶してください。	64 61
画面表示	画面表示（オンスクリーン）が出ない	● モード選択画面のオンスクリーンが「切」になっていませんか？ ● テレビのハイビジョン画面には表示されません。	16 17

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
タイマー録画	Gコード予約ができない	● リモコンの時計合わせと、本体の時計合わせ・ガイドチャンネル設定はしましたか？	64〜69
	タイマー録画ができない	● 現在時刻は合っていますか？ ● カセットのつめが付いていますか？ ● タイマーランプは点灯していますか？ ● 予約内容を確認してください。 ● 停電があったときは正しく動作しません。	88〜93
	本体のタイマーランプが点滅する	● タイマー予約の設定にまちがいがあるので、予約内容を確認して、正しく設定をやり直してください。	92
	本体のタイマーランプと本体表示窓の[OO]が点滅する	● カセットが入っていません。つめの付いたカセットを入れてください。	73
	本体表示窓に0:00が点滅している	● 停電がありました。もう一度時計合わせをしてください。	64
	タイマー録画が始まるまでの間、テープを見たい	● タイマーボタンを押してタイマーランプを消してから操作します。操作終了後は、タイマーボタンを押してタイマーランプを点灯させます。	—
	タイマー録画中にカセットが出て、タイマーランプと[OO]表示が点滅している	● テープの終わりまで録画すると、カセットが出て電源が切れます。 ● タイマーボタンを押すと、タイマーランプと[OO]表示は消えます。 ● タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。	—
	タイマー録画中に停止するには	● タイマーボタンを押してタイマーランプを消してから停止ボタンを押します。	—
	リモコンから本体への予約転送ができない	● 本体に近づけて転送してください。 ● リモコンと本体のコード（A/B）が合っていますか？	77
	リモコンから予約を転送すると、本体表示窓に「Err」が表示される	● 受信チャンネル設定はしましたか？ ● 本体の時計合わせはしましたか？ ● ガイドチャンネル設定はしましたか？ ● ワンタッチタイマー録画中は転送できません。	60〜69
	リモコンから予約を転送すると、本体表示窓に「Full」が表示される	● 本体の予約がいっぱいです。 本体には8番組までしか記憶できません。予約内容を確認し、不要な予約があれば取り消してから予約してください。	92
	リモコンからGコードを転送後、終了時刻の変更ができない	● タイマーランプが点灯していませんか？ ● タイマーボタンを押してタイマーランプを消してから操作してください。	89
	タイマー予約設定中に予約表示が消えた	● 予約設定中に約1分間放置すると予約表示は消えます。もう一度やり直してください。	—
	予約が重なったら	● 録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。 午後8：00　午後9：00　午後10：00 予約1 ➡ ドラマ 予約2 ➡ 録画されない → ニュース番組 録画されるのは ➡ ドラマ　ニュース番組	—
	夜10:00〜翌朝4:59の時間で、タイマー録画中にテープ残量を確認したあと、本体表示窓が明るいままで、暗くすることができない	● カウンター／残量／時計表示切換ボタンを押して、カウンター表示などに戻してください。	12 84

故障かな？と思ったら(つづき)

[ ] 内の数字が参照ページです。

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
リモコン	リモコンが働かない	● 本体とリモコンのコード（A/B）が合っていますか？ 本体のリモコンコード切換スイッチが切のときは働きません。 ● 電池が消耗していませんか？	77
	テレビが操作できない	● 電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお手持ちのテレビメーカーに合わせてください。	77
ハイビジョン関連	テレビに再生画が出ない	● HD録画したテープを見るときは、テレビの入力切換を「HD入力」にしてください。 ● SD／S-VHS／VHS再生時は、テレビの入力切換を「ビデオ入力」にしてください。	28〜55
	BSのハイビジョン番組が録画できない	● W-VHSテープの誤消去防止スイッチを「REC側」にします。 ● ハイビジョンテレビまたはMUSEデコーダーのHD映像出力端子と本機のHD映像入力端子を接続してください。 W-VHSテープを使用し、入力切換ボタンで「HD」を選びます。	26〜57
	標準／3倍（HD/SD）が切り換わらない	● W-VHSテープ使用時は、録画チャンネルによってHD/SDモードが自動的に設定されるため、標準／3倍（HD/SD）ボタンの操作は不要です。	76
	BSのハイビジョン番組のタイマー録画ができない	● タイマー録画の実行前に、ハイビジョンテレビまたはMUSEデコーダーの電源を入れ、BSのハイビジョン番組を選局しておいてください。 ● テレビにタイマー予約機能がある場合は、本機のタイマー予約時間よりも、前後3分ぐらい多めに時間を設定してください。 ● ハイビジョンテレビまたはMUSEデコーダーの取扱説明書も合わせてご覧ください。	28〜55
衛星放送	BS番組が映らない	● アンテナ電源スイッチが切になっていませんか？ 使用状況により、入またはオートにします。 （共同受信している場合は、他から電源が供給されているので切のままです。） ● BSデコーダーを接続していますか？ ● スクランブル放送を受信していませんか？	22
	BSオートチャンネル設定で、不要なBSチャンネルが登録される	● 不要なBSチャンネルを飛ばしてください。	61
	BSデコーダーを接続しているのにスクランブルが解除されない	● BSデコーダーの電源は入っていますか？	—
	WOWOWの音声が聞こえない	● BS音声スイッチがテレビになっていますか？ スクランブル放送中は、BSデコーダーの音声選択をテレビにしてください。	86

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

技術解説

1. ハイビジョンに関する基本用語

●ハイビジョン（Hi-Vision）

人間の視覚の特性を研究し、最も豊かな臨場感が得られる様に開発された次世代テレビ方式です。水平方向の視野が30度を超える時、臨場感が高まり、その時の垂直方向の視野は、その5分の3程度あれば良いことが判っています。これは試行錯誤を繰り返して来た映画がたどりついたビスタサイズの縦横比16対9ともほぼ一致するものです。
30度の視野を得るには、画面の高さの3倍まで近づいて見る必要があります。この時、従来のテレビ方式（NTSC）の走査線（テレビ画面は縦方向を525分割する水平線=走査線で構成されています）の数や情報量（電気信号なので周波数で表現できます）では、リアルな画質が得られません。そこで、走査線を1125本と倍増させつつ、輝度信号（明暗情報・白黒画面相当）を周波数で表現すると20MHz、色信号は7MHzと、5倍高精細にしました。
視聴覚を高度に満たすハイビジョンにより、家庭に居ながらにして、世界中を旅したり、スタジアムやコンサートホールの興奮を味わったり、思い出の公演を繰り返し見たり、最新の海外ファッションや貴重な美術品を間近に見たりできるようになりました。

●MUSE（Multiple Sub-nyqist Sampling Encode）

W-VHSビデオは、従来のテレビ放送、衛星放送といったNTSC映像の他に、次世代放送と言われるハイビジョンを、そのまま圧縮無し（ベースバンド）で録画可能なビデオです。
美しいハイビジョンは、通常テレビ（NTSC）の約5倍の情報量を持っていますので、そのまま衛星チャンネルで送信するには、5チャンネル分の回線が必要です。それではたいへん不経済なので、デジタル技術を用いて5分の1に圧縮（エンコード）します。その方式を「MUSE」といいます。
放送局が「MUSE エンコーダー」を介して送り出し、放送衛星を経由して、家庭でBSアンテナとBSチューナーを使って受信します。ここで、MUSEエンコードされた信号を、元のベースバンドハイビジョンに伸長・解読（デコード）するのが「MUSEデコーダー」です。
MUSEでは、人間の視覚は静止物に対する解像度は鋭いのですが、動いている物に対する解像度は鈍くなる性質を利用しています。画面を動きの有る部分と無い部分に分け、動きの有る部分の情報量は節約し、動かない部分は4コマ分の情報から再合成して解像度を高めるのです。具体的に輝度信号周波数帯域で表現すると、動画部12MHzに対し静止画部は20MHzに向上します。（いずれにせよS-VHSの5MHzより広帯域になります。）
MUSEデコーダーには当社HV-VMD1のような単品タイプもありますが、多くの場合ハイビジョンテレビに内蔵されています。MUSEハイビジョン放送が行われているBS9チャンネルを選んだり、外部MUSE入力を選ぶと、自動的にMUSEデコードが行われ視聴できるのです。
W-VHSでは、MUSEデコード後のハイビジョンベースバンド信号をHD入力端子から入力して録画します。高度な回路であるMUSEデコーダーを、テレビとビデオの両方に内蔵するのは、現段階ではたいへん不経済だからです。
この時、2つの接続方法があります。1つは、ビデオ側のBSチューナーでBS9チャンネルを受信し、検波出力端子とAFC入力端子をテレビ側のMUSEデコーダー部に接続し、折り返しハイビジョン（ベースバンド）出力を、ビデオのHDリターン入力に戻して録画する方法です。もう1つは、テレビ側のBSチューナーでBS9チャンネルを受信し、MUSEデコードしたハイビジョン出力を、ビデオの外部入力のHD入力端子から録画する方法です。HR-W5とビクター製ハイビジョンテレビの組み合わせでは、前者の方法をお勧めしています。

●M-Nコンバーター

M-Nコンバーターは、MUSE-NTSCコンバーターともいい、MUSEハイビジョン信号を、通常テレビと同じNTSC信号に変換して、従来からあるテレビやビデオで視聴できるようにする機器です。
この時当然、走査線の数は1125本から525本に減ってしまう訳ですが、水平解像度は360本から静止画では500本程度が得られ（機種により異なります）、NTSC放送の330本は上回る画質が得られます。色情報も豊かなので、W-VHS SDモードや、S-VHSの録画ソースとして最適です。
また、ハイビジョンの16：9ワイド画面をNTSCの4：3画面に変換する際、3つの方法があります。縦方向は480本の有効走査線（画面を構成する走査線）を活かし、横方向は圧縮・変形して、ワイドテレビで元に戻す「フルモード」は、ワイドテレビで楽しむには最適の方法ですが、4：3画面のテレビでは縦長の歪みが出てしまいます。
上下に黒い帯を付ける（レターボックス）「ワイドモード」は、どのテレビでもオリジナルの16：9画面が楽しめるのですが、帯に走査線120本を取られるため、有効走査線は360本に減ってしまいます。
この他、有効走査線480本は保ちながら、4：3画面からはみ出す部分の左右を切り捨ててしまう「ズームモード」があり、小型テレビに適しています。

2. W-VHS関連技術

W-VHSはVHSの貴重な資産を活かしながら、ハイビジョンに対応する次世代民生用VTRフォーマットです。W-VHSフォーマットには、(1) ハイビジョン信号用の「HDモード」、(2) 現行NTSCテレビ信号用「SDモード」(3) 将来応用できる2画面分の現行テレビ信号用「SD2モード」の3つのモードがあります。HR-W5はこのうち (1) HDモードと (2) SDモードの2つに対応しています。もちろん従来からのVHS、S-VHSの録画・再生も美しく行えます。

●高性能ビデオヘッドシステム‥‥HD/SD/S-VHS/VHS

高画質の基本は、まず磁気ヘッドにあります。HR-W5では、HD/SD/S-VHS/VHS各モード専用に開発した高性能ヘッドを搭載しています。

(1) センダストHDプロヘッド‥‥HD/SD

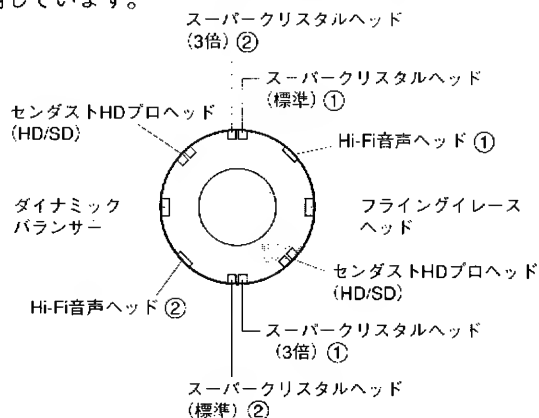
S-VHS/VHSに比べW-VHSは、より強く・より多くの信号をハイパワーなメタルテープとの間でやりとりする必要があります。センダストHDプロヘッドは、ギャップ部だけでなく磁気の通り路全体をセンダスト合金の積層構造とすることで、低域から高域まで良好な記録特性と、低ノイズな再生特性を実現しています。

HDモードでは2トラックパラレル記録を行うため、4個のヘッドが2個ずつ2組に分けられ、180度対向して用いられます。

(2) ダブルスーパークリスタルヘッド‥‥S-VHS/VHS

スーパークリスタルヘッドは、単結晶と多結晶の2種のフェライト素材の長所を巧みに活かした複合構造ヘッドです。先端部に用いた単結晶フェライトは、対摩耗性と再生出力に優れた素材であり、多結晶フェライトは、しゅう動ノイズが少なく記録感度も優れています。両者の接合により、色の再現性を左右する低い周波数から、ディテールを左右する高い周波数まで、スムーズな電気・磁気変換特性が得られました。

更に3倍モード用ヘッドは、19ミクロン (=0.019mm) のトラック幅に合わせる事で、隣のトラックからの干渉 (クロストーク) を最少にし、特に輪郭部の美しい映像を実現しています。

尚、Hi-Fiオーディオヘッドには、メタルテープでより高音質が得られるセンダストMIG (Metal In Gap) ヘッドを、フライングイレース (FE) ヘッドにも消去特性に優れたMIGヘッドを採用しています。

●W-VHS高性能メタルテープ

周波数帯域の広いW-VHSでは、従来民生用で使われていた水準を大きく超え、S-VHSテープに比較しても高域特性が8dB以上高い、二層塗布型のメタルテープを開発し、採用しています。従来と同サイズのカセットで、ハイビジョン信号を高画質で長時間楽しむ事が可能となりました。更に、ほこりの入りにくいダブルリッド構造や、スライド式の誤消去防止機構等も採用しています。

●2トラックパラレル記録

1125本の走査線に代表されるハイビジョンの膨大な情報量を記録するためには、高性能テープの採用のような単独の技術だけでは不可能です。W-VHS HDモードでは、ハイビジョン信号をデジタル処理により2分割します。すると、1つ1つは、NTSCを少し高精細にした程度の信号になります。それを、同時に隣り合う2つの映像ヘッドを用いて、2本の映像信号用トラックを使用して記録すると、VHSの延長上の技術でハイビジョンの記録ができるようになります。再生時には逆の動作で、2つのトラックの信号を1つのハイビジョン映像信号に合成します。

●バーチカルエンファシス

ノイズを低減するためには多くの技術的手法があります。その中で最もポピュラーな考え方として、小さな信号をノイズとみなし、取り去ってしまうというものがありますが、副作用としてディテール信号も一緒に失ってしまいます。そこで、「後で失われる分だけのディテールを記録時に増強 (Emphasis) して置く」考え方がエンファシスです。

VHS、S-VHSでも画面の水平方向の信号処理で使われていますが、垂直 (Vertical) 方向に応用したのがバーチカルエンファシスです。「ディテール信号の欠落無しでノイズを低減」という理想を一歩進めました。

●テンポラルエンファシス

「ディテール信号の欠落無しでノイズを低減」するエンファシスの考え方を時間軸方向に展開したものです。1フレーム前の映像信号との変化に着目した「デジタルノイズリダクション」を強く効かせると、動きのある映像では「残像」という副作用が発生しがちでした。

テンポラルエンファシスでは、1つ1つの画素に対するデジタル処理で、記録時に「残像の逆信号」を加えて置き、再生時に打ち消させることで、エンファシスの考え方をより高度に達成できました。

●新TCI記録方式（Time Compress Integration）

現行NTSC放送は、明暗を表現する輝度信号Y（白黒テレビに相当）と、色信号Cを複雑な方法で重ね合わせて（重畳）送られてきています。VHSを始めとして家庭用ビデオでは、輝度信号と色信号を、それぞれ異なる信号処理を行う必要から一度分離（Y／C分離）した後、輝度信号はFM変調、色信号は低い周波数に変換し、2つを重畳してテープに記録しています。これを「低域変換方式」といい、家庭用ビデオの誕生に欠かせない技術でした。しかし、輝度信号と色信号を同時に記録するため、干渉を起こしたり、色信号の周波数帯域が広く取れない等の課題がありました。
一方ハイビジョン放送は、輝度信号と、色を伝送する色差信号を分離して送る「コンポーネント方式」であり、この良さを活かすため開発したのがTCI方式です。TCI方式では、輝度信号と色差信号をそれぞれデジタル化した後、時間軸方向に圧縮します。そして並べ直して、テープ上のトラックの別の場所に記録します。原理的に干渉が発生しませんし、それぞれの周波数帯域も広く取れますので、放送局用ビデオでよく使われています。
W-VHSでは、ハイビジョンを記録するHDモードだけでなく、SDモードでもTCI方式を採用しています。

●HDフィードフォワードデジタルTBC（Feed-Foward Digital Time Base Corrector）

2トラックパラレル記録方式を採用しているHDモードでは、再生時に2つのトラック間で時間軸のずれ（トラック間ジッター）が発生しては、元通りの信号に復元できません。デジタルメモリーを用いて走査線1本1本のタイミングと長さを整える「デジタルTBC」が、特に重要な意味を持ちます。
ところで、HR-W1のデジタルTBCは「フィードバック型」といい、1本前の走査線のジッター（時間的誤差）を検出し、次の走査線の誤差も同程度とみなして補正するしくみで、十数ナノ秒（「ナノ秒」は10億分の1秒）の高精度です。特に、低い周波数の「ゆらぎ」等に強い方式でした。
HR-W5のTBCには、「フィードフォワード型」を採用しました。補正したい走査線の同期信号と映像信号のわずかな間で作用し、2.7ナノ秒に近い精度が得られます。映像ヘッドとテープの衝突に起因する「ヘッドたたき」や、画面上部が曲がる「スキュー」と呼ばれる高い周波数のジッターまで補正可能です。
しくみは、補正したい走査線をスイッチのついた64段もの遅延回路（バッファ）に通し、同期信号が理想のタイミングに最も近かった物を選んで切り換えるというものです。
HR-W5では、HDモード、SDモード、S-VHSモード、VHSモードの全てに、この「フィードフォワード型TBC」を採用しています。

●W-VHS HDモード（High-Difinition）75

ハイビジョンベースバンド信号を輝度信号周波数帯域13.3MHz、色信号周波数帯域4MHzの広帯域で録画・再生します。（S-VHSはそれぞれ5MHz、0.5MHzでした。）
高性能な2層磁性層タイプのメタルテープと、2トラックパラレル記録、テンポラルエンファシス、バーチカルエンファシス、新TCI記録方式、HDデジタルTBC、ハイパーパラレルFETプリアンプ等の技術により構成されます。（別項参照）
接続には、Y／PB／PR（輝度／色差青系／色差赤系）の3つに分かれた（コンポーネント）端子を用います。
VHSと同じ大きさのテープで3時間記録できますが、録画再生の過程ではMUSEのような複雑な帯域圧縮技術を用いないため、画質に特有の「くせ」が付きません。
2本の映像トラックの幅は、それぞれ19ミクロン（=0.019mm）で、3倍モードに相当します。テープ速度は標準モード58ミクロンに合わせた速度なので、2トラック分を引いてもHi-Fi音声トラックはS-VHS／VHS／SDモードのような重ね書き（深層記録）になりません。独立トラックならではの高音質FM記録が、ハイビジョンのデジタル音声を高水準で受けとめます。

●W-VHS SDモード（Standard Difinition）75

HDモードでは、2組4ヘッドによる2トラックパラレル記録により、現行テレビ信号（NTSC）の5倍の情報量を持つハイビジョン信号を録再しました。1組2ヘッドを用いてNTSCをTCI記録するのがSDモードです。輝度周波数帯域はVHSの2倍以上で、S-VHSの1.3倍の6.5MHz、色帯域も2倍以上の1MHz以上を達成しています。高い解像度と豊かな色再現を備え、デジタルTBCにより安定感も高いので、ダビング・編集のマスターや、M-Nコンバーターからの録画に最適です。
19ミクロンのトラック幅なので、WT-180テープで9時間の録画が可能で、長時間番組やシリーズ物の録画にも適し、時間当たりコストも高性能S-VHSテープ程度です。

●ワイドレンジ3次元デジタルアダマール

従来のノイズリダクション（YNR）では、輝度信号の濃淡が微妙に変わる部分のノイズ＝ほっぺたノイズが除去できませんでした。ビクターでは高度な数値解析理論「アダマール行列」を用いる事で、ノイズ成分だけを適切に抜き出すことに成功しています。初期の走査線の中で処理する1次元型からスタートし、現在3次元型に進化し、ダイナミックレンジの拡大も図られています。ノイズの周波数・振幅適応型の信号処理に加え、フレームメモリーを用いた画面との比較で、動きにも対応したノイズ除去を実現しました。
SD, S-VHS, VHSモードで働き、HDモードでは2次元で働きます。

2. W-VHS関連技術(つづき)

●SD YNR 104

天候不良時にBS放送を受信・録画したテープ等、SDモードの再生輝度S/Nを改善したい時「入」にします。3次元デジタルアダマールと2次元デジタルアダマールの効き方を強め、低域・高域ともにノイズを減少させます。

●HD YNR 104

天候不良時にMUSE衛星放送を受信・録画したテープ等、HDモードの再生S/Nを改善したい時「入」にします。2次元デジタルアダマールの効き方を強め、特に高い周波数のノイズを減少させます。

●HD録画PRO 104

スタジオ用HD-VTRやHDカメラ等、プロ用機材からの録画時のみ「入」を選ぶこととし、その必要の無いMUSEデコーダーやW-VHSからの録画時は「切」とすることで、それぞれのHD録画画質を向上させる「メニュー」です。
W-VHS HDモードの色信号は「線順次記録」といい、PBとPRの2つの色差信号を、奇数番と偶数番の走査線毎に交互に記録しています。そのため、例えばPBとPRの両方にまたがる色である紫色の信号を録画再生すると、紫色部分の上下の縁が赤や青になる「垂直折返しノイズ」が発生することがあります。そこで、線順次処理回路へ入力する前に、色信号を垂直方向に分散させて、ノイズの発生を防ぐ「HD垂直ローパスフィルター」を設けます。HR-W1では常時「入」としていました。
しかし、民生一般に使われるソースである、衛星放送やハイビジョンLDからMUSEデコードしたハイビジョン信号は、W-VHSで扱う信号と同様の「線順次信号」なので、録画の前にこの「HD垂直ローパスフィルター」を通す必要がありません。よって、「HD録画PRO」のメニューを設け、「切」では予防のローパスフィルターを入れないことで、色信号の垂直解像度を改善しました。

●デジタルカラースタビライザー

色差信号で彩度がゼロの色=無色を表わすとDC(直流)になります。このDCのレベルが変動してしまうと、低彩度色の再現性が低下します。HR-W5では、デジタルのループを設けることでDCレベルの安定を実現しました。

●ワイドカラーデコーダー

SDモードで色差信号(R-Y, B-Y)から色信号(C)を作る回路を新設計し、更に広い信号帯域による豊かな色表現を実現しました。

●W-VHS特殊再生 80 81

特許(申請中)の制御理論/回路により、ジョグ/シャトルによるマルチダビングにも対応できる特殊再生を可能にしました。
VHSでは、1枚の絵(1フレーム)を2個のヘッドでトレースするため、アジマス角と幅を変えたヘッドを2個ずつペアにし、トレース・出力条件の有利な方のヘッドを選び切り換えて、ノイズを細い数本の線にまで押さえ込んでいます。現在主流の4ヘッドは全てこの方式です。
一方、W-VHSは前述した次のような技術要素により、VHSと同じサイズのテープでNTSCより5倍以上高密度なベースバンドハイビジョン信号の記録再生を可能にしたものでした。

(1) 2トラックパラレル記録(トラック毎に逆アジマス角になった19ミクロン幅、2トラック同時記録、フィールド毎に独立の音声トラック有)
(2) 新TCI記録(時間軸圧縮、線順次コンポーネント記録、同一トラックに輝度信号と色差信号有)
(3) テンポラルエンファシス(再生時、強力にフレーム間DNRを掛けても残像が出ないよう、逆残像成分を記録)

しかし、特殊再生のためには、これら全ての要素が逆に妨害として働きます。
(1)は初期の2ヘッドVHSの標準モードより、更に厳しい条件のテープ記録パターンをもたらしました。映像ヘッドがトレースすべき正しい映像トラックは6本中1本しかなく、1本は向かい側のヘッドの映像、2本は対になる別の映像、2本は音声用です。特殊再生時はトラック間をまたぐので、ノイズバーが太く出る元になります。
(2)は(1)でやっと得た信号が更に、1本のトラックの部位により輝度と色が分かれていて、しかも隣の色差信号は別の色のものであることを示します。
(3)は逆方向の再生時には、逆残像信号が役に立たないことを示し、エンファシスの考え方が成立しないことを示します。
SDモードでは同様に、(1)がジャスト19ミクロン幅2ヘッドビデオによる3倍モードに相当し、(2)(3)により更に厳しい条件になることを示します。
これらを新開発のロジックによる信号切換と、デジタルを駆使した信号処理方法で克服し、実用的な「可変速再生」を可能にしました。

●第2世代W-VHS IC

HD/SD両モードのテンポラルエンファシス、バーチカルエンファシスを1チップで行うSVP II(TI社製)DSP(Digital Signal Processer)を新規に採用することにより、W-VHS映像用ICを、HR-W1の5個から2個に減らし、基板面積・周辺部品点数・価格・消費電力を半分にすることができました。

3. 使い勝手を向上させる新機能

●新AVコンピュリンクⅡ 28 34

W-VHSでハイビジョン放送の予約録画をする時は、MUSEデコーダーが別途必要です。多くの場合、ハイビジョンテレビに内蔵されたものを活用します。
HR-W5では、ビクター製ハイビジョンテレビだけでなく、松下製のハイビジョンテレビとも連動して、ハイビジョン放送の留守録が可能になりました。

●BSデコーダー/M-Nコンバーター独立入力

外部デコーダーからのリターン入力端子を、WOWOW用のL2と、M-Nコンバーター用のL3に分離独立。BSデコーダー映像信号の通過機能の無いM-Nコンバーターも接続可能になりました。
本機がBS9チャンネル録画中でも、外部BS機器入力端子に接続した機器でのBS5チャンネルの受信・録画が可能な、分離型検波出力も合わせて採用しました。

●新BSリレーREC 59

2台のW-VHSデッキで1台のMUSEデコーダー(ハイビジョンテレビ内蔵)を共用して留守録できるように、「BSチャンネル」や「HD入力」を始めとする「外部入力」のタイマー予約を、テープ終了後も電源入(EE)状態で働くようにしました。
全ての外部入力で使えるため、ハイビジョン予約録画や他社ハイビジョンテレビ内蔵チューナーのBS9チャンネルからの「HD入力予約録画」だけでなく、L1やL4に接続してケーブルBOXやCSチューナーからの外部入力予約録画にも応用できます。

●映像入力設定メニューによる S映像/映像入力切換 106

HR-W5内蔵のプリサイス3次元デジタルY/C分離回路をより活用いただけるよう、AVセレクター等を併用される方なら、S映像とコンポジット映像を同時に接続しておけるようにしました。入力1と入力4(前面)についてはS端子「優先」ではなく、メニューでS映像か映像(コンポジット)が選べます。

●マルチダビング(HDモード) 113

本機は、ハイビジョン映像用のオンスクリーン回路を内蔵していません。
そのため、HDモード中は、マルチダビングの「ここから/ここまで」指定を、ランプ(LED)による指示と、本体表示窓(FDP)によるカウンター表示にて行います。

4. オーディオ関連

●Hi-Fi音声専用センダストMIGヘッド (Metal In Gap)

フェライトヘッドに比べ再生ノイズが少なく、メタルテープへの記録にも対応したセンダストMIGヘッドを新規に採用しました。ヘッド素材のギャップの両側にセンダスト材をスパッタリングした構造で、Hi-Fi音声の周波数帯域にぴったり合わせたチューニングをしています。

●AIハイパータンジェント

Hi-Fi音声は、180度向かい合って回転する2つのヘッドで記録再生されます。それを切り換える、つなぎ目で発生しがちなノイズを「スイッチングノイズ」と呼びますが、ビクターでは、信号の傾きから予測して補間する「ハイパータンジェント」技術で防いでいました。
HR-W5では、その最新バージョン「AIハイパータンジェント」を採用しています。音声信号の補間を行う場所を、傾きの急に変わる波形のピーク付近を避け、値がゼロをまたぐ(ゼロクロス)付近に適応的に移動させて行います。従来比3dBのスイッチングノイズ低下を達成しました。

仕様

●電源……AC100V 50/60Hz
●消費電力……49W（BSアンテナ電源使用時54W／電源「切」時 5W）
●電源出力……AC100V 50/60Hz 連動/非連動
デコーダー用電源コンセント
最大300W以下
●外形寸法……476（幅）×148（高さ）×366（奥行き）mm
●質量……9.5kg
●許容動作温度……+5℃～+40℃
●許容相対湿度……35%～80%
●許容保存温度……-20℃～+60℃

ビデオ（映像）

●録画・再生方式……W-VHS方式
HDモード：回転4ヘッドヘリカルスキャン
SDモード：回転2ヘッドヘリカルスキャン
時間軸圧縮TCI信号FM記録
S-VHS/VHS方式
回転2ヘッドヘリカルスキャン
輝度信号 FM方式
色信号 低域変換直接記録方式
●映像信号……NTSC日米標準信号
ハイビジョンベースバンド信号

Hi-Fiオーディオ（音声）

●録音方式……VHSステレオハイファイ方式
●周波数特性……20Hz～20kHz
●ダイナミックレンジ……90dB以上
●ワウ・フラッター……0.005%以下
●チャンネルセパレーション……60dB以上

ノーマルオーディオ（音声）

[S-VHS/VHS方式のみ]
●録音方式……リニアトラック
●音声トラック……1チャンネル（モノラル）

チューナー（テレビ受信）

●受信方式……周波数シンセサイザー方式
●音声多重受信方式……インターキャリア方式
●受信チャンネル……VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
BS 1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル
CATV C13（63）～C41（91）チャンネル
●CATVチャンネル対応表

送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63
C14	64
C15	65
C16	66
C17	67
C18	68
C19	69
C20	70
C21	71
C22	72
C23	73
C24	74
C25	75
C26	76
C27	77

送信チャンネル	チャンネル表示
C28	78
C29	79
C30	80
C31	81
C32	82
C33	83
C34	84
C35	85
C36	86
C37	87
C38	88
C39	89
C40	90
C41	91

タイマー（タイマー予約・時計）

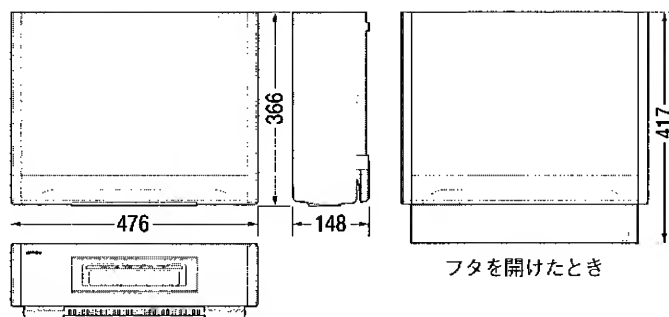
●タイマー予約……1ヵ月8番組予約
●時計……12時間（午前・午後）方式
●停電補償時間……約30分

接続端子

●アンテナ……75Ω F型コネクター
VHF/UHF一軸
●BSアンテナ……75Ω F型コネクター
アンテナ電源出力 DC15V 最大4W
●BS-IF出力……75Ω F型コネクター
●HD映像……入力 Y:0.7Vp-p 75Ω 3値同期
P_B、P_R:±0.35V 75Ω 3値同期
出力 Y:0.7Vp-p 75Ω 3値同期
P_B、P_R:±0.35V 75Ω 3値同期
●S映像……入力 Y:0.8～1.2Vp-p 75Ω
C:0.2～0.4Vp-p 75Ω
出力 Y:1.0Vp-p 75Ω
C:0.29Vp-p 75Ω
●映像……入力 0.5～2.0Vp-p 75Ω（ピンジャック）
出力 1.0Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●音声……入力 -8dBs 50kΩ（ピンジャック）
モノ（左）対応
出力 -8dBs 1kΩ（ピンジャック）
●検波入/出力……0.67Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●ビットストリーム入/出力……0.5Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●AFC入力……0.5Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●リモートポーズ……ビクタービデオムービー・デッキとの編集用
●AVコンピュリンクII……3.5φ 端子径3.5mm
●マルチダビング/プリロール……3.5φ 端子径3.5mm

テープ走行

●早送り／巻戻し時間……約2分（T-120録画済みテープ使用時）
約3分（T-120未録画テープ使用時）
※テープによって異なることがあります。

366
417
476
148
フタを開けたとき

● 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

索引

□内の数字が参照ページです。

ア

頭出し再生……94
アフレコ編集……115
アンテナ電源スイッチ……22
インサート編集……116
ウラ番組録画……83
映像入力／テレビメーカー設定画面……19
映像ポジション……98
オートチャンネル設定……60
オートトラッキング……99
オープンサーチ……79
オンスクリーン……16～19
音声出力切換……97

カ

ガイドチャンネル……66～68
ガイドチャンネル一覧表……69
外部入力……107～119
カウンターリセット……78、116
可変速再生……80
画面表示……16～19
コマ送り再生……78

サ

自動HD録画スイッチ……76
シャープネス……100
ジョグ／シャトル……81
スロー再生……78
スロートラッキング調節……99
ゼロリターン……80

タ

タイマー予約（Gコード予約）……88
タイマー予約（通常予約）……90
ダビング（コピー）……107～109
ダビングポジション……98
チャンネル記憶……61
チャンネルスキップ……61
チャンネル微調整……63
チャンネル表示変更……62
つめ……73
テープ残量……84
独立音声……87
トラッキング手動調節……99

ナ

二カ国語音声録音……96
入力切換……107～119
ネクストファンクションメモリー……95

ハ

ぴったりクロック……65
ぴったり録画……89
ビデオステータス設定……102
表示切換……84、85
ブランクサーチ……85
プリロールインサート編集……118
プリロール編集……110
ブルーバック……19
ヘッドクリーニングテープ……7

マ

毎週／毎日予約……89、91
マルチダビング……112
ミッドナイトディマー……12
メニュー画面……18
モード選択画面……19

ヤ

予約の確認／取消し／変更……92、93

ラ

リテイク機能……85
リモコンコード切換……77
レンタルポジション……98

ワ

ワンタッチタイマー録画……84

数字・アルファベット

3次元デジタルY/C分離……99
629デジタルTBC……98
A/Bコード……77
AVコンピュリンク……58
AVコンピュリンクⅡ……28、34
AV接続……24
BSアンテナ……22
BSアンテナ入力レベル……23
BSオートチャンネル設定……60
BS音声スイッチ……86、87
BSリレーREC……59
CATV……60、128
C-DSP……102
CMスキップサーチ……79
CNR……102
Gコードインフォ……70
Gコード予約……88
HD録画……74、75
HD録画PRO……104
HD YNR……104
Hi-Fi録音レベル……97
M-Nコンバーター入力設定……40、46
SD録画……74、75
SD/HDモード映像調節……104
SD YNR……104
St. GIGA……87
S-VHS録画……74
TVマルチブランド対応……77
VISS書込み／消去……94
WOWOW……86
Y/Cタイミング……101
Y-DSP……102

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（右ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

120〜122ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビデオカセットレコーダー
型　名	HR-W5
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　）　　－

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

●長年ご使用のビデオカセットレコーダーの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオカセットレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、おおよそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

ビクターサービス窓口

ビクター製品のアフターサービスはお買上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
	北海道地区			
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053	苫小牧市緑町2-7-11
	室蘭S.S.	(0143)44-8168	050	室蘭市宮の森町3丁目13-13
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090	北見市山下町4-7-19
	釧路S.C.	(0154)24-0797	085	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)46-5324	041	函館市美原3-16-25
	東北地区			
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030	青森市大字浦町字奥野68-1
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(0196)37-0121	020	盛岡市津志田12地割字新田瘤94番地1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(0188)24-3189	010	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	983	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(0236)42-0279	990	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(0249)52-6331	963	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)26-4991	973	いわき市小島町1-2-2
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(0245)53-9437	960-01	福島市本内字南原26-1
	信越地区			
新潟	新潟S.C.	(025)241-0527	950	新潟市明石1-2-19
	佐渡S.S.	(0259)57-3127	952-13	佐渡郡佐和田町河原田本町93
	長岡S.C.	(0258)24-1462	940	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)44-9987	942	上越市五智1-11
長野	松本S.C.	(0263)25-9353	390	松本市鎌田2-3-50
	長野S.C.	(0262)21-9946	380	長野市川合新田962-1
	上田S.S.	(0268)23-3589	386	上田市古里79-1
	関東地区			
群馬	高崎S.C.	(0273)63-4216	370	高崎市問屋町1-10-1
栃木	宇都宮S.C.	(0286)35-2656	320	宇都宮市住吉町17-9
茨城	水戸S.C.	(0292)46-1531	310	水戸市元吉田町1077
	土浦S.C.	(0298)22-5946	300	土浦市真鍋6-1-25
埼玉	大宮S.C.	(048)654-5221	330	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(0485)53-5095	361	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.C.	(0492)45-3124	350	川越市小室491-1
山梨	甲府S.S.	(0552)37-3136	400	甲府市湯田2-11-5
千葉	千葉S.C.	(043)247-4551	261	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)36-6413	292	木更津市真船5-4-9
	柏S.C.	(0471)75-4321	277	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.C.	(0473)53-6189	279	浦安市当代島2-13-27
	東京地区			
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145	東京都大田区北千束2-20-6
	浦安S.C.	(0473)53-6189	279	浦安市当代島2-13-27
	八王子S.C.	(0426)46-6911	192	東京都八王子市大和田町1-11-24
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	東京業務機器センター	(03)3874-5231	110	東京都台東区根岸5-4-3
	神奈川地区			
神奈川	川崎S.C.	(044)975-1878	213	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	横浜S.C.	(045)651-0402	231	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9161	239	横須賀市久里浜6-4-1
	平塚S.C.	(0463)23-2686	254	平塚市老松町4-9（木村ビル）
	小田原S.S.	(0465)24-0657	250	小田原市浜町4-1-12
	相模原S.C.	(0427)76-2051	229	相模原市古淵3-7-4

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
	静岡地区			
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435	浜松市北島町785
	東海・北陸地区			
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481	西春日井郡西春町九ノ坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564)26-1005	444	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440	豊橋市佐藤町字山崎56-2
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510	四日市市石塚町1-12
	津S.S.	(0592)29-7780	514	津市大字半田603-1半田事務所1F
富山	富山S.C.	(0764)25-2397	930	富山市総曲輪4-3-5
石川	金沢S.C.	(0762)31-5242	920	金沢市長土塀2-1-27
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910	福井市西開発3-211
	近畿地区			
滋賀	滋賀S.S.	(0775)82-5812	524	守山市浮気町268
京都	京都S.C.	(075)313-3186	600	京都市下京区七条御所の内北町91
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620	福知山市厚東町145-2
奈良	奈良S.C.	(07442)4-6271	634	橿原市葛本町834-2
大阪	大阪S.C.	(06) 304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(0722)78-3351	593	堺市深井沢町3135
和歌山	和歌山S.C.	(0734)72-6799	640	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9914	646	田辺市神子浜字神谷786-74
兵庫	神戸S.C.	(078)252-0561	651	神戸市中央区磯上通3-2-16
	姫路S.S.	(0792)34-3833	670	姫路市中地南町11-1
	明石S.S.	(078)924-1115	673	明石市西明石北町3-4-17
	中国地区			
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721	福山市南蔵王町3-5-15
	呉S.S.	(0823)74-9364	737	呉市阿賀北3-1-27-101
山口	山口S.C.	(0839)24-3758	753	山口市大字吉敷柿木田3446-4
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751	下関市熊野町2-14-23
	山陰地区			
島根	山陰ビクター販売(株)サービス部	(0852)31-2811	690	松江市西川津町1484-3
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697	浜田市朝日町1519
鳥取	米子営業所サービス係	(0859)34-2801	683	米子市車尾845
	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680	鳥取市富安2-45
	四国地区			
香川	高松S.C.	(0878)66-1200	761	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(0886)22-7387	770	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.C.	(0888)82-0546	780	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(0899)23-0372	791	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792	新居浜市松神子2-2-25
	九州・沖縄地区			
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-91	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.C.	(0942)39-3495	830	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
	筑豊S.S.	(0948)29-1146	820	飯塚市片島2-22-27
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(0958)62-5522	852	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-11	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(0975)43-1422	870	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-41	熊本市近見町1218-1
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(0992)67-3572	891-01	鹿児島市小松原2-23-28
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-22	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0995

故障かな？と思ったら
修理に出す前に120～122ページをご確認ください。

修理についてのご相談は
「お買い上げ販売店」へご相談ください。
ご転居等で保証書記載のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、131ページの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

お買物相談
お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

東　京
☎ (03)5684-9311
〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大　阪
☎ (06)765-4161
〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

Victor　JVC
日本ビクター株式会社
ビデオ事業部
〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話(045) 450-2550

1095MNV＊SW＊VP